

安全にご使用いただくために

当製品のご使用にあたっては、電化製品を使用する際の一般的な順守事項に加えて、以下の注意事項を必ずお守り下さい。

また、ご使用前には必ず説明書をご一読の上、操作方法を十分理解してから、ご使用下さい。

当製品をご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから外しておいて下さい。

警告

感電、火災の恐れがあります。次の注意事項をお守り下さい。

1. プラグをコンセントに接続したままで、ミシンから離れないで下さい。
2. ご使用後、またはミシンの掃除をする際には、必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。

危険

感電、火災、けがの原因になります。次の注意事項をお守り下さい。

1. おもちゃとして絶対にご使用にならないで下さい。また、小さなお子様の近くでお使いになる時は、特別の注意をお願い致します。
2. この説明書の記載内容に従ってご使用下さい。また、ベルーナ社がお薦めする付属品のみをご使用下さい。
3. 次のような場合には、当製品の使用を中止して下さい。
 - ・ミシン、フットコントローラーのコード、プラグに傷があるとき。
 - ・ミシンが正常に作動しないとき。
 - ・落としたり、損傷したとき。
 - ・水の中に落としたとき。
 このような場合には、最寄りの正規販売代理店に、ミシンの点検、修理、調整のご依頼をお願い致します。
4. ミシンの通気孔をふさがないで下さい。また、ミシンの通気孔に糸くずやほこり、布きれが詰まった状態で使用しないで下さい。モーターが過熱する原因となります。

5. 操作中は、動く部品に指を近づけないで下さい。特に針の回りでは、細心の注意を払って下さい。
6. 常に当製品専用の針板をご使用下さい。不適切な針板のご使用は、針折れの原因となります。
7. 曲がった針は使用しないで下さい。
8. 裁縫中に布を引っ張ったり、押し込んだりすると、針をいため、針折れの原因となります。
9. 糸、針、ボビン、押え金等を交換する際には、ミシンの電源スイッチを切って下さい。
10. ミシンカバーを外し、注油、又は説明書に従って調整する場合には、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。
11. ミシンやフットコントローラーの隙間からものを入れたり、差し込んだりしないで下さい。
 12. 戸外では使用しないで下さい。
 13. 酸素ガス等の引火性のあるスプレーを使用している場所では、使わないで下さい。
 14. プラグをコンセントから抜く前に、必ずミシン本体の電源を切って下さい。
 15. プラグをコンセントから抜く場合には、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜いて下さい。
 16. 以上の使用方法を順守しないために生じた損害に対しては、いかなる場合も当社は責任を持ちかねますので、ご了承下さい。

説明書の保管

当製品を安全にご使用いただくために、この説明書は大切に保管して下さい。

BERNINA®



“Welcome to
the BERNINA

family!”

この度は、ベルニナ・ソーイングおよび刺しゅう用コンピュータミシン・アーティスト
タをご購入いただき誠にありがとうございます。あなたのソーイング・ライフにおい
てもっともエキサイティングな出来事であったことと思います。

お客様にご満足いただける卓越したスイス・クオリティと、未来を見据えたソーイン
グテクノロジーを先取りして開発した、他に類を見ない顧客サービスに支えられたベ
ルニナ社の製品をお届け出来ることを誇りに思う次第です。100年以上にわたる年
月を越えてこのファミリー経営のベルニナ社を支えて来た原動力はこの誇りであり、
私もこのベルニナ社の伝統を継承してゆく考えでおります。

名前が示すとおり、《アーティスト》ソーイング・コンピュータは、あらゆるソーイ
ングにおいて無限の喜びを可能にしてくれる、まさしく芸術品です。あなたの創造性
を鼓舞し、あなたが意図するアイデアを最高の形で実現させる重要なお手伝いができ
、大変光栄に思っております。

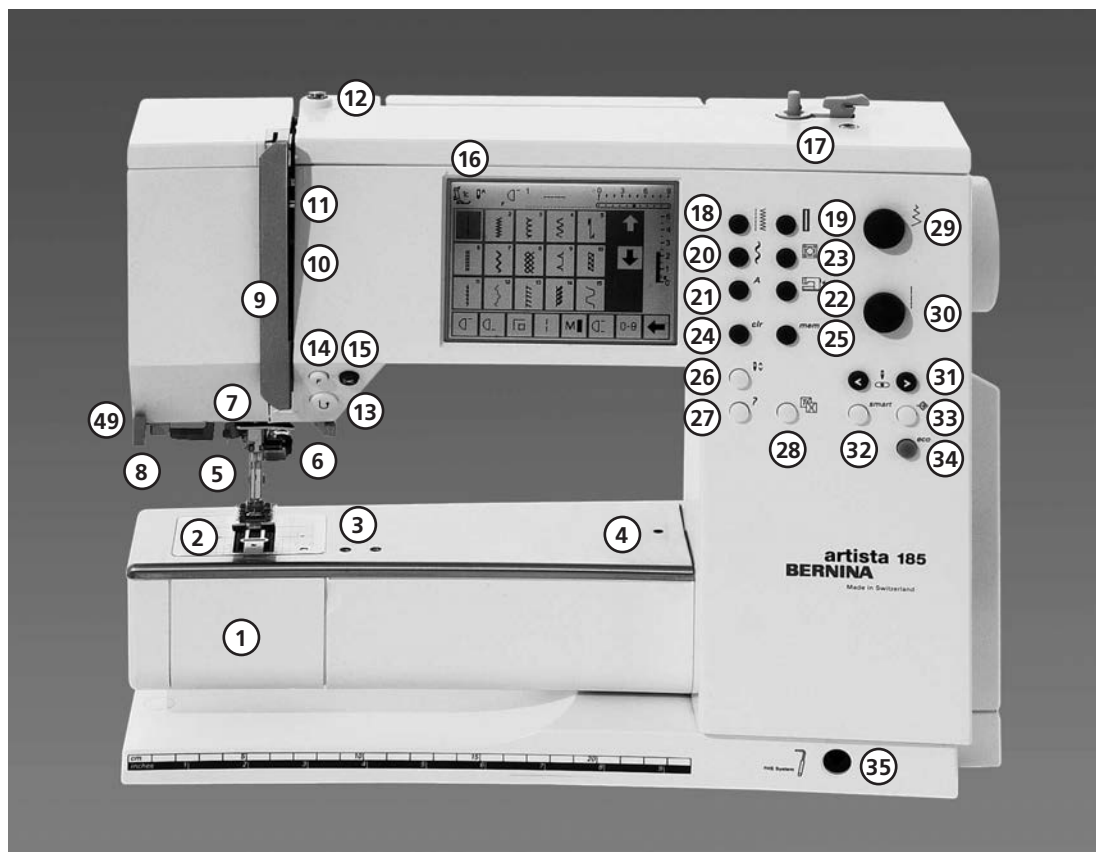
さらに、無限のソーイングを全て可能にする豊富なソーイング・アクセサリと、実
践的でクリエイティブなベルニナ・ソフトウェアで、ベルニナ流のソーイングを存
分にお楽しみ下さい。

A handwritten signature in black ink, reading "H.P. Ueltschi". The signature is fluid and cursive.

H.P. Ueltschi
BERNINA Sewing Machine
Company

1	安全にご使用いただくために
2	ごあいさつ
4-5	各部名称
6-13	ミシンの準備
14-16	縫い目模様一覧
17	押え金
18-19	実用縫い／ボタンホール
20-25	ミシンの概略説明
25-31	機能説明
31	メッセージ
32-39	ボタンホール縫い
40-41	文字、数字
42-47	メモリー
48-50	キルティングステッチ、16方向縫い、4方向縫い
50-51	横送り縫い《アウトラインデザイン》
52-53	送りバランス
54	ヘルプ機能
55-57	糸調子／チュートリアル／ソーイングコンサルタント
58	スマート機能
59-72	セットアップ・プログラム
73	エコ(節約)機能
73-75	特殊アクセサリ
76-78	針、糸、布送り
79	メンテナンスの方法
80	困った時には
81-82	用語解説
83-84	索引

各部の名称



前面



背面



左側面



右側面

- 1 釜カバー
- 2 針板
- 3 ソーイングベッド
- 4 縫い縫い枠(オプション)取付け穴
- 5 押え金
- 6 針止め
- 7 針元糸案内
- 8 上糸糸通し機
- 9 天秤カバー
- 10 上糸掛け糸道
- 11 天秤
- 12 下糸巻き案内
- 13 針元返し縫いボタン
- 14 お好み機能ボタン
- 15 自動糸カッター
- 16 スクリーン
- 17 糸巻きスイッチ/糸切り
- 18 実用縫いグループ選択ボタン
- 19 ボタンホールグループ選択ボタン
- 20 模様縫いグループ選択ボタン
- 21 文字グループ選択ボタン
- 22 刺しゅう模様縫いグループ選択ボタン
- 23 キルティングステッチ、16 方向縫い選択ボタン
- 24 《clr》クリアボタン
- 25 《mem》メモリーボタン
- 26 針上下停止位置選択ボタン
- 27 ヘルプ機能ボタン
- 28 オン・ボード・マニュアル・ボタン
- 29 振り幅調節つまみ
- 30 送り長さ調節つまみ
- 31 針基線選択ボタン
- 32 スマート機能ボタン
- 33 セットアップ機能ボタン
- 34 《eco》エコ機能ボタン
- 35 膝押え上げレバー差し込み口
- 36 押え上げレバー
- 37 キャリングハンドル
- 38 糸こまホルダー
- 39 ソーイングテーブルソケット
- 40 糸切り(マニュアル)
- 41 押え圧調節つまみ
- 42 はずみ車
- 43 電源スイッチ
- 44 電源コードソケット
- 45 送り歯ドロッププッシュボタン
- 46 フットコントローラーコードソケット差し込み口
- 47 刺しゅう機コードソケット差し込み口
- 48 パソコン接続用シリアルポート
- 49 レンズホルダー
- 50 ソーイングライト



キャリングケース

キャリングケース

ミシンをほこりや汚れから守ります。
また、付属品のケースとしても利用できます。

付属品

- ・フットコントローラー
 - ・使用説明書
 - ・電源コード
 - ・保証書
 - ・膝押え上げレバー
 - ・ソーイングテーブル用シームガイド
 - ・ソーイングテーブル
- ソーイングテーブルを取り外す時は、上に持ち上げてから取り外してください。

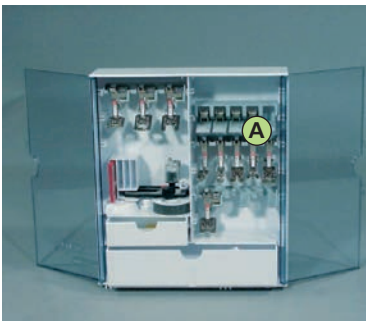


取り外し方

キャリングケースを取り外すには、両手で両側を持ってから、真上に持ち上げるようにします。

予備の糸立て棒は、キャリングケースをかぶせる際、必ず取り外しておいて下さい。

付属品ボックス



標準付属品の収納

- ・ボックス底にある左右の足を、かちんと音がするまで開くと、自立型のボックスを立てることができます。
- ・付属品ボックスには、大小各1個の引き出しがついています。また、内部はボビン収納用に2つ、コード付き押え金収納用に2つ、およびコードなしの押え金用に1つの収納用コンパートメントに分かれています。コンパートメントは、箱の中に保管することができます。また別売りオプションの引き出しおよびコンパートメントを追加することも可能です。
- ・ボビンは指定のボビンホルダーに保管します。
- ・ボビンを取り出すには、ホルダー部分(A)の下を、軽く押します。
- ・押え金は、指定のハンガーにつるします。
- ・その他の付属品は、写真のように保管します。

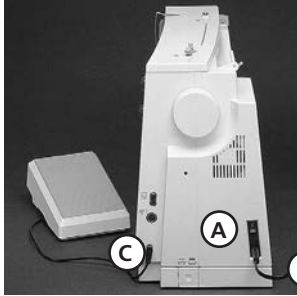
スーツケースシステム (別売りオプション)

- ・スーツケースシステムは、キャスター付ですのでミシンの持ち運びにも便利です。

標準付属品

- ・ボビン4個(およびボビンケースの中に1個)
- ・針(H)1セット
- ・シームリッパー
- ・ドライバー(小)
- ・特殊ドライバー
- ・ブラシ
- ・シームガイド
- ・ウレタンパッド
- ・#1C スーパー模様押え
- ・#2A オーバーロック押え
- ・#3C ボタンホール押え
- ・#3A 自動ボタンホール押え
- ・#4 ファスナー用押え
- ・#5 まつり縫い押え
- ・#8 ジーンズ押え
- ・#18 ボタン縫い付け押え
- ・#20C オープン刺しゅう押え
- ・#40C 横送り縫い押え
- ・高さ調節板
- ・垂直型糸立て棒
- ・糸こまカバー3種類
- ・オイル
- ・CPS模様交換ソフト CD-ROM
- ・ART リンク刺しゅうソフト CD-ROM

電源コード



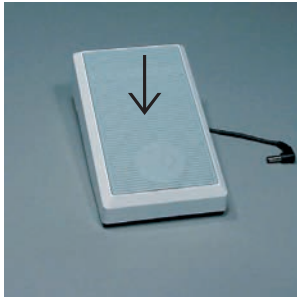
電源コード
 キャリングケースの中に収納されています。

- ・プラグ A をミシンに接続します。
- ・プラグ B を電源コンセントに差し込みます。

フットコントローラ - 用コード

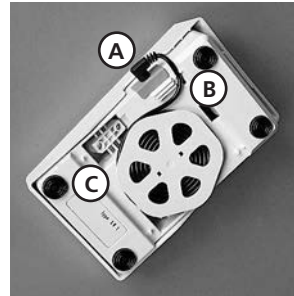
- ・プラグ C をミシンに接続します。

フットコントローラー



ソーイングスピード

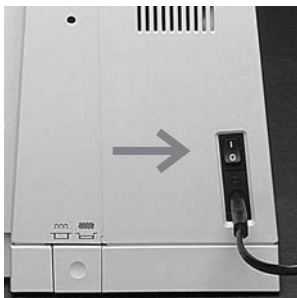
- ・ペダルの踏み加減でスピードを調整します。
- ・ペダルのかかと部分(矢印)を踏んで針の上げ下げが出来ます。



コードの収納方法

- ・裏側に巻き取ります。
- ・プラグは、A の差込穴に差し込みます。

電源スイッチ



電源スイッチ
 電源スイッチは、ミシンの右側下(矢印)にあります。

- ・1 : スイッチはオン
- ・0 : スイッチはオフ

照明ランプは、セットアップ・プログラムで「点灯する」又は「点灯しない」を選択します。「点灯する」を選んだ時は、電源スイッチに連動します。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

ソーイングテーブル



広いソーイングテーブル

- ・作業スペースを広げます。

取り付け方

- ・針と押え金を上げます。
- ・フリーアーム部に差し込み、強く止まるまで押し込みます。

取り外し方

- ・左方向に引いて、取り外します。

布ガイド

- ・テーブルの手前下の溝に沿って、右方向からスライドさせながら差し込みます。

- ・テーブル上で安定した布ガイドが可能になります。

定規

- ・ソーイングテーブルの定規の「0」は、針基線の中央を基準としています。

膝押え上げレバー (フリーハンドシステム)



押え金の上下

- ・レバーで押え金の上げ下げが出来ます。
- ・膝で右に押します。
- ・押え金が上がると同時に送り歯が下がります。上糸調子も、同時に開放されます。
- ・縫い出すと、送り歯は自動的に上がります。

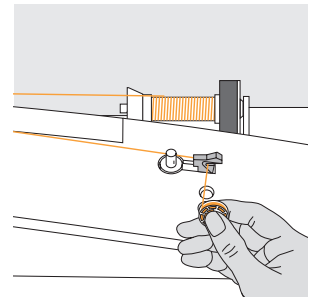
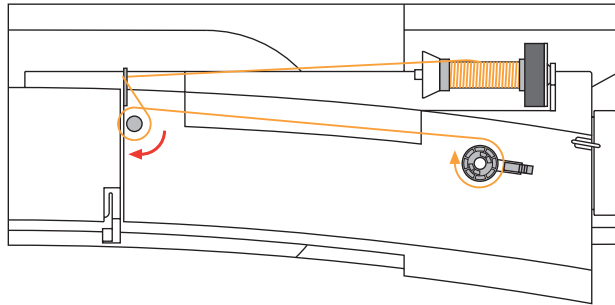
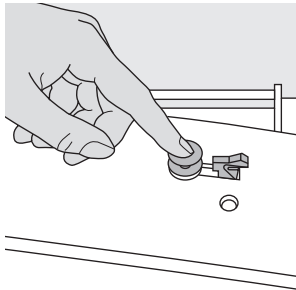
取り付け方

- ・膝押え上げレバーは、キャリングケースの中に収納されています。
- ・レバーの差し込み口は、ミシンの土台の前方右下にあります。
- ・ミシンを正面にして、レバーが膝の右側に来るように座ります。

メモ:

レバーの角度は、調整可能です。最寄りの正規販売代理店にご相談下さい。

下糸の巻き方



下糸を巻く

- ・電源スイッチをオンに。
- ・空のボビンを糸巻き軸に差し込みます。

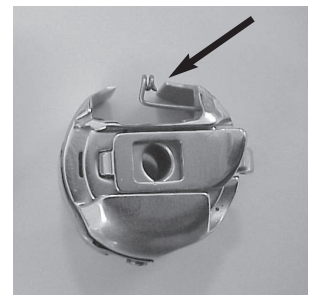
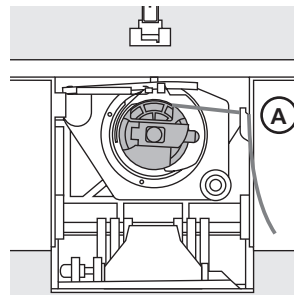
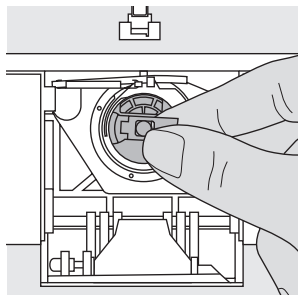
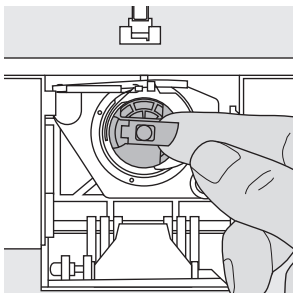
糸の通し方

- ・糸を図中の矢印に従い時計回りに一巻きし、
- ・糸をボビンに、2、3回巻き付けます。
- ・ボビン押えをボビン側に倒します。
- ・フットコントローラーを踏み込みます。
- ・ボビンが一杯になれば、モーターは自動的に止まります。
- ・ボビンを外します。

糸切り

糸切りで糸を切ります。

ボビンケース



取り出し方

- ・針を上へ上げ、
 - ・電源をオフ《○》、
 - ・釜開閉カバーを開け、
- ボビンケースの爪の部分をつまんで、取り出します。

装着方法

- ・爪の部分をつまみ、
 - ・ボビンケースの開口部を上にして、
 - ・釜に装着します。
- 開閉カバーを閉めます。

下糸カッター

- ・ボビンケースを差し込み、
- ・Aのカッターで余分の糸を切ります。

メモ:

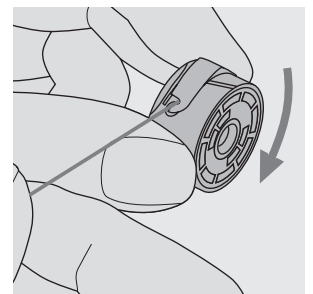
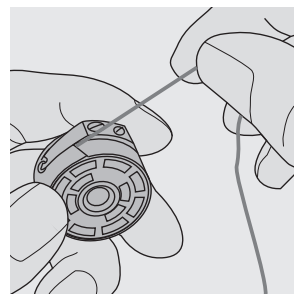
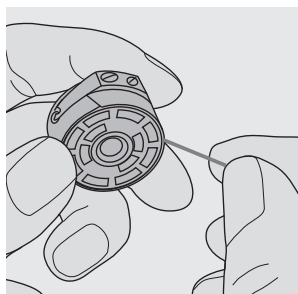
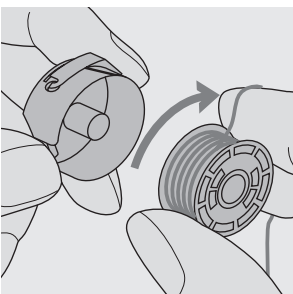
通常は、下糸を持ち上げる必要なく、最適な下糸の長さで縫い始められます。

注意:

刺しゅうするときはミシンと同梱された糸案内付の刺しゅう用ボビンケースをご使用下さい。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

ボビンの入れ方



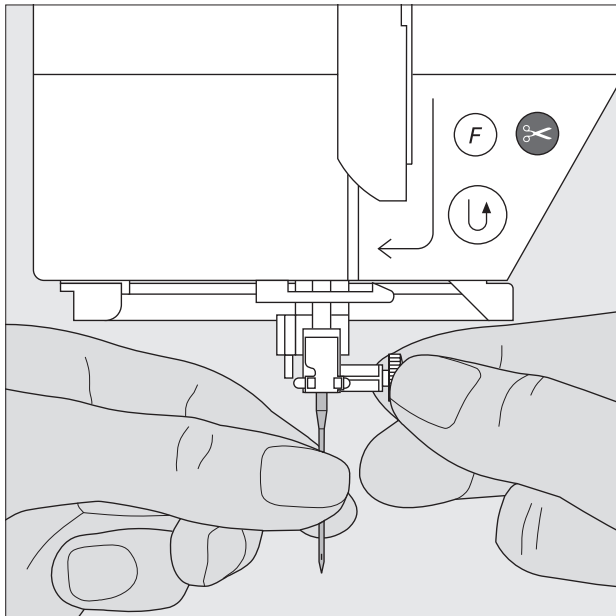
- ・糸の巻き方向が時計回りになるように、注意してボビンをボビンケースに入れます。

- ・糸を時計と反対方向に引きながら切り溝の中に入れ、

- ・パネの下を通して糸がパネの端のT字型溝を通して、だ円形の窓から出るまで引っ張りません。

- ・糸の端を引っ張ると、ボビンが図のように時計回りに回ることを確かめて下さい。

針の交換



針のとり外し方

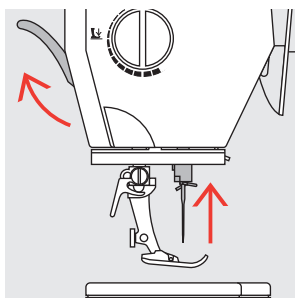
- ・針を上げ、
- ・電源をオフにしてから、
- ・押えを外します。
- ・指先でネジを緩め、
- ・針を下に引いて、外します。

針の取り付け方

- ・針の平らな側が後ろになるように持ち、
- ・そのまま、一杯まで差し込んでから、
- ・ネジをしめます。

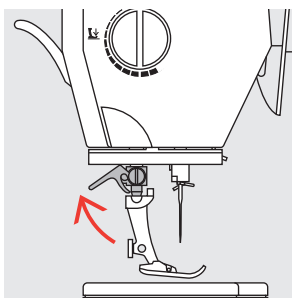
「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

押えの交換



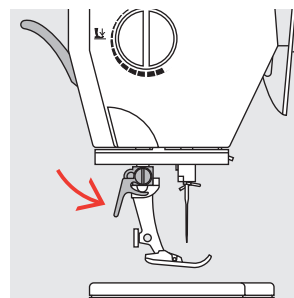
押え金の交換方法

- ・針と押え金を上げ、
- ・電源をオフ<<O>>にします。



押え金止めレバーを上げる

- ・押え金止めレバーを持ち上げ、
- ・押え金を取り外します。

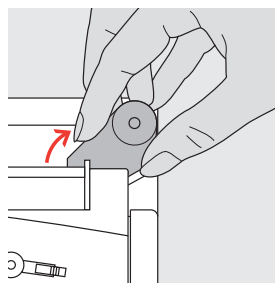
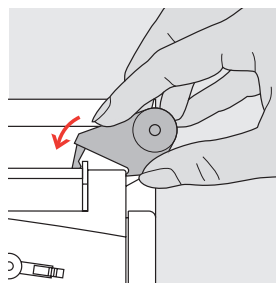


押え金の取り付け方

- ・押え金を上に一杯まで差し込み、
- ・押え金止めレバーを下げます。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

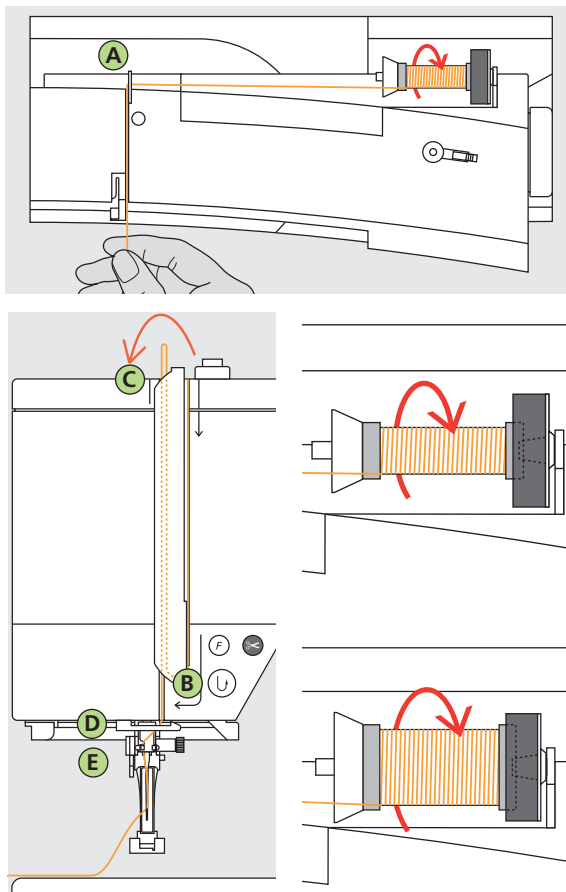
補助糸立て棒(垂直式)



垂直式糸立て棒

- ・垂直式の補助糸立て棒は標準アクセサリに含まれています。
- ・取り付け方は、図のように、右側から回転させるようにして取り付けます。
- ・取り外し方は、逆の方向に回すようにして外します。
- ・2本針などで、2本以上の糸を使う時に使用します。

上糸のかけ方



糸こまのセット方法

- ・ 針を上へ上げて、押えも上げます。
- ・ 電源をオフ《0》にします。
- ・ パッド付糸こま土台を図のように取付けます。
- ・ 糸こまが手前にまわるようにセットします。
- ・ 糸こまの直径に合った糸こま押えで平らな面を糸こま側にして隙間の無いように糸こまを固定します。
- ・ 図中 A の糸案内に糸を通します。
- ・ 次に、上糸テンションの糸道に通します。

下へ

- ・ 天秤カバーの右側に沿ってBへ、

上へ

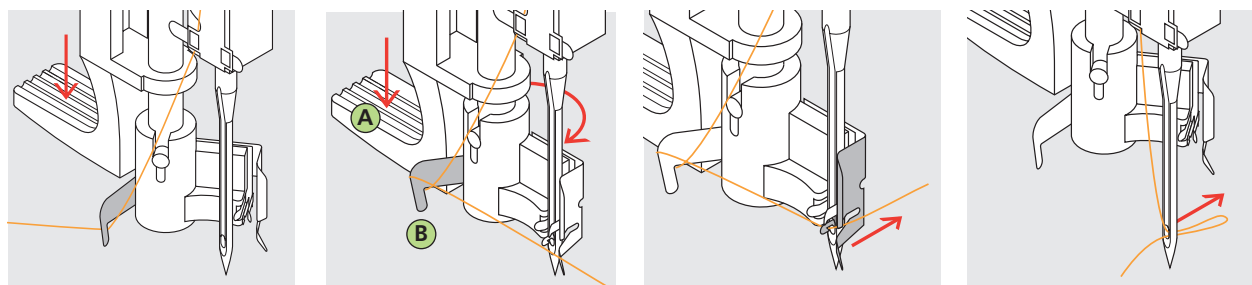
- ・ 天秤カバーの左側に沿ってCまで通し、

下へ

- ・ 最後にD、Eそれぞれの糸掛けに通します。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

上糸糸通し



糸をフックに掛ける

- ・ 押え金を下げ、
- ・ 上糸をBのフックに軽くひっかけ、

糸通し機のレバーを下げる

- ・ Aのレバーを押し下げ、
- ・ 同時に糸をBのフックに巻きつけながら、針の右側にもってきて、

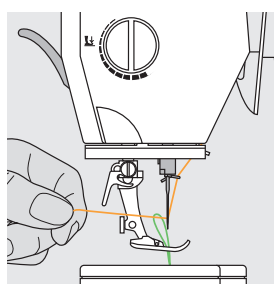
糸を針の前へ

- ・ 針の前方に糸をのばし、
- ・ 糸がフックにひっかかるようにし、

レバーを開放する

- ・ Aのレバーと糸を離せば完了です。
- ・ 輪になっている糸を後ろへ引くと糸が針穴に通ります。

下糸の引き上げ方

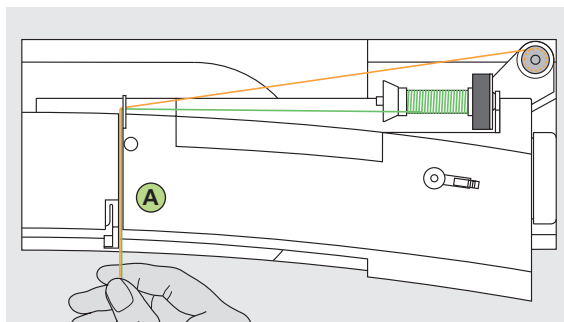


下糸の引き上げ方

- ・ 下糸を下糸カッターでカットしたときは、下糸を引き上げる必要はありません。
- ・ 上糸を手で持ったままで、
- ・ 一針だけ縫います。
- ・ 上糸を引くと、下糸が上がってきます。
- ・ 両方の糸を押え金の溝を通して、横に引き出し、
- ・ 糸切りで切ります。

注意

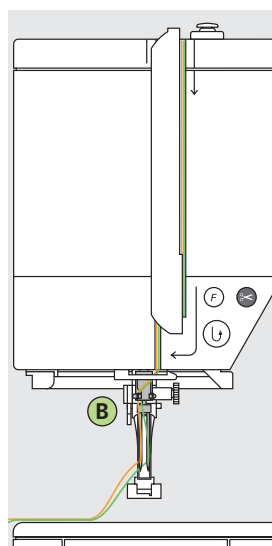
特殊な縫い方においては下糸を必ず引き上げることも必要です。



2本針の糸通しについて

1本目の糸を通す

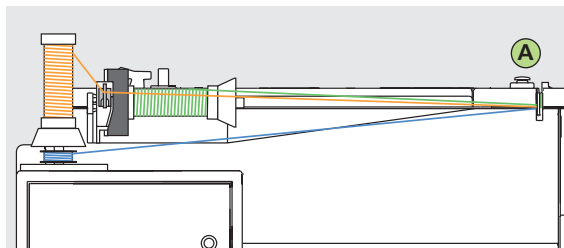
- ・糸コマを水平式の糸立て棒にセットします。
- ・糸を、溝の前からAのテンションディスクの右側に通します。
- ・ふつうに糸かけをしながら、Bの糸ガイドの右側から右側の針に糸を通します。



2番目の糸を通す

- ・糸コマを垂直式の糸立て棒にセットします。
- ・糸を、溝の前からAのテンションディスクの左側に通します。
- ・Bの糸ガイドの左側から、左側の針に糸を通します。
- ・右側の糸とからんでいないことを確認してください。

ご注意: 垂直糸立て棒をご使用になる時は、糸コマの糸が滑り落ちて絡みつかないように、必ずアクセサリ中のフォーム付糸立て土台をご使用下さい。

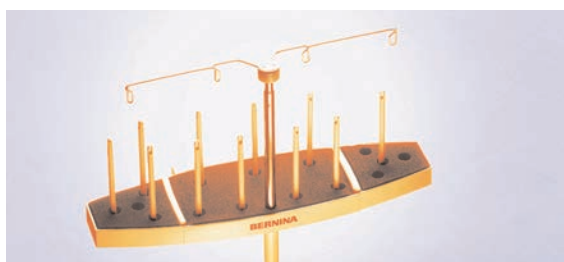


3本針の糸通しについて

- ・糸コマ2本と、一杯に糸を巻いたボビンが1個必要です。
- ・糸コマを1本、水平式の糸立て棒にセットします。
- ・2本目の糸コマとボビンは、糸コマディスクで隔てるようにして、垂直式糸立て棒にセットします。その際、糸コマとボビンは、同じ方向に回るようにします。
- ・2本の糸をAのテンションディスクおよびBの糸ガイドの左側に、もう1本を右側に来るようにして、通します。

注意

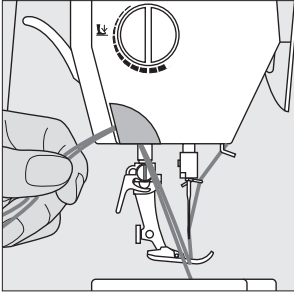
追加の糸ガイド(別売りオプション)を使うと、垂直式の糸立て棒にセットした糸がスムーズに送られるようになり、失敗が少なくなります。



マルチ糸ホルダー

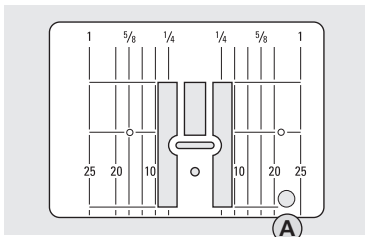
(別売りオプションとなります。)

糸切り(マニュアル)

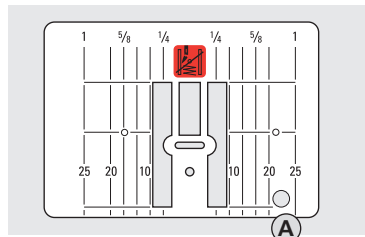


- ・ 上糸と下糸両方を、前から後ろの方向へ引っ掛けるようにして糸を切ります。
- ・ そのままで縫い始めると、糸は自動的にはずれます。

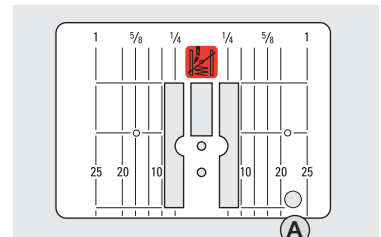
針板



9mm針板



5.5mm針板(別売りオプション)

直線縫い用針板
(別売りオプション)

針板上のマーキング

- ・ 針板にはシームガイドラインがミリとインチの両方で表示されています。
- ・ 手前の表示がミリで、後方がインチです。
- ・ シームガイドラインは、針とシームガイドラインの距離を示します。
- ・ 針の刺す位置が、ゼロとなります。(針位置が中央の場合。)
- ・ ミリおよびインチのシームガイドラインは、中心から左右両方向にあります。
- ・ 布端をシームガイドラインに沿わせて縫います。
- ・ 横方向のマーキングは、コーナー部分やボタンホールを縫うときに便利です。

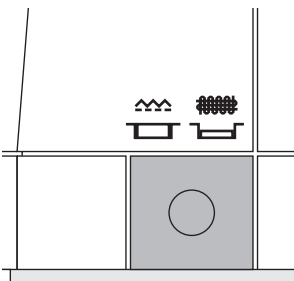
針板の取り外し方

- ・ 電源をオフ(O)にします。
- ・ 押え金と針を上位置に上げます。
- ・ 針板の右後ろコーナーを押し下げ、カチンと外します。

針板の取り付け方

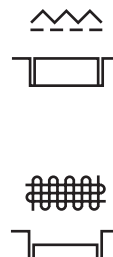
- ・ Aの開口部分に針板を合わせて、カチンとはまるまで押し下げます。

送り歯ドロップ機構

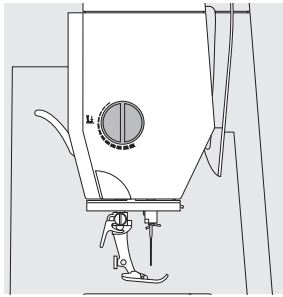


ドロップボタンは右側面にあります。

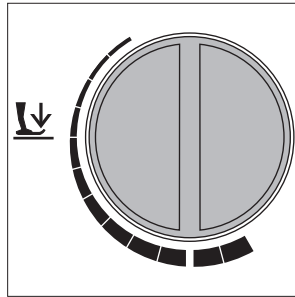
- ・ ボタンの上がっている状態では送り歯は上にあり、普通縫い用の設定となっています。
- ・ ボタンを押すと、送り歯が下がり、つくろい縫いや刺しゅう等、フリーハンド縫い用の設定となります。



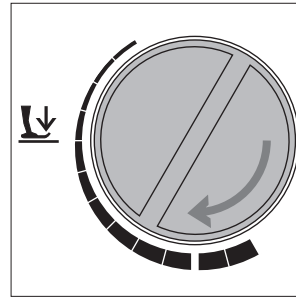
押え圧力調節



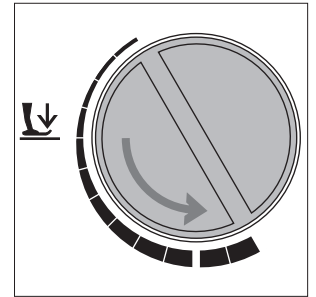
左側面に調節つまみがあります
調節つまみはミシンランプカバーの左側にあります。



標準押え圧力
・通常のソーイング

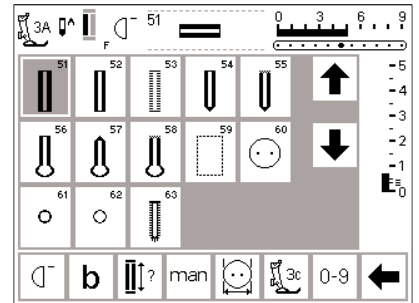
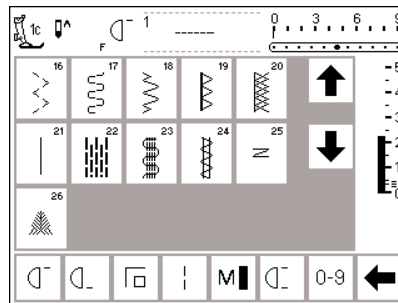
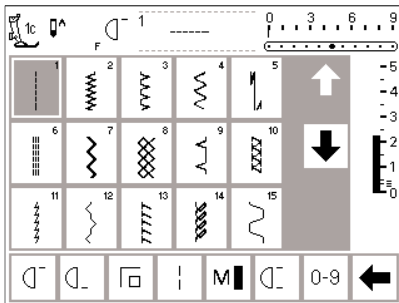


押え圧力を弱くする
・ジャージーやソフトなニット地やキルティングなどに。
・生地が伸びるのを防ぎます。
送りに影響を受けない程度に調節します。

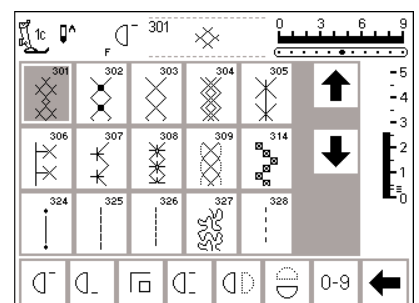
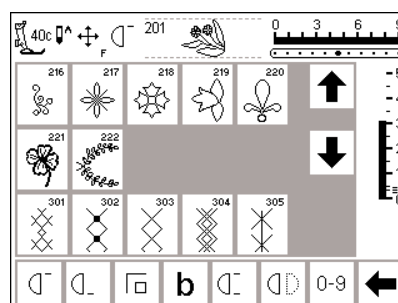
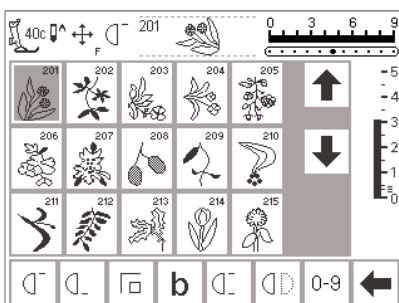
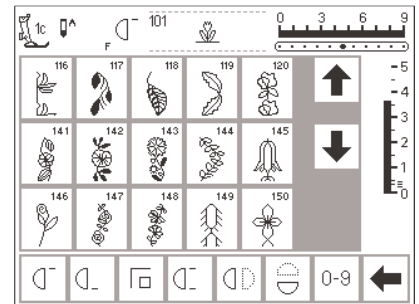
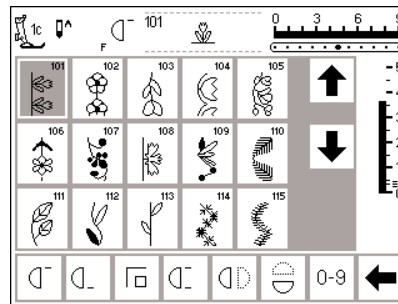
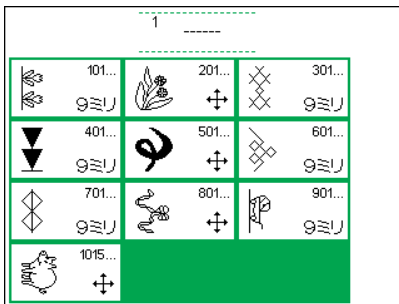


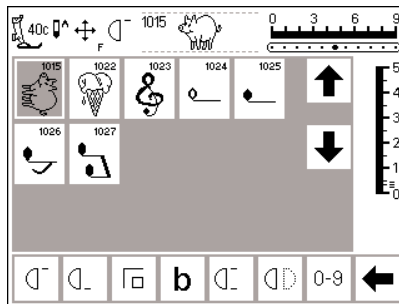
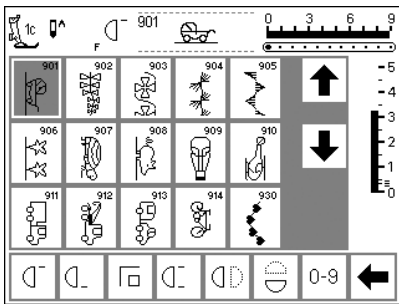
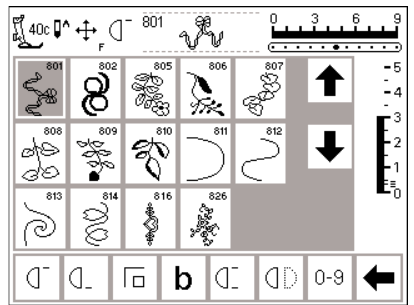
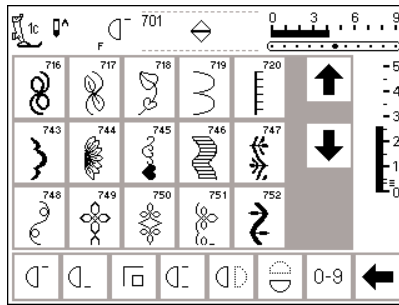
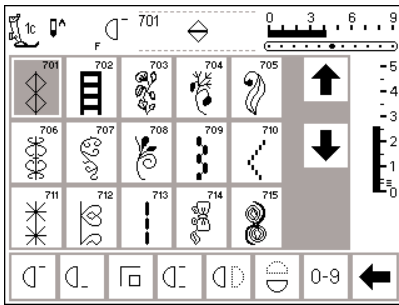
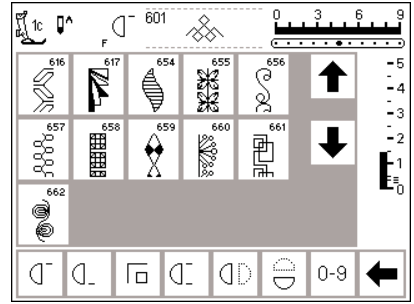
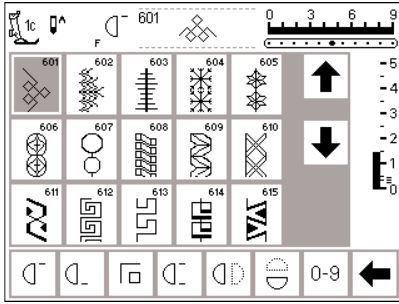
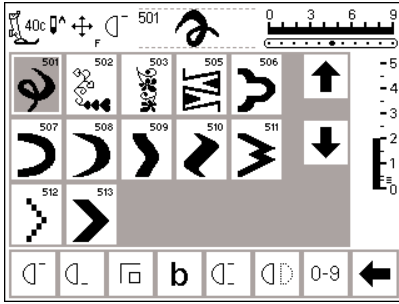
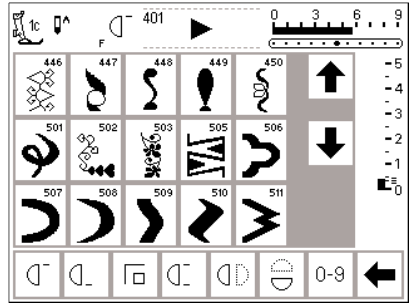
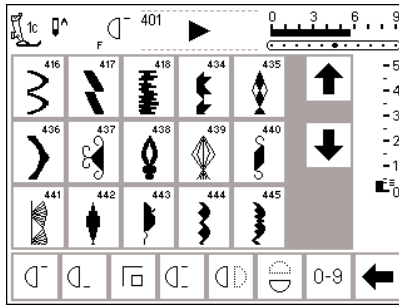
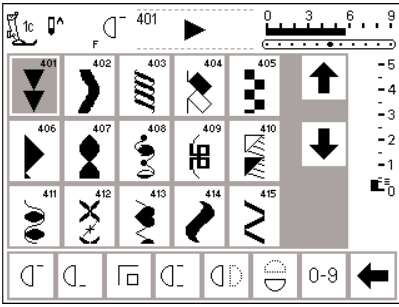
押え圧力を強くする
・薄地や、滑りやすい生地やキルティングに。
・布送りを良くし、パツカリングを防ぎます。

実用縫い模様

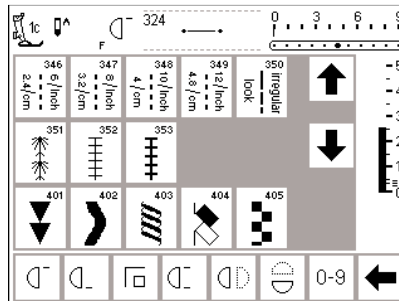
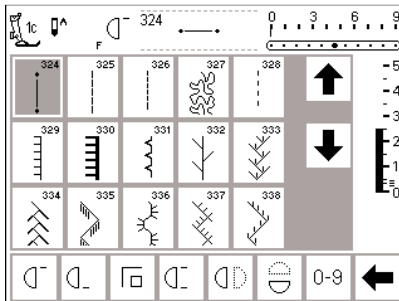


9mm と40mm 幅の飾り縫いステッチ

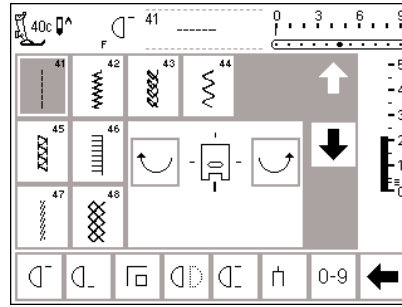
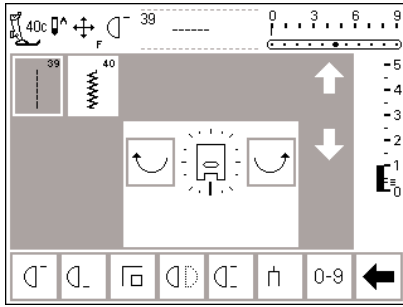




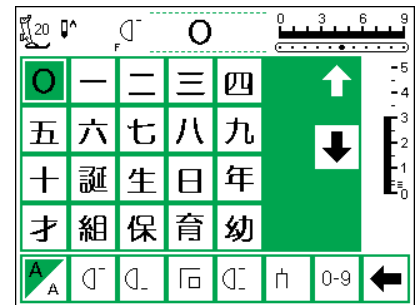
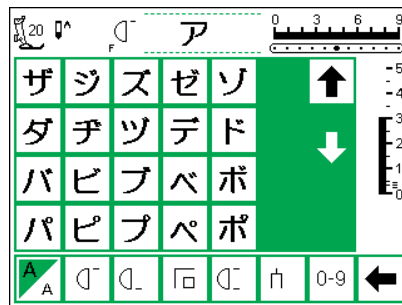
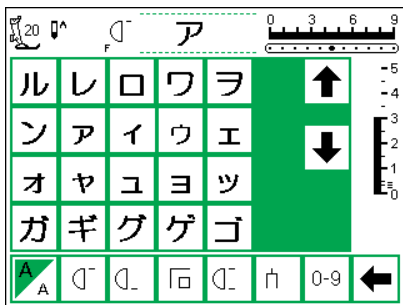
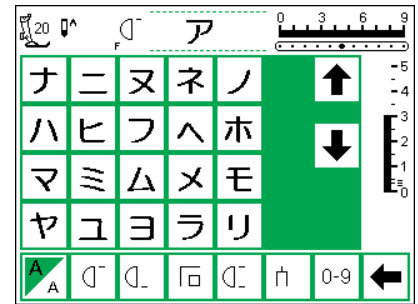
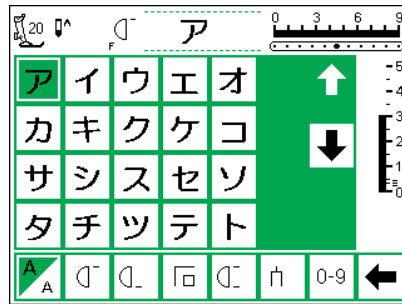
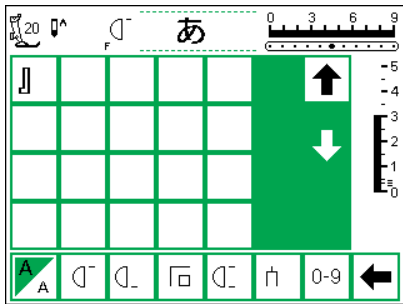
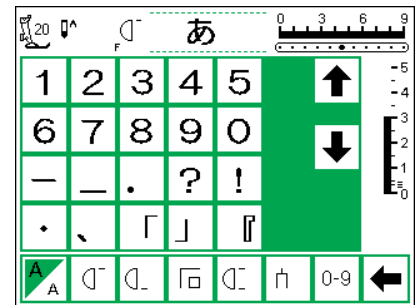
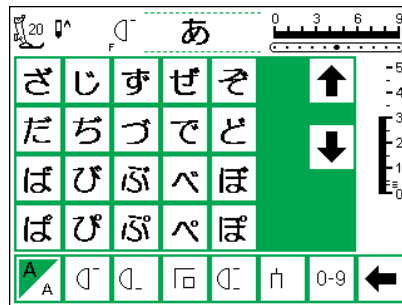
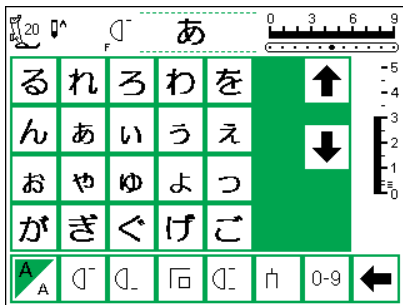
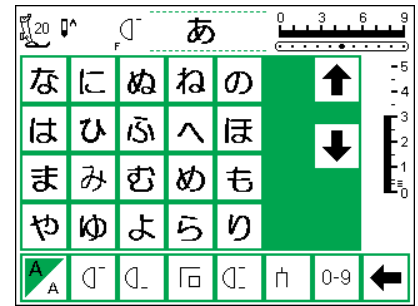
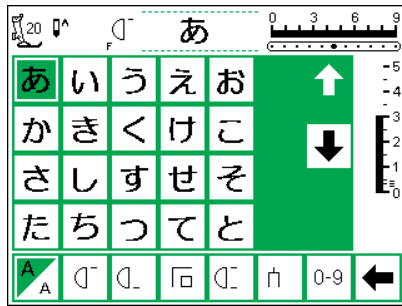
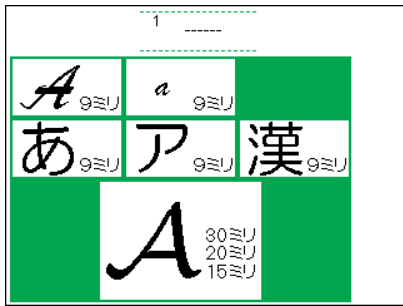
パッチワーク・キルティング用ステッチ



16方向(パノラマ)と4方向(パッチ)縫い模様



文字と数字



20 1c 0^ F 0 3 6 9

稚	園	小	中	学	↑
校	月	火	水	木	↓
金	土				

A A 0-9 ←

1c 0^ F 0 3 6 9

U	V	W	X	Y	↑
Z	A	Ö	A	Æ	↓
U	V	W	X	Y	
Z	A	Ö	A	Æ	

A A 0-9 ←

1c 0^ F 0 3 6 9

U	V	W	X	Y	↑
Z	A	Ö	A	Æ	↓
U	V	W	X	Y	
Z	A	Ö	A	Æ	

A A 0-9 ←

1c 0^ F 0 3 6 9

2	3	4	5	6	↑
7	8	9	0	...	↓
-	.	'	!	+	
=	&	÷	?	%	

A A 0-9 ←

1c 0^ F 0 3 6 9

()	[]		↑
					↓

A A 0-9 ←

1c 0^ F a 0 3 6 9

a	b	c	d	e	↑
f	g	h	i	j	↓
k	l	m	n	o	
p	q	r	s	t	

A A 0-9 ←

1c 0^ F 0 3 6 9

u	v	w	x	y	↑
z	ä	ö	ü	å	↓
æ	œ	ø	ñ	è	
é	ê	à	â	...	

A A 0-9 ←

40c 0^ + F A 0 3 6 9

A	B	C	D	E	↑
F	G	H	I	J	↓
K	L	M	N	O	
P	Q	R	S	T	

1 2 3 0-9 ←

40c 0^ + F A 0 3 6 9

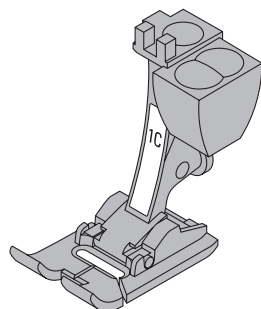
U	V	W	X	Y	↑
Z	A	Ö	A	Æ	↓
U	V	W	X	Y	
Z	A	Ö	A	Æ	

1 2 3 0-9 ←

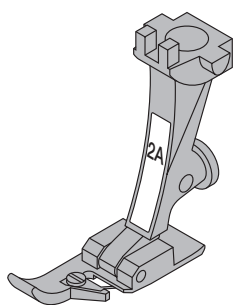
押え金

注意;押え金番号の後ろについているCの文字は、その押え金に布ガイドがついている、または9mm幅のステッチが可能なセンサーがついていることを示しています。布ガイド付きの押え金をミシンに取り付け、ステッチを選択する

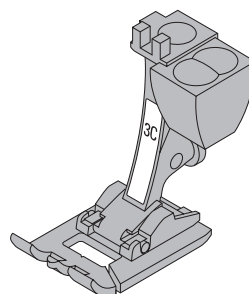
と、振り幅は通常の5.5ミリではなく、9ミリとなります。この文字は必ずしもすべての押え金についているわけではなく、また画面上の押え金表示機能でも表示されないことがあります。



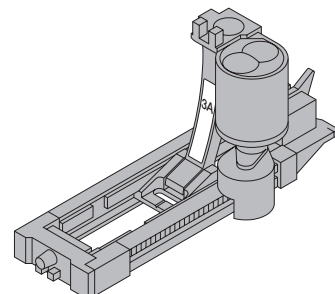
#1C
スーパー模様押え
実用縫い、模様縫い



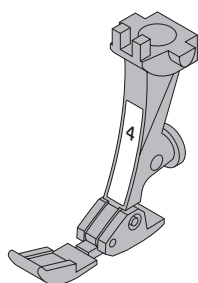
#2A
オーバーロック押え
オーバーロック縫い
布端かがり



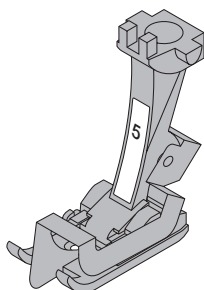
#3C
ボタンホール押え
ボタンホール縫い



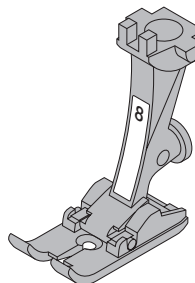
#3A
自動ボタンホール押え
フラットな部分でのボタンホール縫い、自動つくり縫い



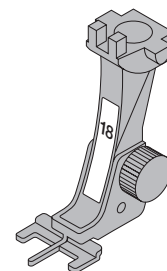
#4
ファスナー押え
ファスナー付けに



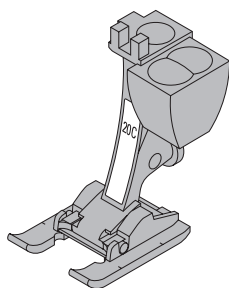
#5
まつり縫い押え
まつり縫い、エッジ縫いに



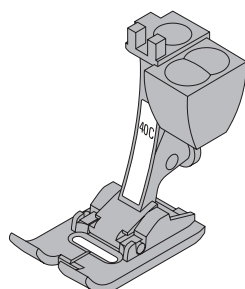
#8
ジーンズ押え
厚手の生地 の直線縫いに



#18
ボタン縫い付け押え
ボタン、スナップおよび鳩目を縫うときに



#20C
オープン刺しゅう押え
刺しゅう、アップリケ、サテン
ステッチ模様、文字、モノグラム



#40C
横送り模様押え
横送り模様

特殊ベルナナ押え

ほとんどのソーイングは付属の標準押え金で可能ですが、キルティングや、伝統的な手法を使ったソーイング、クラフト、ホームデコレーション、洋裁など、特殊な作業に必要な押え金がオプションで用意されています。

詳しくは、ベルナナ正規販売代理店へお問い合わせください。

実用縫い模様



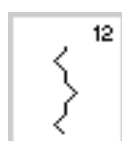
- 1 直線縫い
伸縮性のない生地。すべての直線縫い。



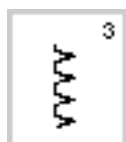
11. スーパーストレッチ
非常に伸縮性の強いニット地やライクラ地などの縫い合わせ。



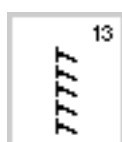
- 2 ジグザグ縫い
あらゆる生地。薄地でのジグザグ縫いや、ゴムひもやレースの縫い付けなど。



- 12 ギャザリングステッチ
あらゆる生地、ゴムひもを使ったシャーリング、キルト綿等突き合わせ縫い。



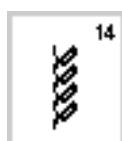
- 3 バリオーバーロック
主に薄地のジャージー等、伸縮地の縁かがりやオーバーロック縫い。



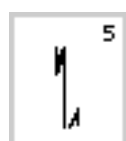
- 13 ストレッチオーバーロック
中厚地のニット地、タオル地その他腰のある生地。



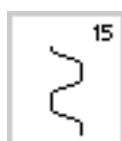
- 4 ランニングステッチ
あらゆる生地。つくり縫い、パッチの縫い付けや補強縫いなど。



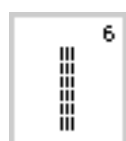
- 14 ジャージーステッチ
天然、混紡、あるいは化繊やデリケートなニット地。飾り縫い、縁かがり、繕い等に。



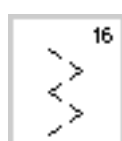
- 5 自動止め縫い
あらゆる生地。直線縫いの始めと終りを自動的に止め縫いします。



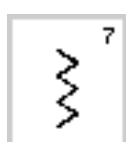
- 15 ユニバーサルステッチ
フェルト等厚地の生地またはレザー等 突き合わせ、飾り縫い等。



- 6 トリプルステッチ
厚くて丈夫な生地。補強縫いに。



- 16 二点ジグザグ
目の粗い生地、布端の補強に、エラスティックや飾り縫いに。



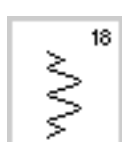
- 7 トリプルジグザグ
厚くて丈夫な生地。補強縫い、トップステッチやヘム縫い、飾りステッチ、カウチングなどに。



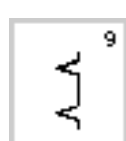
- 17 ライクラストッチ
二方向伸縮性のニット地に、フラットな突き合わせ、縁縫い、下着などに。



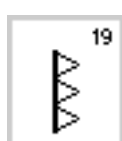
- 8 ネットステッチ
インターロック地や滑らかな生地に。トップステッチやヘム縫いに。



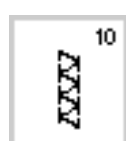
- 18 ストレッチステッチ
すべてのストレッチタイプの生地に、スポーツウエアなど。



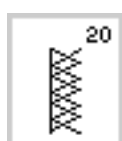
- 9 まつり縫い
あらゆる生地。くけ縫いやソフトなジャージー、薄地のシェルタック、飾り縫いなどに。



- 19 強化オーバーロック
中厚地のニット地、ジャージー、タオル地や、固めの織物に。



10. ダブルオーバーロック
あらゆるニット地。縫うと同時に縁の始末ができます。



- 20 ニットオーバーロック
機械編みや、手編みのあらゆるニット地に。縁かがりと縫い合わせを同時に仕上げます。



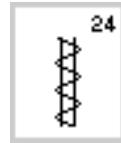
21 しつけ縫い
しつけ縫い。



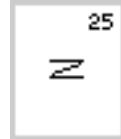
22 自動繕い縫い
薄地や中厚地の布の自動繕い縫い。



23 自動強化繕い縫い
厚地の自動繕い縫い。



24 自動かんぬき止め縫い
ポケットの両端やあき止まりなど、ほつれやすい個所やベルトループに。

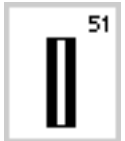


25 自動かんぬき止め縫い
ポケットの両端やあき止まりなど、ほつれやすい個所やベルトループに。



26 フライステッチ(大型)
中厚手の生地、ポケットの端部分、ファスナーおよび開口部分の補強に。

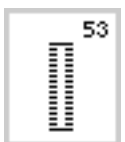
ボタンホール縫いと用途



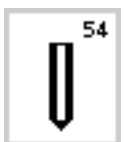
51 標準ボタンホール
薄手から中厚手の生地。ブラウス、シャツ、ズボン、寝具等に。



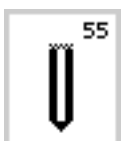
52 標準ボタンホール(幅小)
薄手から中くらいの厚さの生地。ブラウス、シャツ、ドレス、ズボン、幼児服等。



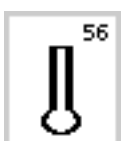
53 ストレッチボタンホール
木綿、化繊、シルクウールのあらゆる伸縮性ある生地。



54 鳩目ボタンホール
厚地で伸縮性のない生地。ジャケット、コート、ズボン等。



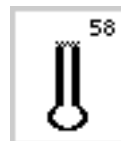
55 ラウンドボタンホール
中および厚地の生地に、ジャケット、レインコートなどに。



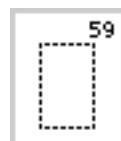
56 標準鳩目ボタンホール
厚地、伸縮性のない生地。ジャケット、コート、ズボン、レジャーウェア等に。



57 ポイント鳩目ボタンホール
伸縮性のない堅い生地に。ジャケット、コート、レジャーウェアに。



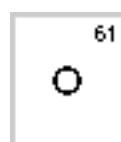
58 強化鳩目ボタンホール
堅い、伸縮性のない生地に。ジャケット、コート、レジャーウェアに。



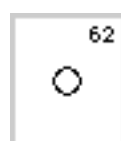
59 直線縫いボタンホール
ボタンホールの準備縫いに、ポケットの開口部に。



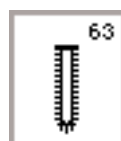
60 ボタン付け
二つ穴、または四つ穴のボタン付けに。



61 ジグザグ・アイレット
紐穴や、リボンやバンド穴、飾り縫いに。



62 直線アイレット
紐穴や、細いリボン穴に。

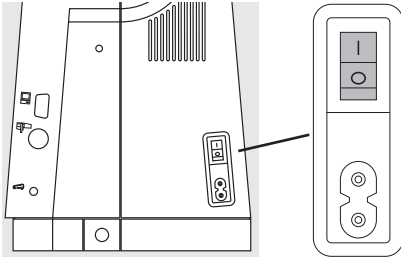


63 手縫い風ボタンホール
薄手から中位の織地に。ブラウス、ドレス、レジャーウェア、寝具等。

ボタンホールの詳細については、ソーイングマニュアルの 21-30 ページをご覧ください。

スクリーン操作

アーティストは外部操作ボタンとつまみ、及びタッチスクリーンの両方で操作します。



ミシンの電源を入れる

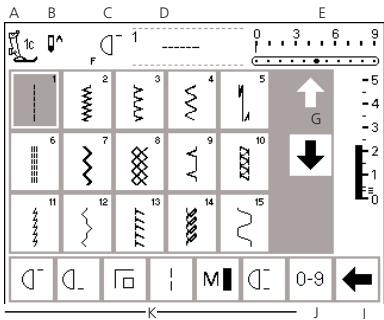
- ・ スイッチの《 I 》を押してオンにします。



Welcomeメッセージが約3秒間画面に表示されます。

- ・ *Welcome*

このスクリーンはセットアップ機能で出さないようにすることも出来ます。

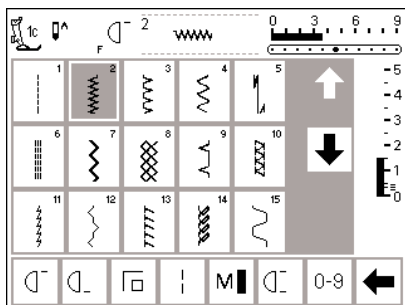


実用縫いスクリーン

- ・ Welcomeメッセージが消えると実用縫いスクリーンが表示されます。
 - ・ スクリーンには次の情報が含まれています。
- A 基本の押え金の表示
 - B 針上下停止位置表示
 - C 《F機能》ボタンにセットされた機能の表示
 - D 選択した模様の番号
 - E 振り幅(基本セッティングが点滅)

- F 針基線(11ポジション)
- G 画面スクロール上下矢印
- H 送り長さ(基本セッティングが点滅)
- I 機能スクロール用矢印
- J 選んだ模様は黒く強調して表示されます。
- K 機能ツールバー

スクリーン操作、模様を選択、模様の表示、機能の選択

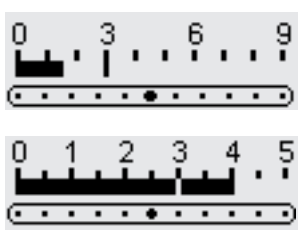
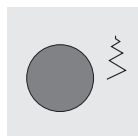


模様の選択

- ・ 縫いたい模様ボタンをタッチして選びます。
- ・ 選んだ模様が黒く強調されて表示されます。
- ・ すべての模様には番号がついています。

振り幅の調節方法

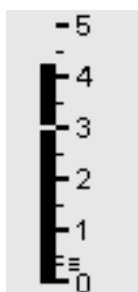
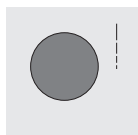
ミシンパネル右上の一番上のつまみを回します。



- ・ 変更した振り幅が画面の中の振り幅表示に現われます。
- ・ 基本セッティングが点滅しています。
- ・ 変更された模様のセッティングで表示されます。
- ・ センサー付きの押え金を使用すると自動的に振り幅を最大9ミリにセットします。
- ・ センサーのついていない押え金を使うと自動的に最大振り幅が5.5ミリにセットされます。
- ・ 画面上の振り幅表示も押え金のタイプに合わせて9ミリ、または5ミリ表示に切り替わります。

送り長さの調節方法

- ・ ミシンパネル右上の上から2番目のつまみを回します。



- ・ 変更した送り長さが画面の中の送り長さ表示に現われます。
- ・ 基本セッティングが点滅しています。
- ・ 送り長さは、通常0mmから5mmの間で変更できます。

選択した模様の表示

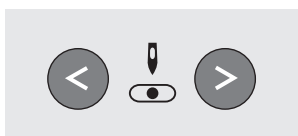
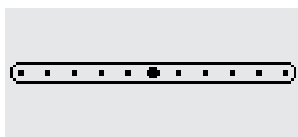
- ・ 模様番号が画面上部に表示されます。

- ・ 選んだ模様に変更された振り幅や送り長さと一緒に画面上に表示されます。
- ・ 表示されるサイズは原寸大ではありません。



針基線の移動

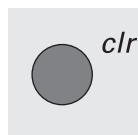
- ・ 左 (<)、または右 (>)の針基線ボタンを押します。
- ・ 一回押すたびに、針基線が一つずつ移動します。





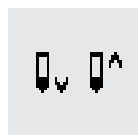
基本押え金表示

模様に適した基本の押え金がスクリーン左上に表示されます。



基本セッティングに戻す

- 外部プッシュボタン「clr」を押します。
- 模様などが基本セッティングに戻ります。



針上下停止位置表示

- 針上下停止機能プッシュボタンを押します。
- 上または下向きの矢印が表示されます。
- 矢印が下に向いていると、ミシンは常に針が下に下りた状態で止まります。

- もう一度押すと、矢印が反対に向きます。



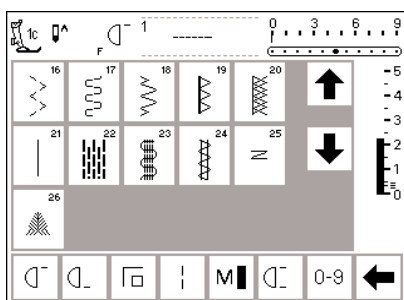
機能の選択方法

- 選びたい機能ボタンにタッチ。
- 機能が起動してボタンが黒く表示されます。(同時にいくつもの機能を起動することも出来ます。)
- 画面に表示されていない機能を探すには機能ツールバー右端のスクロール用矢印「◀▶」をタッチします。
- 必要に応じて他の機能も起動してみてください。

- スクロール用矢印をタッチして他の機能を画面に表示します。
- 機能ツールバーは後述のセットアップ機能で自分に使い易くセットできます。
- 機能ツールバーについての詳細は、24～31 ページをご覧ください。

模様の選択方法

ステッチは、以下にあげる 2 つの方法のどちらを使っても選択することができます。



画面のスクロールにより直接選択する方法

- 画面右のスクロール用矢印「◀▶」(下向きを一回タッチして下さい)。
- 最上段の模様の行が消えて、下から新しい模様の行が現われます。
- 今度はスクロール用矢印「◀▶」(上向きを一回タッチして下さい)。
- 最上段が再び現われて、最下段スクリーンから消えます。

- 押し続けると画面上の模様が下から上に移動します。
- 上下のスクロール機能は、ステッチを見つけやすくするためにあります。
- ステッチを目で探す場合に使います。
- お目当てのステッチが見つかったら、タッチして選択します。

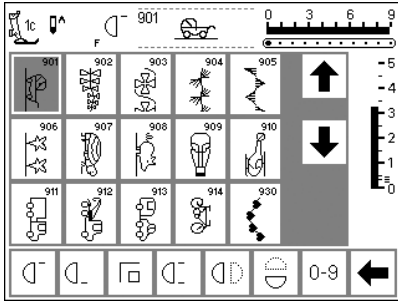
ステッチ番号					クリア
1	2	3	4	5	戻る
6	7	8	9	0	次へ

模様を番号で選ぶ方法

- 画面下の機能ツールバーで模様番号選択機能「◀0-9」をタッチします。
- 画面が模様番号選択機能の画面に変わります。
- 選びたい模様の番号の数字ボタンをタッチして入力します。
- 画面上に入力した番号が表示されます。

入力の訂正方法

- 間違って番号を入れたり、番号を変更したい時は、「クリア」ボタンをタッチします。
- カーソルが左に移動して下の桁から一つずつ数字を消します。
- 正しい番号を入力します。



番号を確認して次の画面へ

- ・ «ok»ボタンをタッチして確認します。
- ・ «ok»ボタンをタッチして模様画面を表示します。
- ・ 番号で選んだ模様が黒く強調されて表示されます。

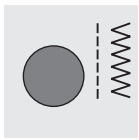
キャンセルして元の画面へ戻る

- ・ «戻る»ボタンをタッチします。
- ・ 元の画面が現われます。
- ・ 番号で入力した模様はキャンセルされました。

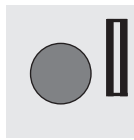
ご注意！

模様がない番号を入力しても画面は反応しません。

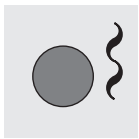
模様メニューの操作方法



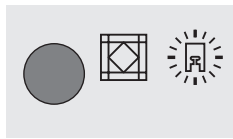
実用縫いステッチ



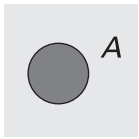
ボタンホール



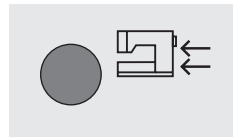
飾り縫いステッチ



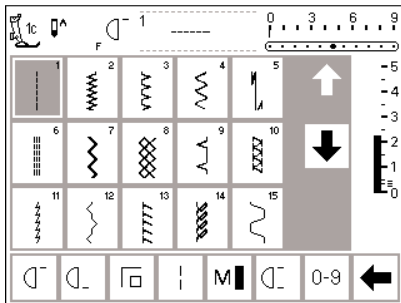
パッチワーク・キルト・横送り縫い



文字・数字

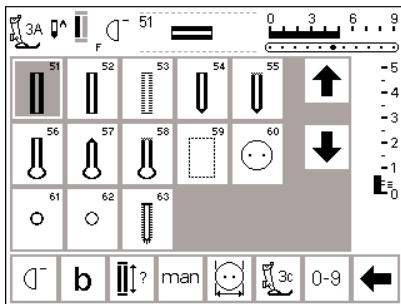


刺しゅうモード



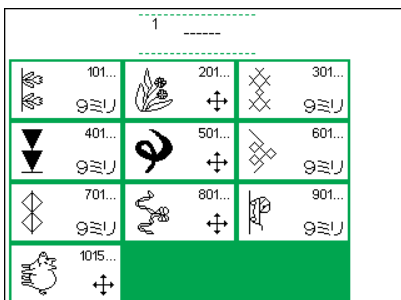
実用縫い模様メニュー

- ・ 実用縫い模様画面が現われます。
- ・ 直線縫いが自動的に選ばれています。
- ・ 画面には15種類の模様が表示されます。
- ・ 他の模様を画面に表示するにはスクロール矢印をタッチします。



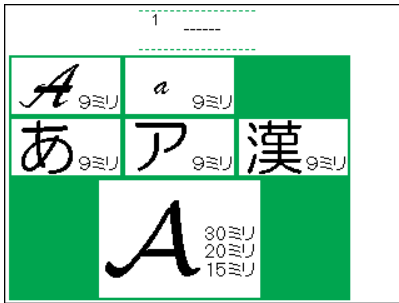
ボタンホールメニュー

- ・ ボタンホールメニュー画面が現われます。
- ・ アイレットや、ボタン付けプログラムも含まれています。



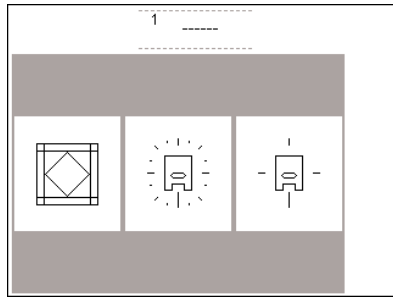
飾り縫い模様メニュー

- ・ 飾り縫い模様メニュー画面が現われます。
- ・ 模様パターンやサイズを選べます。
- ・ 9ミリの飾り縫い模様です。
- ・ 横送り模様にはクロス矢印が表示されています。
- ・ 模様ボタンをタッチして選びます。



文字メニューボタン

- ・ 文字メニューが現われます。
- ・ 縫いたい文字ボタンをタッチして選びます。



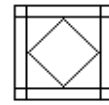
キルティングステッチ／横送り模様メニューボタン

- ・ 三種類の画面が現われます。
- ・ 縫いたい画面のボタンをタッチします。
- ・ 各カテゴリーの模様画面が現われます。

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

セットアップメニュー

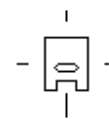
- ・ セットアップメニューボタンを押します。
- ・ メニュー画面が現われます。
- ・ ご自分のご使用に便利のようにセットアップ機能を使って編集します。
- ・ 模様や機能を組み合わせて編集できます(マイスクリーンセッティング)。
- ・ マイスクリンセッティングを恒久的に保存できます。



キルティングステッチ



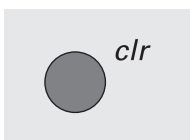
16方向縫い



4方向縫い

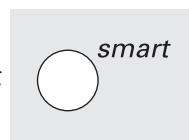
保存したマイスクリーンセッティング画面から自在に操作が可能です。不要になればいつでも基本セッティングに戻せます。

外部機能ボタンの解説



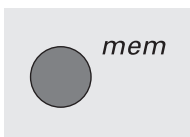
《clr》クリアボタン

- ・ clrボタンを押します。
- ・ 振り幅、送り長さ、針基線、糸調子およびバランスが基本セッティングに戻ります。
- ・ ほとんどの機能がキャンセルされます。



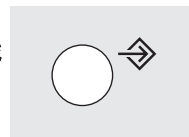
《smart》スマート機能ボタン

- ・ smartボタンを押して下さい。
- ・ 画面で使っているそのままの状態(振り幅、送り長さ、針基線、糸調子およびバランスを変更した状態)でステッチ／機能を保留します。
- ・ 別のステッチを選んで、縫って下さい。
- ・ smartボタンをもう一度押して、先ほど保留したステッチを呼び戻します。
- ・ このようにして、smart機能を使って、同時に異なるマルチソーイングをこなせます。



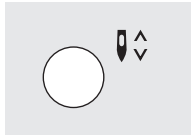
《mem》メモリーボタン

- ・ memボタンを押します。
- ・ メモリーがオープンされ、画面上にメモリー領域が現われます。
- ・ 画面上の三段目の模様表示がメモリー領域に置き換えられます。
- ・ memボタンをもう一度押すとメモリー領域が画面から消えます。
- ・ 詳細はメモリーの章をご参照下さい。



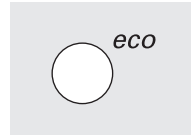
《セットアップ》機能ボタン

- ・ セットアップ機能ボタンを押します。
- ・ セットアップメニュー画面が現われます。
- ・ ご自分で使いやすく、便利のように機能やステッチをセット出来ます。
- ・ 頻繁に使うステッチや機能を自分の画面に集約してマイスクリーン画面(マイスクリーン)を構成することも可能です。
- ・ セットアップ下状態で保存することも可能です。
- ・ 基本のセッティングに戻すことも出来ます。



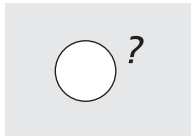
針上下停止位置選択ボタン

- ・ ボタンを押します。
- ・ 画面上の矢印の向きが変わります。
- ・ この矢印のむいている場所で針は止まります。
- ・ もう一度ボタンを押すと画面上の矢印の向きが変わります。



《eco》機能ボタン

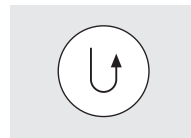
- ・ eco機能ボタンを押します。
- ・ 機能を一時的に停止し、使用電力を50%節減します。
- ・ 長時間にわたって、作業の中断を余儀なくされた時などに便利です。
- ・ すべてのセッティングはそのまま保留されます。
- ・ スクリーンセーバーが起動して、画面を暗くします。
- ・ 作業を再開するには、ecoボタンをもう一度押すだけです。



《?》ヘルプボタン

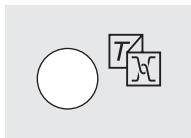
- ・ ヘルプボタンを押します。
- ・ 次に画面上の模様ボタンや機能ボタンをタッチしてみてください。

タッチした模様や機能の解説が画面に表示されます。



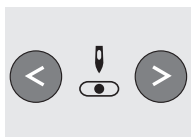
手元返し縫い機能ボタン

- ・ フットコントローラーを踏んだままでボタンを押します。
- ・ 縫い始めや縫い終りに止め縫いします。
- ・ 押している間返し縫いを続けます。
- ・ ボタンホールをのサイズをプログラムするのも使います。
- ・ 自動つくり縫いで長さをプログラムするのも使います。
- ・ 自動直線止め縫い # 5 のステッチでもスイッチとして使います。
- ・ 刺しゅう機 (別売りオプション) を接続時には、スタート、ストップボタンとして機能します。



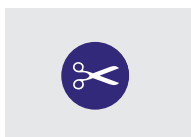
オン・ボード・マニュアル

- ・ ボタンを押します。
- ・ 次の三種類のメニューが画面に表示されます。
 - 1) 糸調子
 - 2) チュートリアル (説明書)
 - 3) ソーイングコンサルタント (布、糸、針、縫い方、自動糸調子等の解説)
- ・ 画面をタッチして選びます。
- ・ 選んだ解説が画面上に現われます。



針基線選択ボタン

- ・ 左、または右のボタンを押します。
- ・ 針基線が選んだ方向へ移動します。
- ・ 全部で11個の針基線があります。左右にそれぞれ5個および中央部分となります。



自動糸カッター

- ・ 糸カッターボタンを押してください。
- ・ 上糸および下糸を、自動的にカットできます。



《F》(お好み機能)ボタン

- ・ このボタンはいかようにも、ご自分の好みの機能をプログラムして使うことが出来ます。
- ・ キャンセルすることも、何度でもプログラムし直すことも可能です。
- ・ 詳しくは、セットアップの章をご参照下さい。

オン・スクリーン機能

画面上に配備された機能は、タッチセンサーで起動でき、起動中の機能は黒く強調されて表示されます。

選んだ機能をキャンセルするには、個々の機能のボタンを再度タッチするとキャンセルできます。

《c l r》クリアボタンを押せば、以下の例外機能を除くすべての起動中の機能が一度にキャンセルできます。

例外の機能:

針上下停止位置 / ソーイングスピード / 2本針振り幅限定機能

これらの機能は、常に個々にキャンセルします。

一般的な機能

次の標準的な機能が画面に表示されます。

いろいろな作業に使いますので、以下に説明します。



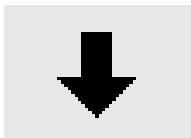
上にスクロールする

- ・ 何度かタッチします。
- ・ 画面が上にスクロールします。



《戻る》ボタン

- ・ 《戻る》ボタンにタッチします。
- ・ 機能の完了や画面の終了を指示します。
- ・ 以前の画面に戻ります。



下にスクロールする

- ・ 何度かタッチします。
- ・ 画面が下にスクロールします。

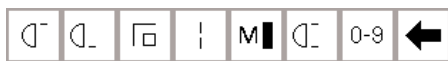


《OK》ボタン

- ・ タッチして調節や選択を確認します。
- ・ プログラムされた調節や選択内容を縫う用意が完了しています。

機能ツールバー

以下の機能が、各種模様縫い画面の下に常に表示されています。8種類以上の機能(ただしメモリーを使っているときは4種類)が機能ツールバーにセットされている場合は、残りの機能ボタンは隠れています。その場合は、画面下右端の矢印をスクロールすると、隠れているボタンを表示することができます。隠れている機能が起動しているときには、矢印が点滅しています。



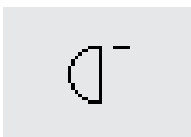
実用縫い用の機能ツールバー



矢印でスクロールして表示します。

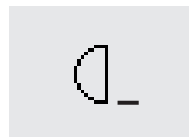
注意:

スクロール用の矢印と0—9(模様番号で選択する)ボタンは、常に画面に表示されますので、いつでも使用することができます。合計8個の機能(メモリー使用中は4個)が、画面に表示されます。



模様頭出し機能

- ・ 機能ボタンにタッチして起動します。
- ・ 針目を模様やメモリーの内容の先頭に戻します。
- ・ ボタンは2～3秒間黒くなって、元に戻ります。



一模様縫い機能

- ・ 機能ボタンをタッチして起動します。
- ・ 1つのパターンまたは組み合わせに含まれる指定した一部分を縫い終わると、ミシンが自動的に停止します。



一点止め縫い機能

- ・ 機能ボタンをタッチして起動します。
- ・ ステッチの縫い始めと縫い終わりを4針で一点止め縫いします。
- ・ メモリーと一緒に使うとメモリーの内容の縫い始めと縫い終りで止め縫いします。

適用:

- ・ 飾り模様を使ってモチーフを縫う時
- ・ 個々の文字を縫う時
- ・ 文字とステッチを組み合わせで縫う時



ソーイングスピード選択機能

- ・ 機能ボタンを一回ずつタッチすると、1/4、2/4、3/4、4/4の表示が現われ、最高スピードを制御します。
- ・ 各スピード域でのトップスピードを、各225針、450針、675針、900針/分にコントロールします。

適応:

- ・ 刺しゅうなどの細かい複雑な作業での正確なスピードコントロールに。
- ・ フリーハンドキルティングなどに。
- ・ お子様の実習に。



ロングステッチ機能

- ・ 機能をタッチして起動します。
- ・ ミシンは2針に一回縫います。(5ミリの送り長さの縫い目では10ミリで縫えます)。
- ・ いろいろなステッチとの組み合わせが可能です。

適用:

- ・ 直線縫いでしつけ縫いに。
- ・ トリプルステッチ直線と使ってトップステッチに。



ステッチ番号で模様を選択

- ・ 数字の表示にタッチします。
- ・ 適当な数字の組み合わせにタッチしてステッチを選択します。

応用:

- ・ 各ステッチをすばやく選択できます。
- ・ メモリーへの入力もすばやく処理できます。



機能スクロール

一回ずつ、またはタッチしつづけると、と機能を見て調べることができます。

応用:

- ・ 使用できる機能をすべて見てみましょう。
- ・ 個々のモチーフやメモリーにあるステッチと機能を組み合わせてみましょう。



模様反転機能一上下

- ・ 表示にタッチします。
- ・ 選択したステッチが上下の反転模様で縫えます。

応用:

- ・ 装飾縫い
- ・ メモリーを使ったパターンの組み合わせ



模様拡大機能2-5倍

- ・ 一回、または何度かタッチします。
- ・ 選択したステッチによって2-5の数字が出ます。
- ・ 選択したステッチの長さを2-5倍に長くすることができます。
- ・ 拡大したステッチでメモリーにプログラムできます。

応用:

- ・ いろいろなステッチを拡大してみましょう。
- ・ ステッチを組み合わせ、メモリーに保存できます。



一模様縫い機能1-9

- ・ 繰り返し縫う回数をボタンにタッチして、数字を選択して下さい。
- ・ 1=各ステッチ、または一組のステッチが終わるたびにミシンが停止します。
- ・ 2~9=ステッチや一組のステッチが選択した回数だけ繰り返された後にミシンは停止します。

応用:

- ・ 各モチーフを縫います。
- ・ 実用縫いと4方向縫いを組み合わせます。
- ・ メモリーに保存したパターンを、選択した回数縫うことができます。



模様反転機能一左右

- ・ 表示にタッチします。
- ・ 選択したステッチが左右の反転模様で縫えます。



連続返し縫い機能

- ・ 表示にタッチします。
- ・ 連続して返し縫いで縫えます。

応用:

- ・ 直線縫いかランニングステッチでかがってみましょう。
- ・ 袖やズボンに装飾縫いをしてみましょう。



1/2 模様機能

- ・ 表示にタッチします。
- ・ ステッチパターンの半分のところでミシンが停止します。

応用:

- ・ 角の仕上げに。
- ・ 新しいパターンを作りましょう。



二本針の制限

- ・ 何度かタッチして 2 から 8 のうちの数字を選択します。
- ・ 数字は針と針の間の距離をミリ単位で表しています。
- ・ ステッチの幅は、自動的に制限されています。
- ・ こうして、針が押え金や針板に当たったり、針折れが起こるのを防いでいるのです。

応用:

- ・ ピンタックを縫ってみましょう。
- ・ ニットの縁かがりをしてみましょう。
- ・ ヘムステッチを試してみましょう。
- ・ 装飾縫いをしてみましょう。

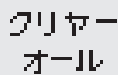


バランス

- ・ 表示にタッチしてバランス画面を開きます。
- ・ 前進と返し縫いのステッチバランスを修正します。
- ・ 横送り縫いのステッチを修正します。

応用:

- ・ たとえばネットステッチのような実用縫いのステッチを減らしたり増やしたりしてみましょう。
- ・ 装飾縫い一新しく見えます。
- ・ 違う生地にボタンホールを合わせてみましょう。
- ・ 違う生地に横送り縫いのステッチを合わせてみましょう。



クリアオール機能

- ・ セットアップ機能で変更された機能以外はすべてクリアして標準セッティングに戻します。
- ・ 連続返し縫い機能
- ・ 一模様縫い機能
- ・ 左右模様反転機能
- ・ 模様拡大機能
- ・ 送り長さ
- ・ 針基線
- ・ 2本針振り幅制限機能
- ・ 針停止位置機能
- ・ 文字サイズ
- ・ ボタンホールメモリー
- ・ ロングステッチ機能
- ・ 一点止め縫い機能
- ・ 上下模様反転機能
- ・ バランス機能
- ・ 振り幅
- ・ 1/2 模様機能
- ・ ウィング針振り幅制限機能
- ・ ソーイングスピード限定機能
- ・ モノグラムサイズ機能
- ・ 糸調子調節機能

注意:

さらに、上糸調子の調節とウィング針振り幅制限機能の2つを、セットアップ機能の編集画面で、機能ツールバーに指定することができます。(詳しくはセットアップ機能の項目をご覧ください。)

セットアップ機能

次の機能がセットアップ・プログラムに用意されています。ソーイング画面で使用することができますが、特に指定しないかぎり、画面下のツールバーに表示されることはありません。

詳しくは、セットアップ・プログラムの項目をご覧ください。



マイスクリーン機能

- ・ ボタンにタッチします。
- ・ 画面が表示されます。

使い方

- ・ よく使う模様をまとめておくと便利です。

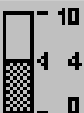


ヘムステッチ(ウィング)針

- ・ ヘムステッチの表示はセットアップで組み込みません。
- ・ ステッチの幅は自動的に制限されています。
- ・ こうして、針が押え金や針板に当たったり、針折れが起こるのを防いでいるのです。

応用:

- ・ ヘムステッチを試してみましょう。
- ・ 装飾縫いをしてみましょう。



糸調子の調節

- ・ ツールバーにはセットされていません。
- ・ セットアップ・プログラムでツールバーに表示するよう指定できます。
- ・ ボタンをタッチすると、画面が開きます。
- ・ 選んだステッチのテンションのみを調節できます。
- ・ テンションの変化を画面上で見ることができます。
- ・ 標準セッティングは、細線で表示されます。
- ・ «リセット»をタッチすると、標準セッティング(工場出荷時の設定またはセットアップ画面で指定した値)に戻ります。

メモリー操作機能

外部メモリーボタンを押してメモリーを起動させると以下のような機能ボタンが画面下部に表示されます。

確認

チェック

- ・ 表示にタッチします。
- ・ メモリーの内容が表示されます。

応用:

- ・ メモリーの内容をチェックしたり訂正したりしましょう。

削除

- ・ 表示にタッチします。
- ・ カーソルの左側で各ステッチや文字を削除します。
- ・ ステッチの組み合わせを削除します。

応用:

- ・ メモリーの訂正ができます。
- ・ メモリーの内容を完全に削除します。

クリア



左にスクロール

- ・ 何度か表示にタッチします。
- ・ メモリーの内容が後ろからスクロールします。



右にスクロール

- ・ 何度か表示にタッチします。
- ・ メモリーの内容が前向きにスクロールします。

mem
1

メモリーの選択

- ・ 開いたメモリー域は数字で表示されます。
- ・ メモリーバンクの内容を表示するには、チェックを押します。
- ・ «戻る»ボタンにタッチしてメモリーを閉じます。
- ・ メモリー操作を終わるには、画面右横の«mem»ボタンを押します。

応用:

- ・ メモリーで作業します。
- ・ ステッチの組み合わせを保存します。

保存

保存

- ・ 表示にタッチします。
- ・ 各ステッチ、ステッチの組み合わせ、文字等を保存します。
- ・ メモリーは閉じられます。

応用:

- ・ メモリーにプログラムした内容を保存しましょう。

編集

メモリーの内容を編集

- ・ 表示にタッチします。
- ・ メモリーバンクをスクロールして、編集したいステッチを選択します。
- ・ 変更したい機能を選択します。送り長さ、振り幅、針基線、ソーイングスピード、ロングステッチ、糸調子、反転模様、拡大模様およびバランス等を変更できます。
- ・ コンビネーションに止め縫い機能を追加したり、メモリーバンクに分割機能を追加することもできます。

応用:

- ・ メモリーの内容を訂正したり変更したりしてみましょう。

メモリー編集機能

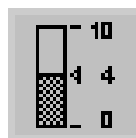
«編集»ボタンをタッチすると、画面中央にメモリーの編集画面が表示されます。「編集»を起動すると、「削除»を

除く機能ツールバーの機能は、「編集»を閉じるまでは休眠状態になり、使えません。



ソーイングスピード選択機能

- ・ 機能ボタンをタッチすると、スピードを選択できます。
- ・ 選択したスピードが表示されます。
- ・ 最高速度は、900針/分です。(セットアップ・プログラムで速度変更をしている場合は、この限りではありません。)
- ・ ソーイングスピードを、1回1/4ずつ増減することができます。



上糸調子の調節

- ・ ボタンを押すと、テンション画面が表示されます。
- ・ テンションの変更は、その場で選択されているステッチのみに影響を与えます。
- ・ 変更は、画面に表示されます。
- ・ 標準設定もまた、画面に表示されます。

標準設定(工場出荷時の設定、またはセットアップ画面で設定した値)に戻すには、「リセット»をタッチします。



一点止め縫い機能

- ・ 表示にタッチします。
- メモリーで、ステッチとステッチの間に行うよう、組み込んでおくことができます。



模様反転機能—左右

- ・ ボタンをタッチします。
- ・ 選択したステッチが、左右反転した状態で縫えます。
- ・ 変更は、画面に表示されます。



模様反転機能—上下

- ・ ボタンをタッチします。
- ・ 選択したステッチが、上下反転した状態で縫えます。
- ・ 変更は、画面に表示されます。



メモリーの分割

- ・ ボタンをタッチします。
- ・ メモリーの内容は、最高255個のセクションに分かれています。
- ・ メモリーのセクションは、どれも好きなように分割することができます。
- ・ すべてのセクションを合計すると、1023個のステッチをメモリーに保存することができます。



模様拡大機能2—5倍

- ・ 好きな回数タッチします。
- ・ 選択したステッチにより、2~5までの数字が表示されます。
- ・ 選択したステッチの送り長さが、2倍から5倍の大きさになります。
- ・ ステッチの数(密度)には、影響はありません。
- ・ ステッチの拡大は、メモリーにプログラムすることができます。



バランス

- ・ 表示にタッチして、バランス画面を開きます。
- ・ 前進および返し縫いのステッチのバランスを修正します。
- ・ 横送り縫いのステッチを修正します。

ボタンホールプログラム機能

ボタンホールを選択すると、以下の機能がツールバーに表示されます。



ボタンホールの長さ—サイズを直接入力する

- ・ 表示にタッチしてサイズ入力画面を開きます。
- ・ ボタンのサイズをミリで入力します。
- ・ 長さがボタンホール表示の右側に出ます。
- ・ ボタンの厚みを考慮して自動的に 2 ミリ加算されボタンホールを縫います。

応用:

- ・ もしボタンのサイズを知っていたら素早く便利です。



ボタンホールの長さ—画面上で測る

- ・ 表示にタッチして測定画面を開きます。
- ・ ボタンを画面の左下の隅に軽く押し当てて測ります。
- ・ ボタンホールの長さは、ボタンの厚みを考慮して自動的に 2 ミリ加算してプログラムされません。

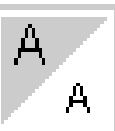
応用:

ボタンホールのサイズを決定するのに便利です。簡単な方法です。



ロングステッチ機能

- ・ ボタンにタッチします。
- ・ 2針に1回、縫います。最大10mmの長さのステッチが可能です。



文字サイズ

- ・ 好きな回数タッチします。
- ・ 画面の半分が、ハイライトで強調されて表示されます。
- ・ 大きなAがグレーで強調されている時は9mm、小さなAの場合は6mmとなります。



モノグラムのサイズ

- ・ モノグラムを選択すると、編集画面で、文字サイズの代わりに表示されます。
- ・ モノグラムでは、サイズ1で、30mmを指します。(自動的に設定されます。)
- ・ ボタンを押すと、中央の部分が起動します。(2で、20mmを指します。)
- ・ もう一度ボタンを押すと、右側の部分が起動します。(3で、15mmを指します。)



手動式のボタンホール

- ・ 表示にタッチします。
- ・ 手順に従います。(ボタンホールのタイプによって 4—6 ステップ)

応用:

- ・ 個別に手動でボタンホールを縫う時に
- ・ ボタンホールの修繕に

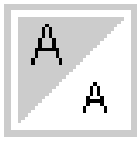


ステッチカウント式ボタンホール

- ・ ボタンホールを選択します。
- ・ 表示にタッチします。
- ・ ステッチカウント式ボタンホールが起動します。

以下に挙げる機能の中には、文字、数字、モノグラムが選択されているときにはいつでも画面左下に表示されるものが含まれ

ています。その場合、ツールバーに通常表示されている機能が1つ、隠れて表示されなくなります。

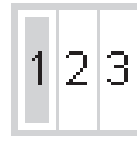


文字のサイズ

- ・ 文字または4種類の字体からどれか1つを選択していると、画面左下に表示されます。
- ・ 何回かタッチしてください。
- ・ 画面の半分がハイライトで強調されて表示されます。
- ・ グレーでハイライト表示されている方が、適用される文字サイズとなります。大型は9mm、小型は6mmです。

適用

- ・ サイズの変更。
- ・ サイズの変更をメモリーするとき。



モノグラムのサイズ

- ・ モノグラムを選択すると、編集画面で、文字サイズ機能の代わりに表示されます。
- ・ 何回か押して、選択してください。
- ・ 選択した回数、ハイライト表示されます。
- ・ モノグラムのサイズは、1番=30mm、2番=20mm、3番=15mmです。

適用

- ・ サイズ変更をするとき。

オンスクリーン・メッセージ

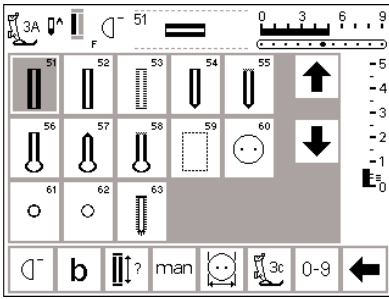
操作中に必要な場合、画面に次のようなメッセージが表示されることがあります。これらは、使用中のステッチおよび機能に関するお知らせ、警告または確認等です。

ここでは、ミシンの操作に関するものおよびその対処方法のみをご紹介します。(刺しゅう機に関しては、刺しゅう用マニュアルをご覧ください。)

メッセージ内容	対応処理
「下糸を確認してください。」	下糸がなくなっていないか確認します。必要ならば、新しく巻き取り、ポビンを交換してください。交換するまでミシンは動きません。
「上糸を確認してください。」	上糸がなくなったり、切れたりしていないか確認します。必要ならば、糸を交換してください。交換するまでミシンは動きません。
「糸巻きがオンになっています。」	下糸巻取装置がオンになっていないか確認します。もしオンになっている場合には、フットコントローラーは使えず、ミシンは動きません。すぐにオフにしましょう。注意; このメッセージは、下糸を巻き取っているときにも表示されます。画面をクリアするには、《戻る》をタッチしてください。
「このメモリーの内容を削除しますか?」	メモリーからステッチや機能を削除するときに、確認のため表示されます。《OK》をタッチすると、削除できます。《戻る》を押せば、削除されません。
「マイスクリーンのメモリーがいっぱいです。」	新しくステッチを保存するには、どれか保存されたステッチを1つ削除する必要があります。
「メモリーがいっぱいです。」	新しくステッチを保存するには、どれか保存されたステッチを1つ削除する必要があります。
「この機能はマイスクリーンには登録できません。」	多方向縫いのステッチおよびモチーフ(4方向縫い、16方向縫いおよび文字)は、マイスクリーンに保存できません。他のメニューから、他のステッチを選択してください。
「メモリーには何も保存されていません。」	まずデザインを保存してください。その後、縫うことができます。
「メインドライブに問題が生じた。回転釜をチェックしてください。」	電源を切って、釜周辺に詰まっている糸クズを取り除いてください。

ボタンホール

ボタンホールは装飾的な効果にも使うことができる すべてのボタンホールは、さまざまな方法でプログラム
実用的なステッチです。アーティスト185では幅広い 適用して縫うことも可能です。
い選択肢をご用意いたしました。



ボタンホール / ボタン付けプログラム / アイレット

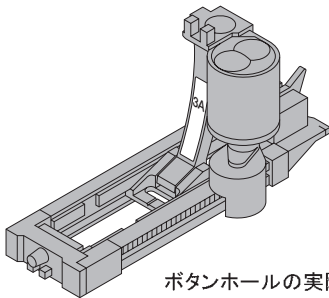
- 画面右横にあるボタンホール用の外部ボタンを押します。
- 画面にはボタンホールとアイレットの全種類の概観が表示されます。

- 51 標準タイプパータック
- 52 標準タイプ (幅小) - (エアローム)
- 53 標準タイプ伸縮地用
- 54 ラウンドエンド標準タイプ (標準パータック付)
- 55 ラウンドエンド標準タイプ (水平パータック付)
- 56 はと目 (標準パータック付)
- 57 はと目 (扇型パータック付)
- 58 はと目 (水平パータック付)
- 59 直線縫いボタンホール
- 60 ボタン付けプログラム
- 61 ジグザグアイレット
- 62 直線縫いアイレット
- 63 手縫い風ボタンホール

ボタンホール/ボタン付けプログラム/アイレットの選択

- 選んだボタンホールをタッチします。
- 選んだボタンホール、アイレットまたはボタン付けプログラムが起動します。

自動式標準と伸縮ボタンホール(自動長さ調節)



ボタンホールの実際の縫い方は、ソーイングの部の25ページを参照。

穴かがりは左右両方とも同じ方向に縫われます。

ご注意！

布ガイド付きボタンホール押え#3Cは生地の上に平らになるようにして下さい。つまり、縫い代の折り返しの上に置いたりしないように。さもなければ、長さを正確に測ることができないからです。

自動式ボタンホール

- ボタンホール押え#3Cについているセンサーが自動的に長さを測定します。
- ボタンホールの長さはすべて4-29ミリです。



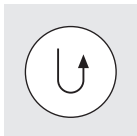
最初の穴かがりを縫う

- 縫う場所が画面に表示されます。(押え金表示の右側)
- 最初の穴かがりを前進で縫い、適当な長さでミシンを止めます。



自動縫いボタンホール

- 上の環止めを自動的に縫います。
- 次に自動的に右側の穴かがりを前進縫いで縫います。



ボタンホールをプログラムする

- 《手元返し縫い》ボタンを押します。
- 画面のボタンホールの表示に自動<auto>と出ます。= 長さがプログラムされました。

ミシンは自動的に直線で返し縫いします。

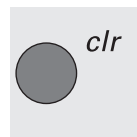


自動縫いボタンホール

- 下の環止めを自動的に縫います。
- 自動的に止め縫いをします。
- 自動的にミシンは停止し、ボタンホールの縫い始めに戻ります。
- 続けて縫うときは同じ長さで自動的に縫えます(2度目からは止め縫いボタンを押しません。)

ボタンホール高さ調節板(オプション)

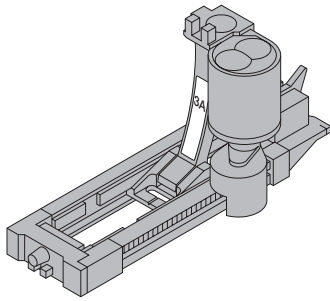
段差のある部分に#3Aの押え金を使ってボタンホールを縫うときは、高さ調節板を使うとスムーズに縫うことが出来ます。



ボタンホールのメモリーをクリアする

- 外部の《clr》クリアボタンを押すと画面上の《auto》の表示が消えて記憶したサイズをクリアします。

ボタンホールーラウンドエンド、キーホールおよび手縫い風の自動縫い



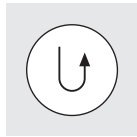
穴かがりは左右両方とも同じ方向に縫われます。

ボタンホールの長さを決定するために、穴かがりの長さのみを測ります。パータック部分やはと目部分は、それぞれに応じて自動的に設定されます。



最初の穴かがりを縫う

- 縫う部分が画面に表示されます。(押え金表示の右側)
- 最初の穴かがりを縫って(直線縫い)、ミシンを止めます。



ボタンホールをプログラムする

- 《手元返し縫い》ボタンを押します。
- ボタンホール表示に自動《auto》と出ます。ボタンホール長さがプログラムされました。



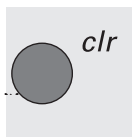
ボタンホールの自動縫い

- ラウンドエンドパータック部分、またははと目部分を自動的に縫います。
- 左側の穴かがりを自動的に後進で縫います。
- 上の環止めを自動的に縫います。
- 右側の穴かがりを自動的に前進で直線縫いします。
- 右側穴かがりを自動的に後進でジグザグ縫いします。
- 上の環止めを自動的に縫います。
- 止め縫いを自動的に縫います。
- 自動的にミシンは停止し、ボタンホールの縫い始めに戻ります。
- 続けて縫うボタンホールはすべて同じ長さに自動的に縫います。(手元返し縫いボタンを押す必要はありません。)

ご注意:

スクリーン上に表示されるボタンホールの形状は、はと目やラウンドボタンホールを選んでも、いつも標準タイプのボタンホールが表示されます。

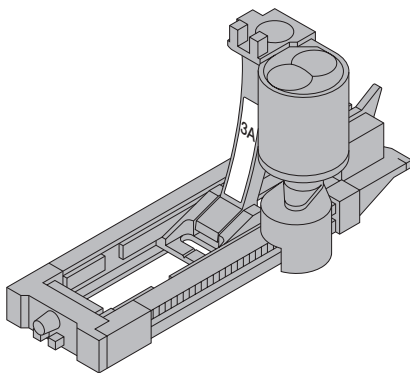
実際のボタンホールの縫い方はソーイングマニュアルの部の26ページをご参照下さい。



ボタンホールのメモリーをクリアする

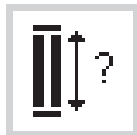
外部の《clr》クリアボタンを押すと画面上の《auto》の表示が消えて記憶したサイズをクリアします。

ボタンホールー指定した長さを自動縫い



縫いたいボタンホールのサイズが分かっているときは、ボタンホールの長さをミリ単位で入力できます。

自動ボタンホール押え#3Aを使って、はと目ボタンホールを縫うときは、穴かがり部分の最大サイズは24ミリです。はと目部分は自動的に追加されます。



直接入力機能を選択する

- ボタンホール押え#3Cでサイズを指定したボタンホールを縫うことができます。
- ボタンホールを選択します。
- 画面下の機能ツールバーで《?》マークの付いたボタンホールマークをタッチします。

4-29ミリ					ミリ	クリア
1	2	3	4	5	戻る	
6	7	8	9	0	次へ	

長さを入力する

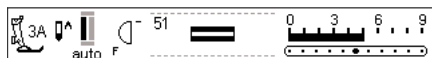
- 画面に0-9の数字表が表示されます。
 - 数字でボタンホールの長さ(4-29 ミリ以内)を入力して下さい。(ボタンの厚みを考慮して自動的に2ミリが加算されます。)
 - ボタンホール表示の右側に長さが出ます。
- 《ok》ボタンをタッチして確認すると、画面は自動的に変わります。

訂正

- 数字を間違えた時は、《クリア》ボタンで取り消しできます。

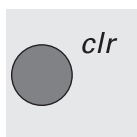
ボタンホールメニューにもどる

- 《戻る》をタッチする。



画面表示

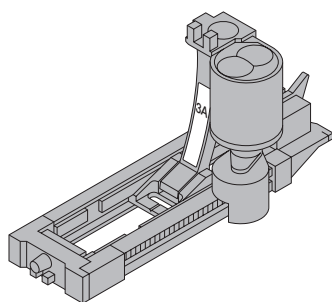
- ・ 画面上部のボタンホールマーク表示の下に《auto》(自動)の表示が現われ、ボタンホール長さがプログラムされたことを示しています。



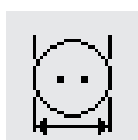
ボタンホールのメモリーをクリアする

- ・ 外部の《clr》クリアボタンを押すと画面上の《auto》の表示が消えて記憶したサイズをクリアします。

ボタンホールーボタンサイズを実測して自動縫い (標準と伸縮地用ボタンホール)

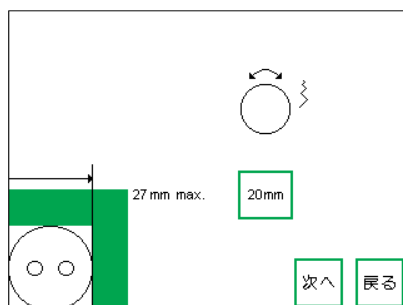


実際に使うボタンを画面に当ててボタンホールのサイズを測り決めることもできます。実寸がミリ単位で入力されます。



実測画面を開く

- ・ ボタンホールを選択します。
- ・ 画面下の機能ツールバーでボタンサイズ実測の機能ボタンをタッチ。



ボタンサイズを決定

- ・ 測定画面が最大可能サイズの27ミリと一緒にスクリーンに表示されます。
- ・ ボタン(4-27ミリ)を測定画面の左下の隅に当てて押えます。
- ・ 送り調節ボタンを使って測定画面の縦の実測線を移動させます。
- ・ ボタンのちょうど右外側に線を合わせて下さい。
- ・ ボタンホールの実測サイズが、たとえば20ミリというように、スクリーン上に表示されます。

ボタンホールメニューにもどる

- ・ 《ok》ボタンをタッチして確認し、ボタンホールの画面に戻ります。

ボタンホールのサイズ

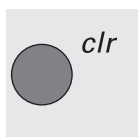
- ・ ボタンホールのサイズはボタンの直径と厚みの合計により決まります。
- ・ コンピューターはボタンの直径からボタンホールのサイズを計算します。
- ・ ボタンの厚みを考慮して自動的に2ミリ加算されています。

厚みのあるボタンの場合の訂正

- ・ たとえば浮き彫りボタン等のような特に厚みのあるボタンの時は、縦の実測線をボタンの端ぎりぎりでは測定しません。
- ・ ボタンの厚みによって、ボタンの右端の1-4ミリ余裕をみて測定します。

お勧め

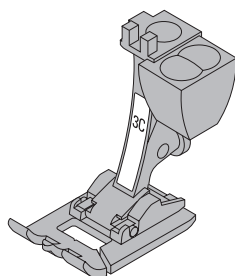
- ・ 使用する布の端切れにボタンホールを試し縫いしましょう。
- ・ ボタンホールを開けます。
- ・ ボタンを穴に通してみます。
- ・ 必要があれば、サイズを訂正して、実行します。



ボタンホールのメモリーをクリアする

- ・ 外部の《clr》クリアボタンを押すと画面上の《auto》の表示が消えて記憶したサイズをクリアします。

ボタンホール—ステッチカウント式(全種類に対応)



最初、左側の穴かがりは前進で、次に右側を後進で縫います。

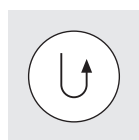
押え金 #3C, 又は #3A を使って縫いますが、一定の速度で緩急無く縫うのがコツです。

ステッチカウント式のボタンホールは、一度プログラムしても、生地が変わると、同じサイズのボタンホールでも、再度プログラムしなおしてください。



押え金

- ・ ボタンホールを選択します。
- ・ 画面下の機能ツールバーで 《押え金 3C》機能をタッチします。
- ・ ステッチカウント式プログラムが選択されたことがミシンに登録されました。
- ・ ボタンホールの長さが、ステッチの数で測られます。



左側の穴かがり縫い

- ・ 最初の穴かがり縫いをし、ミシンを停止します。
- ・ 《手元返し縫い》ボタンを押します。



環止め、右側の次の穴かがり縫い

- ・ 下の環止めを縫い、続いて後進で次の穴かがり縫いをします。
- ・ 最初の穴かがり縫いの一針目にきたら、ミシンを止めます。
- ・ 《手元返し縫い》ボタンを押します。

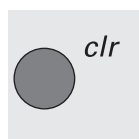


環止め、止め縫い

- ・ 上の環止めを縫ったら、自動的に止め縫いをします。
- ・ ミシンは自動的に停止します。
- ・ 自動《auto》が画面に表示されます。
- ・ ボタンホールがこれでプログラムされました。
- ・ 続いてすべてのボタンホールをプログラム通りに自動で縫います。
- ・ 一定のスピードで縫うように気をつけましょう。

再プログラム

- ・ ステッチの長さ、幅、バランスを変更した時は、ボタンホールのプログラムをやり直して下さい。



ボタンホールのメモリーをクリアする

- ・ 外部の《clr》クリアボタンを押すと画面上の《auto》の表示が消えて記憶したサイズをクリアします。

実際の縫い方は、ソーイングマニュアルの部、27 ページをご参照下さい。

ボタンホール・調節方法(ステッチカウント式ボタンホール-全種類に対応)

一度記憶させたステッチカウント式ボタンホールに以下の調節を加えることができます。この調節は電源を切るまで記憶されています。

ボタンホールステッチの振り幅や送り長さを恒久的に調節したいときは、セットアップ・プログラム(59-72 ページ参照)で行います。



幅が広すぎるボタンホール

- ボタンホールの幅を狭める時は、ステッチの幅を狭くします。



バランスの画面を開く

- ボタンホールを選択します。
- 画面下の機能ツールバーで「b」バランス機能をタッチします。
- バランス↑で密になります。
- バランス↓で粗くなります。



穴かがり縫いのステッチ密度

- 大体 2 ステップでステッチの長さを増減して調整しましょう。

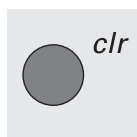
お勧め

- 常に使用する生地の手切れで試し縫いをしましょう。



穴かがり縫いのバランス

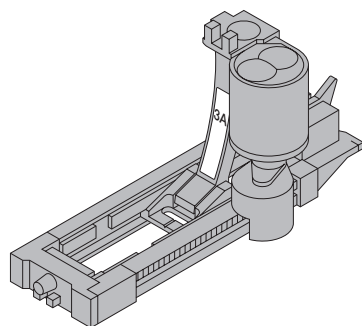
- バランスは穴かがりや環止めの縫い目の密度に影響します。
- バランスは穴かがりととは目にも影響します。



バランス調整を削除する

- 「clr」か「リセット」のボタンをタッチします。

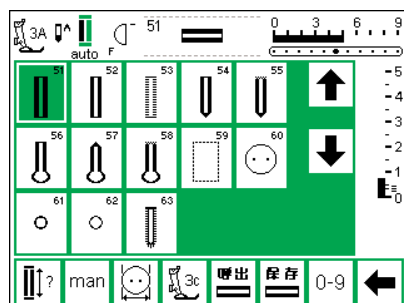
ボタンホール・サイズを保存するには



各ボタンホールをお好みのサイズで保存することが可能です。

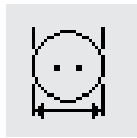
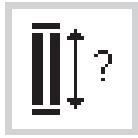
一度縫ったボタンホールサイズは、ツールバーの保存ボタンをタッチすると恒久的に保存できます。

恒久的にボタンホールサイズを保存するには、一度 #3A の自動ボタンホール押えで実際に縫います。(詳しくは 32-34 ページ参照)



ボタンホールを保存する

- 32-34 ページの説明に従って、お好みのボタンホールを #3A の自動ボタンホール押えで一回縫います。
- 画面下のツールバーの保存ボタンをタッチすると保存できます。



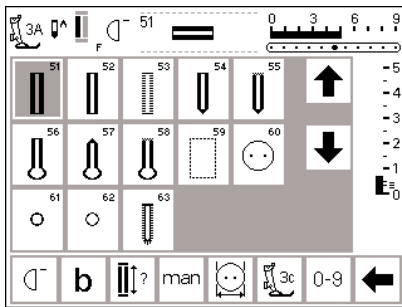
保存したボタンホールを呼び出す

- ・ ボタンホールを選択します。
- ・ « mem » メモリーボタンを押します。
- ・ ボタンホールのサイズ入力ボタン、又はサイズ測定ボタンをタッチして保存されているボタンホールを呼び出します。
- ・ スクリーン上にサイズが表示されます。

保存されたボタンホールに変更を加える

- ・ ボタンホールを選択します。
- ・ « mem » メモリーボタンをタッチします。
- ・ ボタンホールのサイズ入力ボタン、又はサイズ測定ボタンをタッチして保存されているボタンホールを呼び出します。
- ・ 送り長さを変更して、OKボタンをタッチします。
- ・ « 保存 » ボタンをタッチします。
- ・ 新しいサイズが上書き保存されました。

ボタンホール・マニュアル式 4ステップ、または6ステップ



マニュアル・ボタンホールは一つだけ縫う時やボタンホールの修繕に便利です。

選んだボタンホールのタイプによりステップの数が決まります。

マニュアル・ボタンホールはメモリーに記憶させることは出来ません。

ボタンホールの画面を選びます

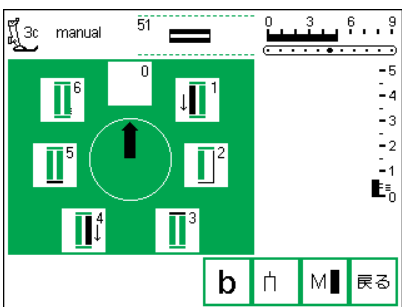
- ・ ボタンホールタイプを選択。
- ・ 画面下の« man » 機能ボタンをタッチする。

man

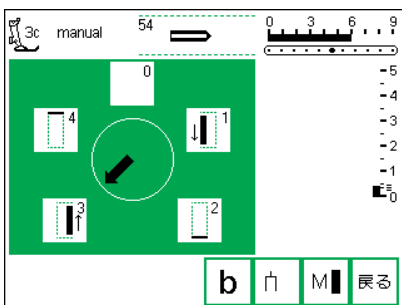
各ステップの画面表示

- ・ 選んだボタンホールの各ステップが画面に表示されます。
- ・ 標準ボタンホール = 6ステップ
- ・ ラウンドボタンホール = 4ステップ
- ・ 鳩目ボタンホール = 4ステップ
- ・ 中央の矢印は« 0 »を指しています

実際の縫い方は、ソーイングマニュアルの部、28ページをご参照下さい。



ボタンホール・マニュアルで4ステップを縫う (ラウンドおよびはと目)



4ステップ・ボタンホールを縫う

- ・ “1”にタッチ。
- ・ 左側の穴かがりを縫います。
- ・ 適当な長さでミシンを止めます。
- ・ “2”にタッチ。
- ・ ミシンは円形の環止めあるいははと目を縫います。
- ・ “3”にタッチ。
- ・ 右側の穴かがりを後進で縫います。
- ・ ミシンを縫い始めの位置で止めます。
- ・ “4”にタッチ。
- ・ 上部の環止めを縫い、止め縫いをして自動的に止まります。

- ・ 穴かがりの長さは適当に決めてください。
- ・ 環止め、はと目、止め縫いは自動で縫われます。
- ・ ボタンホールを開ける前に、はと目部分をパンチで開けます。

ボタンホールを終了するには

- ・ « 戻る » ボタンをタッチします。
- ・ ボタンホールメニュー画面に戻ります。

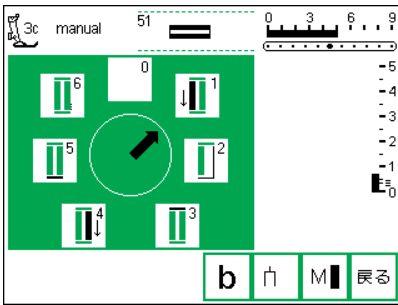
esc

メモ：

画面は標準ボタンホールの形で表示されません。

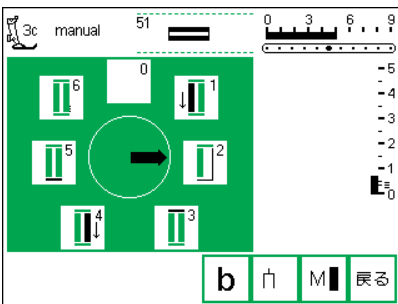
ボタンホール・6ステップを縫う

メモ：画面は標準ボタンホールの形で表示されます。



6ステップのボタンホールを縫う

- ・画面の「1」にタッチする。
- ・矢印が縫うボタンホールの部分を指します。
- ・最初に左の穴かがりを縫います。
- ・適当な長さまで縫ってミシンを止めます。



6ステップのボタンホールを縫う

- ・「2」にタッチします。
- ・ミシンは自動的に直線縫いで後進します。
- ・左側の穴かがりのスタート位置でミシンを止めます。
- ・「3」にタッチします。
- ・ミシンは上の環止めを縫って自動で止まります。
- ・「4」をタッチ。
- ・右の穴かがりを前進で縫います。
- ・左の穴かがりに揃えてミシンを止めます。
- ・「5」にタッチ。
- ・下の環止めを縫って自動で止まります。
- ・「6」にタッチ。

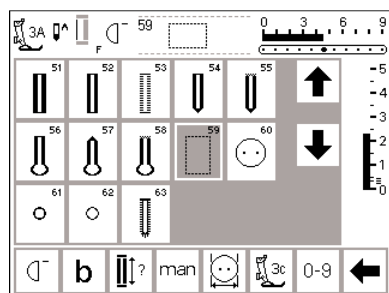
- ・止め縫いをして自動で止まります。
- ・穴かがりの長さは適当に決めてください。
- ・環止め、はと目、止め縫いは自動で縫われます。

ボタンホールを終了するには

- ・「戻る」ボタンをタッチします。
- ・ボタンホールメニュー画面に戻ります。

戻る

ボタンホール・直線縫いタイプ



直線縫いステッチ(あるいは仮縫いステッチ)のボタンホールは特にウールのような柔らかで織の粗い布地や擦り切れやすい場所に縫うボタンホールなどに良く使います。また、玉縁ボタンホールにも応用できます。

直線縫いのボタンホール

- ・ボタンホール No.59を選ぶ。
- ・順序は選んだ押え金によって異なります。
- ・このボタンホール縫いは、直線ボタンホールに重ねて縫うボタンホールの手順と全く同じ要領で縫います。
- ・自動ボタンホール押え#3 A = 自動縫い。

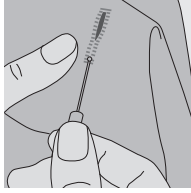
- ・プログラム方法は自動ボタンホールのプログラム方法と全く同じ。
- ・ボタンホール押え #3 C = ステッチカウント式ボタンホール。
- ・プログラム方法はステッチカウント式ボタンホールプログラムと全く同じ。

穴かがり幅を変える

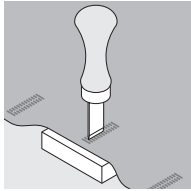
- ・左右の穴かがりの間隔が狭すぎる、又は広すぎる場合には振り幅調節ダイヤルで左右の穴かがりの幅を変えて調節出来ます。



ボタンホールの開け方

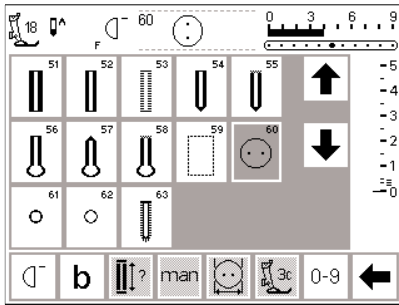


- ボタンホールカッターとブロック台
- ・ 布をブロック台の上に乗せる。
 - ・ カッターをボタンホールの真ん中に当て、
 - ・ ハンマーか手を使ってボタンホールを開ける。



- シームリッパー
- ・ ボタンホールを開けるにはシームリッパーで両端から中央に向かって切り開きます。

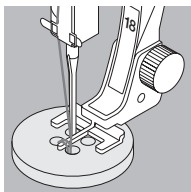
ボタン縫い付けプログラム



二つ穴、又は四つ穴のボタン付けが出来ます。

ボタン付けプログラム

- ・ ステッチ No.60 を選択します。
- ・ No.18 のボタン付け押え金を使います。
- ・ ボタンの足の長さは押え金で調節します。



ボタン付けの方法

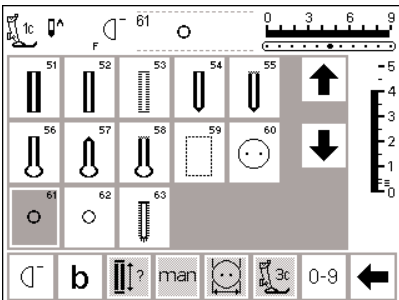
二つ穴のボタン

- ・ 穴の幅に合わせて振り幅を調節します。
- ・ プログラムが終わればミシンは自動的に止まります。

四つ穴のボタン

- ・ 穴の幅に合わせて振り幅を調節します。
- ・ 最初に手前の二つ穴を縫います。
- ・ プログラムが終わればミシンは自動的に止まります。
- ・ 次に後ろの二つ穴を縫います。
- ・ プログラムが終わればミシンは自動的に止まります。
- ・ 糸を長く残して切り、その糸を足に巻き付け結びます。

アイレット縫い



アイレット(鳩目)

- ・ アイレットを選ぶ。
- ・ No.61ジグザグアイレット
- ・ No.62直線縫いアイレット

アイレットを縫う

- ・ プログラムが終わればミシンは自動的に止まります。

アイレットを開ける

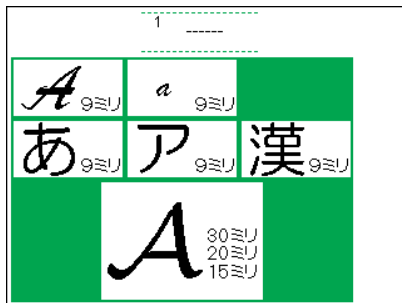
- ・ 突ききりを使ってアイレットの穴を開けます。

アイレットの縫い方の詳細はソーイングマニュアルの部 30 ページを参照。

アルファベットと数字

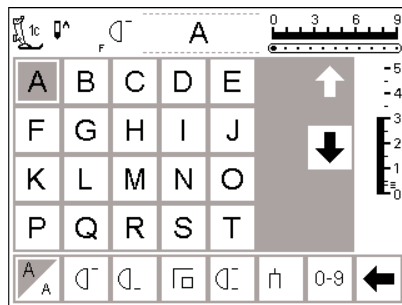
文字は 5 種類のスタイルから選択出来ます。
 いずれの文字も 2 種類のサイズで縫うことが出来ます。

大型のモノグラム文字は 3 種類のサイズで縫うことが出来ます。



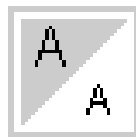
アルファベット

- ・ 文字グループ選択ボタンを押します。
- ・ 文字のメニューが表示されます。
- ・ ひらがな 9 ミリ幅
- ・ カタカナ 9 ミリ幅
- ・ 漢字 9 ミリ幅
- ・ 大文字イタリック体 9 ミリ幅
- ・ 小文字イタリック体 6 ミリ幅
- ・ モノグラム 30 / 20 / 15 ミリ
- ・ 文字スタイルを選択するには画面上の文字にタッチします。
- ・ 選択した文字スタイルが起動します。



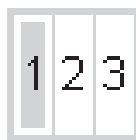
画面上での文字の選択方法

- ・ 押え金の種類と針停止位置が規定の位置に表示されます。
- ・ 文字の大きさが針停止位置表示のすぐ右側に示されます。
- ・ 画面中央に選んだ文字書体が表示されています。
- ・ 画面右側の矢印をタッチして、文字や数字を上下にスクロールさせます。



文字の大きさを変える

- ・ 文字を選択した場合は大きいサイズがまず起動します。
- ・ < A/A > (文字のサイズ) 機能にタッチします。
- ・ 次の画面が起動します。
- ・ 文字サイズがここで縮小されます。
- ・ 6 ミリの表示が画面の上部に表示されます。
- ・ < A/A > (文字のサイズ) 機能にタッチします。
- ・ 文字サイズが 9 ミリに戻ります。



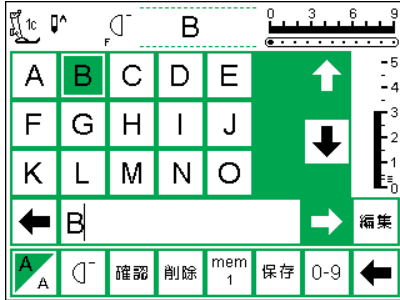
モノグラム文字のサイズ

- ・ モノグラムを選ぶと、自動的に文字のサイズは"1"の 30mm にセットされています。
- ・ 文字サイズ

1	= 30 ミリ
2	= 20 ミリ
3	= 15 ミリ
- ・ サイズ 2 と 3 は通常のステッチのように連続して縫います。文字の左下からスタートし、右下で完了します。メモリーを使って文章にも応用できます。
- ・ 画面下のツールバーに表示されたモノグラムのサイズ選択機能 **1 2 3** にタッチします。
- ・ 番号が右に移動します。
- ・ サイズ 1 の文字は、大きさと縫い方向を考慮してスタート位置を決めます。(テンプレートの項 51 ページ参照)

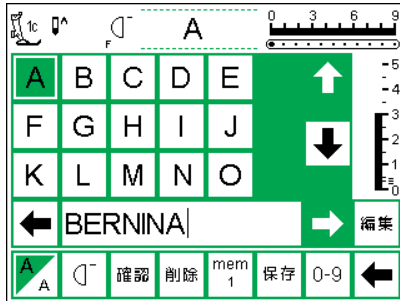
文字の実際の縫い方はソーイングマニュアルの部 42 ページを参照。

文字と数字のプログラム方法



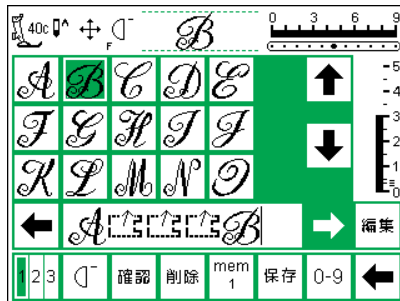
プログラム方法

- ・ メモリーボタン「mem」を押してメモリーを開きます。
- ・ 選ぶ文字にタッチします。
- ・ 選んだ文字が画面下部のメモリーに表示されます。
- ・ カーソル「I」が文字の前について右に移動します。



プログラミングを続ける

- ・ 次の文字をタッチします。
- ・ 文字がメモリーに表示されます。
- ・ この方法で続けます。



メモリーされたモノグラム文字

- ・ モノグラム文字もメモリーに混ぜてプログラムすることが出来ます。
- ・ 文字間の間隔は16方向縫いを使ってプログラムします(テンプレートを使います)。
- ・ 各文字の始まりと終りの位置に注意しましょう。
- ・ 「16方向縫い」の章を参照してください。

文字の縫い方の詳細はソーイングマニュアルの部 42 ページを参照。

メモリー

全てのステッチ、文字、数字はメモリーにプログラムし、セーブしたり、訂正したりすることができます。

メモリーの容量は、ほぼ無制限です。
メモリー域は、255列あります。
各メモリー域は、記憶した模様の数に従って、メモリー毎にその容量を自動的に変えて記憶します。

メモリーは恒久的にデータを保存します。すなわち削除されたり、上書きされたりしない限り保存されたままです。訂正や変更はいつでもできます。

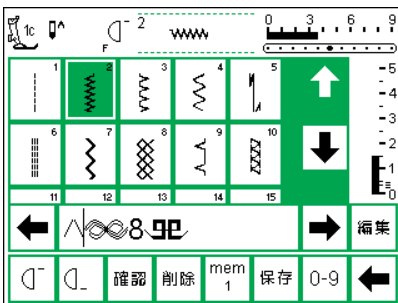
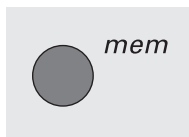
メモリーバーに表示される模様は、ステッチのメニュー画面の表示とは 90 度左の方向にむいています。

ソーイングの方向は常に左から右に移動します。

プログラムする時に表示された押え金と、縫うときの押え金は同じ物を使います。

メモリーを使った縫い方の詳細はソーイングマニュアルの部 40-42 ページを参照。

メモリーを開く

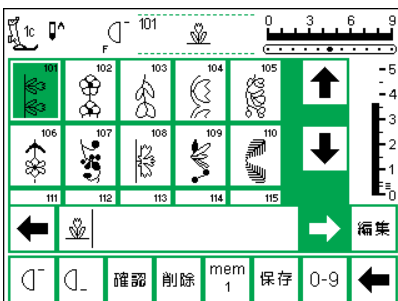


メモリーを開く

- ・ 外側の《mem》ボタンをおします。
- ・ メモリーバーが画面に表示されます。
- ・ 三行目の模様が消えてメモリーバーが表示されます。
- ・ 模様の行を上下にスクロールして模様を探せます。
- ・ カーソル《|》がメモリーバーに垂直のラインとして現われます。
- ・ 変更（記憶、挿入、訂正）は、常にカーソル《|》の左側の模様に対して実行されます。

- ・ 画面下のツールバー機能は、自動的に、メモリー操作に必要な機能の表示に切り替わります。
- ・ 使っているメモリー域の番号が画面下のツールバーに《mem》と一緒に表示されます。

ステッチをプログラムする

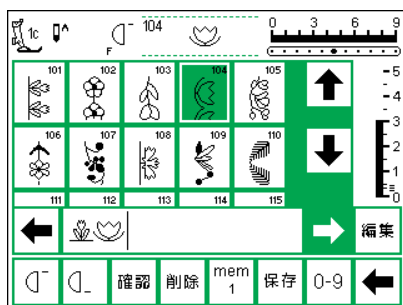


基本プログラム

- ・ メモリーを開く。
- ・ ステッチを選択する。
- ・ ステッチがメモリーのフィールドに表示される。
- ・ カーソルが右に動く。

メモ:

メモリーボタンを押してメモリーを開くと、mem1(メモリー1番地)に記憶された内容が自動的に表示されます。



プログラミングを続ける

- ・ 次のステッチを選択する。
- ・ ステッチがメモリーのフィールドに表示される。
- ・ このやり方で続ける。

注意;

メモリーの内容が編集機能 (44 ページ) で変更されている場合には、模様頭出し機能を最初に選んで、カーソルを模様の先頭に移動しておきます。

- ・ 模様の繰り返し機能を選択しておけば、ミシンを自動的に停止することができます。

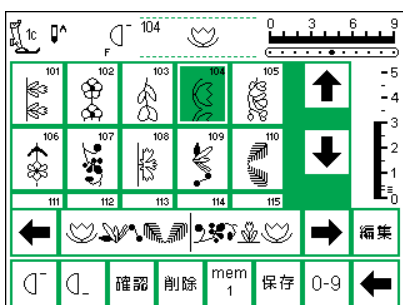
ツールバー機能

模様の繰り返し機能を選択すると、ミシンは指定した数のステッチまたは模様を縫った後、自動的に停止します。

一模様縫いを選択すると、カーソルを当てている左側にあるステッチを1回縫った後、自動的に停止します。

データを保存するには、「保存」をタッチします。

保存の作業中には、文字が点滅します。

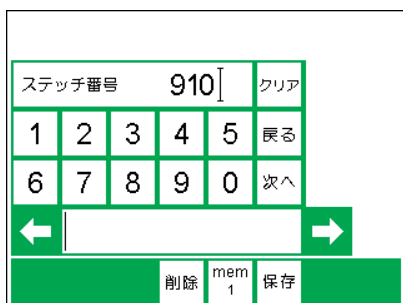


メモリーをスクロールする

- ・ スクロール矢印「 \leftarrow 」「 \rightarrow 」はメモリーバーの左と右にあります。
- ・ プログラムされた内容の前を見るには「 \leftarrow 」を、後ろを見るには「 \rightarrow 」をタッチします。
- ・ メモリーを閉じるには、メモリーの外部ボタンを押します。

- ・ ステッチの組み合わせが保存されていない場合には、保存したいかどうかを問うメッセージが表示されます。

ステッチ番号を使ってメモリーにプログラムする

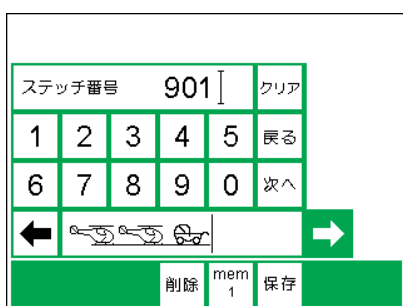


ステッチ番号でプログラムする方法

- ・ メモリーを開く。
- ・ 「0-9」の機能にタッチします。
- ・ 数字表が画面に表示されます。
- ・ メモリーバーはそのまま表示されています。
- ・ ステッチ番号を数字にタッチして入力します。
- ・ 選んだ番号が順次表示されます。

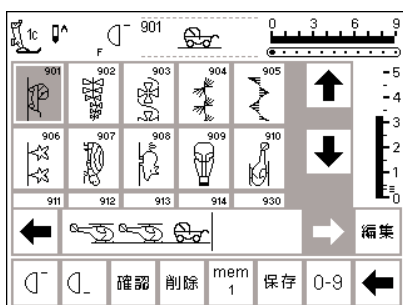
訂正

- ・ 間違えた時は「クリア」をタッチします。
- ・ カーソル「 \leftarrow 」が左に移動して数字を削除します。
- ・ 正しい数字を選びます。



確認、そしてプログラムを続ける

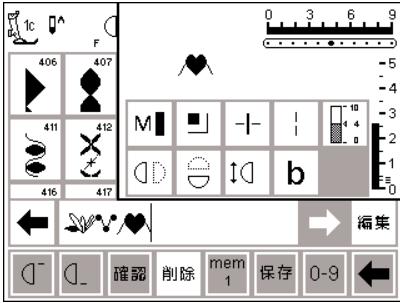
- ・ ステッチ番号を確認して「OK」をタッチします。
- ・ 番号で選んだ模様がメモリーバーに表示されます。
- ・ メモリーに保存するためには「OK」をタッチします。
- ・ 次のステッチ番号を同じように入力します。



ステッチ画面に戻る

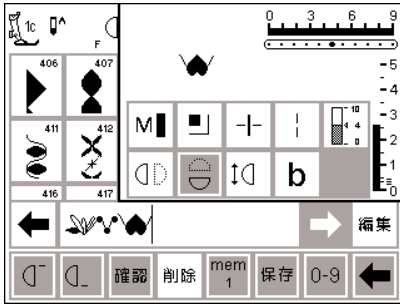
- ・ 「戻る」にタッチします。
- ・ 画面は模様画面に戻ります。
- ・ 選んだ模様が画面上で黒く表示されています。

メモリーに保存した内容を編集して縫う

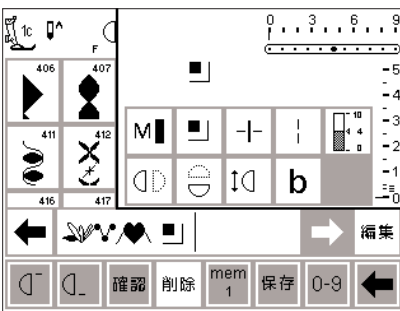


機能を使ってステッチする

- ・メモリーに保存されたステッチを編集します。
- ・最初の二つ位のステッチをメモリーに入力します。
- ・《編集》ボタンにタッチします。
- ・使える機能が全て画面の右上に表示されます。
- ・メモリーに入れた最後のステッチ(カーソルの左)が機能表示の左側に表示されます。



- ・例えば《模様反転機能》にタッチします。表示されているステッチが反転されます。
- ・ステッチはメモリーバーにも変更された状態で表示されます。
- ・同じ要領でいろんな機能を使って、以前に保存したメモリーの内容も編集して使えます。



目で確認できる機能

- ・画面に表示された機能は全て機能フィールドの左側に表示されています。
- ・左の例では、《止め縫い機能》がメモリーに入力された機能として表示されています。
- ・要らない機能やステッチは《削除・クリア》ボタンをタッチしてメモリーから削除します。
- ・閉じるには、《編集》ボタンにタッチします。

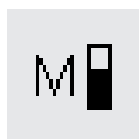
メモ:

横送り模様とロングステッチや模様拡大機能を使ってメモリーに入力できませんが、模様が変形しますのでお勧めしません。

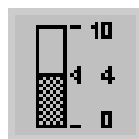
メモリー編集機能

メモリーの編集機能がオンになっている場合には、以下の機能が画面中央に表示されます。ツールバー上の全ての機能(削除を除く)は、編集機能がオンになっている間は使

うことができません。編集機能を閉じれば、元どおり使えます。詳しくは、メモリーの編集に関する29-30ページをご覧ください。



ソーイングスピード



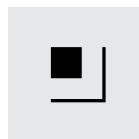
上糸調子



モノグラムサイズ



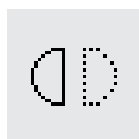
バランス



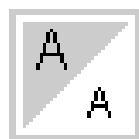
一点止め縫い機能



模様の拡大機能



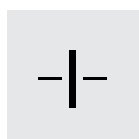
左右模様反転



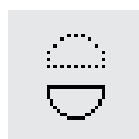
文字サイズ



ロングステッチ機能

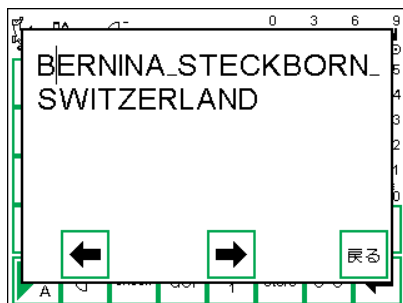


メモリーの分割



上下模様反転

メモリーの内容を見る



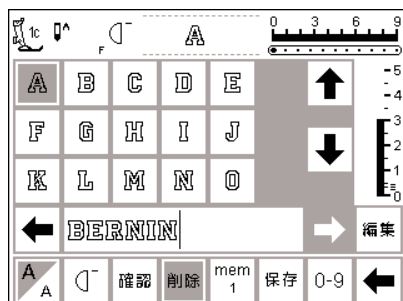
メモリーの内容を検索する

- ・カーソルをメモリーの内容の先頭にも、カーソルは前画面に表示されていたのと同じ位置に表示されます。
- ・《チェック》ボタンをタッチします。
- ・メモリーの内容が表示されます。
- ・カーソルが見えます。
- ・訂正する場合は、矢印ボタンでカーソルを移動します。(《メモリーの訂正》と同じ手順)
- ・《戻る》ボタンをタッチします。
- ・メモリーバーが現われます。

メモリーの訂正

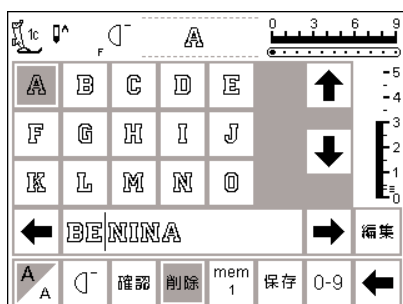
基本ルール:

変更や訂正は全て常にカーソルの左側で実行されます。



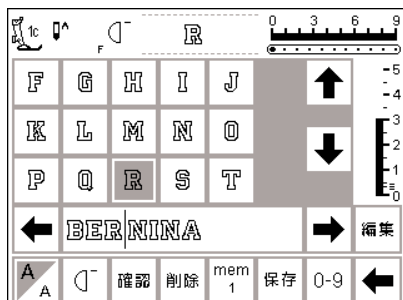
最後に入力したステッチや文字を削除する

- ・《削除》ボタンをタッチします。
- ・入力した最後のステッチ(カーソルの左)が削除されます。



メモリー内容の途中でステッチや文字を削除する

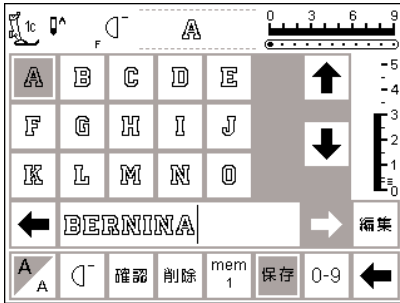
- ・カーソルを削除するステッチの右側に移動します。
- ・《削除》ボタンをタッチする。



メモリーにステッチを挿入する

- ・ステッチを挿入したい場所にカーソルを移動します。
- ・ステッチあるいは文字を選びます。
- ・新しいステッチがカーソルの左に挿入されます。

メモリーの内容をセーブして残す



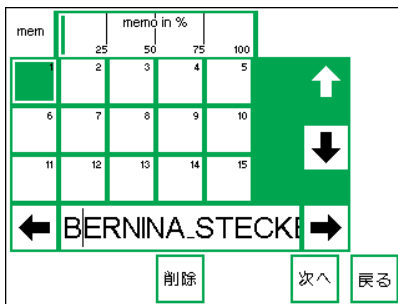
メモリーの保存

- ・ «保存» ボタンをタッチします。
- ・ 内容は保存されます。
- ・ メモリーが閉じられメモリーバーが画面から消えます。
- ・ メモリー内容はいつでも開いて検索出来ます。

保存せずにミシンのスイッチを切ると…

- ・ 保存せずにミシンのスイッチを切るとメモリーの内容は失われます。

各メモリーの開き方

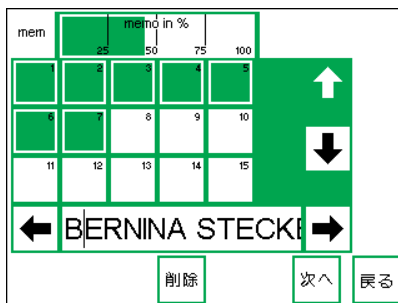


以前にプログラムしたメモリー域に戻る

- ・ 外部ボタンの« mem » ボタンを押します。
- ・ メモリーを開く。
- ・ 機能ツールバー上の« mem » ボタンをタッチします。
- ・ mem 1 の全容が画面に表示されます。
- ・ 現在使っているメモリー域は濃いグレー色で示されます。

- ・ 空いているメモリー域は薄いグレー色で示されます。
- ・ 15 以上のメモリーが使用されている時は、メモリー域を上下にスクロール出来ます。255 番地まで使えます。
- ・ 使用中のメモリーの状況が画面上部に % で示されます。
- ・ 以前に保存したメモリーを開きましょう。
- ・ 内容がメモリーバーに表示されます。
- ・ 元の画面に戻す時は« 戻る » ボタンをタッチします。
- ・ 選んだメモリーの内容は即座に縫えます。
- ・ その内容通りに縫ったり、挿入、訂正したり出来ます。

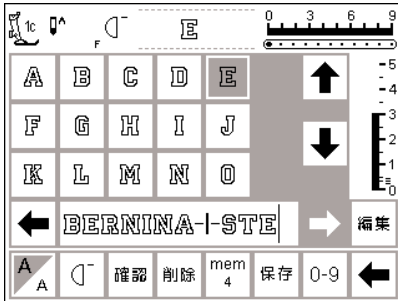
メモリー容量



メモリーを開く

- ・ 外部« mem » ボタンを押してメモリーを開く。
- ・ 機能ツールバーの« mem 1 » をタッチします。
- ・ メモリー域表示の画面が現われます。
- ・ 使用中の全容量は画面上部に % で示されます。
- ・ 255 番地のメモリーを通じて保存できる最大容量は 1023 模様です。

メモリーの分割



メモリーの分割

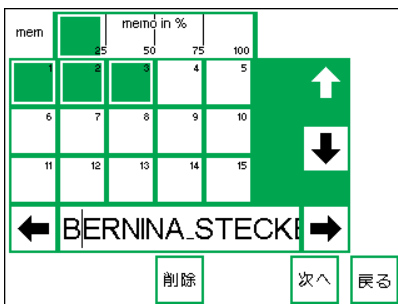
- メモリーの内容は思い通りに分割出来ます。例えば、一つのメモリーの中で名前、番地、町名等に分けて有効に使う。
- 名前を入力してみましょう。
- メモリーの分割機能「**←|→**」をタッチします。
- 住所を入力します。
- 名前と住所は同じメモリー(例えば左の画面ではmem4)に記憶されていますが、分割された他の部分とは全く独立しており、あたかもメモリーを二つ使っているような使い方が出来ます。
- メモリーの分割は、入力を全て終えた後でも入力できます。
- 「メモリーの訂正」の手順に従う。

- ミシンが縫うのは、分割された部分の内容だけです。
- 次の分割部分を縫う時は、その部分にカーソルを移して「模様頭出機能」をタッチして縫い始めます。
- その部分を一度だけ縫うのなら、「模様縫い機能」をタッチして、ミシンが止まるまで縫います。
- 「模様縫い機能」を使うと名前が縫い終わるとミシンは自動停止します。
- 布の上で行を変えて、住所を縫います。

ソーイング

- これから縫う部分にカーソルを持って来て、「模様頭出機能」をタッチし、縫い始めます。

メモリーを削除する

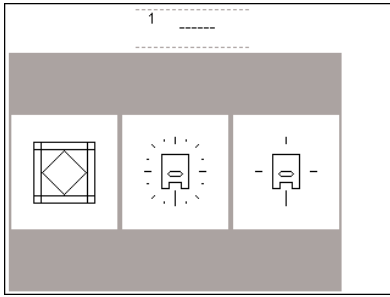


メモリーの削除

- 外部「mem」ボタンを押してメモリーをオープンします。
- 機能ツールバー上の「mem1」ボタンにタッチします。
- メモリー番地全体が表示されます。
- メモリーを選んでタッチします。
- 「削除」機能ボタンをタッチします。

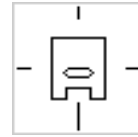
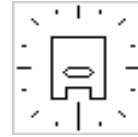
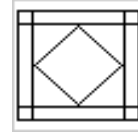
- 「メモリーの内容を削除してよろしいですか?」というメッセージが表示されます。
- 「はい」をタッチします。
- 選んだメモリーの内容が削除されます。
- 「戻る」ボタンをタッチして元のスクリーンに戻ります。

キルティングステッチ／16方向縫い／4方向(パッチ)縫い

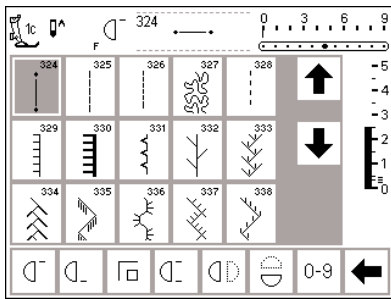


メニューの選択:キルティングステッチと16
／4方向縫い

- ・ 外部「キルティングステッチ／横送り縫い」ボタンを押す。
- ・ 3種類のメニューが現われる。
- ・ 希望する種類の表示を選んでタッチします。



キルティングステッチ

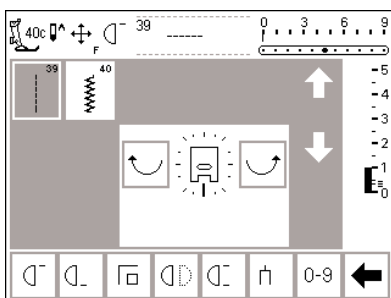


キルティングステッチ

- ・ 特にキルティングに適した様々なステッチを選択。
- ・ 324番 キルト用止め縫いプログラム
- ・ 325番 キルト用直線縫い
- ・ 326番 短い直線縫い
- ・ 327番 ステップリングステッチ
- ・ 328番 手縫い風キルティングステッチ
- ・ 329番 特殊キルティングステッチ
- ・ 330番 ヘビーブランケットステッチ
- ・ 331番 纏り縫い
- ・ 332番 フェザーステッチ
- ・ 333-338、351番 フェザーステッチ
- ・ 346-350番 各種キルティングステッチ
- ・ 352番 ブランケットステッチ(二重)
- ・ 353番 ダブルブランケットステッチ(二重)

- ・ 画面上の模様ボタンをタッチして選択。
- ・ ステッチが選択されます。
- ・ 通常の情報とは全て画面上に表示されます。
- ・ ステッチの長さとは幅は必要に応じて調整出来ます。

16方向パノラマ縫い



16方向パノラマ・ソーイング

- ・ 2種類の16方向ソーイング
- 方法1 直線縫い
- 方法2 ジグザグ縫い
- ・ 16方向の押え金#40の表示が画面に現われます。
- ・ 方向を変える時は例にならって左右の矢印をタッチします。
- ・ 素早く方向を変えるにはミシンを止めずに続けてタッチします。
- ・ ミシンは選んだ方向で選択したステッチを縫います。

直線縫い

- ・ ステッチの長さは常に3mmです。(16方向すべて)
- ・ ステッチの長さは短く出来ますが、3ミリ以上に長く出来ません。

ソーイング方法

- ・ 方向を選択して縫い始めます。
- ・ ミシンを止めて、
- ・ 新しい方向を選択してまた縫い始めます。
- ・ ミシンを止めて、これを繰り返します。

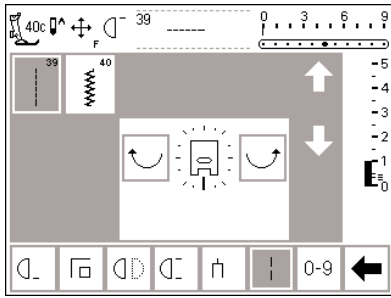
ジグザグ縫い

- ・ ステッチの長さはサテンステッチにプログラムされています。
- ・ ステッチの長さは無段階に1まで短く又は長く出来ます。
- ・ ステッチの幅は無段階に0-9ミリで変えることが出来ます。

ソーイング方法

- ・ 方向を選択して縫い始めます。
- ・ ミシンを止めて、
- ・ 新しい方向を選択して縫い続けます。
- ・ ミシンを止めて、これを繰り返します。

16方向—ロングステッチ機能を併用した直線縫い



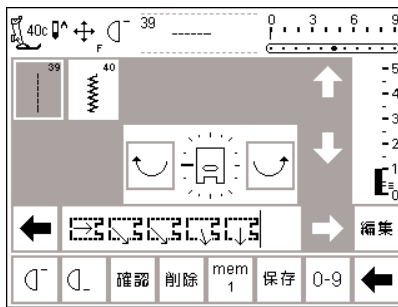
直線縫いとロングステッチ機能の組み合わせは大きなステッチと文字と一緒に縫う時に特に便利です。

模様と模様をつなぐ連絡ステッチは後から取り除く事が出来ます。

ロングステッチ機能を併用した直線縫い

- ・ 直線縫いを選択します。
- ・ ロングステッチ機能を作動させる — 3針毎に一針縫います。
- ・ 方向を決めます。
- ・ ミシンは選んだ方向に縫い進みます。
- ・ 直線縫いは9mmの長さで縫います。

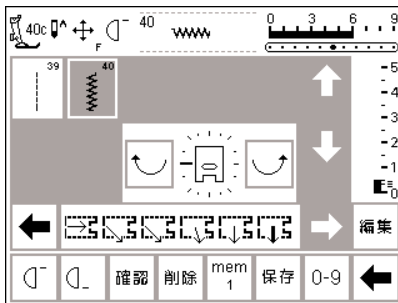
メモリーを使ったパノラマ縫い



メモリーを使った直線パノラマ縫い

- ・ 直線縫いボタンを押すたびに、細いコンパス表示の付いた押え金がメモリーバーに示されます。
- ・ 押え金の表示はメモリーバーの中では90度左向きに表示されます。
- ・ 縫い方向は画面上の半円状の矢印で選びます。
- ・ メモリーバーの中の細い矢印は選択した方向を示します。
- ・ 一つの押え金の表示は3針の直線縫いを表しています。
(3ミリ X 3針=9mm)

- ・ 同方向に続けて縫う時は相応の長さの回数だけ画面の表示にタッチします。
- ・ ロングステッチ機能がここでメモリーに現われます。
- ・ ロングステッチ機能をオンにすると画面に表示されます。



メモリーを使ったジグザグパノラマ縫い

- ・ ジグザグ縫いボタンをタッチするたびに、太い矢印の付いた押え金の表示がメモリーバーに表示されます。
- ・ 押え金の表示はメモリーバーの中では90度左向きに表示されます。
- ・ 縫い方向は画面上の半円状の矢印で選びます。
- ・ メモリーバーの中の太い矢印は選択した方向を示します。
- ・ 一つの押え金の表示は9mmを縫います。
- ・ 同方向に続けて縫う時は相応の長さの回数だけ画面の表示にタッチします。

4方向(自動パッチ)縫い

布地を回さなくても4方向にパッチを縫うことが出来ます。とりわけ筒状になった所の修繕に便利。(袖、ズボン等)

ソーイングの方向

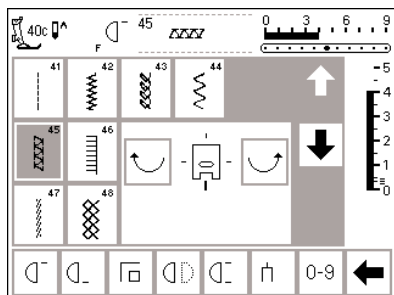
- ・ こうして選んだ方向に選んだステッチが縫えます。

ソーイング方法

- ・ 方向を選んで縫います。(パターン最後まで構いません。)
- ・ ミシンを止めます。
- ・ 新たに方向を選び縫います。
- ・ ミシンを止めます、等。

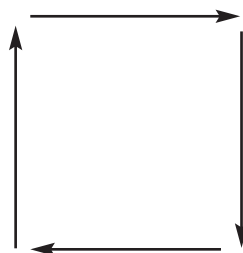
ヒント:

- ・ 素早く縫うためには、《一模様縫い機能》で1-9回の繰り返し機能を選んでください。
- ・ 四角に縫う時に、簡単に仕上げるには、上から下へ、右から左へ(時計回り)に縫って下さい。



4方向縫い

- ・ 4方向ステッチを選択してください。
- ・ 8種類の中から選ぶことができます。
- ・ 41番 直線縫い
- ・ 42番 ジグザグ縫い
- ・ 43番 トリコットステッチ
- ・ 44番 ランニングステッチ
- ・ 45番 ダブルオーバーロックステッチ
- ・ 46番 ボタンホールステッチ
- ・ 47番 スーパーストレッチステッチ
- ・ 48番 ネットステッチ
- ・ 4方向の押え金の表示が画面中央に現われます。
- ・ 矢印を用いて方向を選択してください。これらのステッチの長さとは幅は、変えることは出来ません。



実際の縫い方は、ソーイングマニュアルの部、45ページを参照。

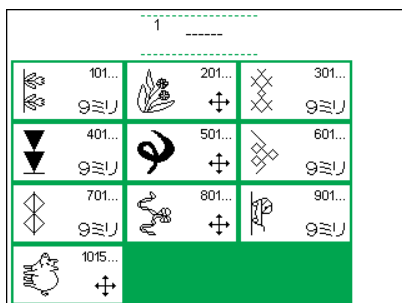
横方向縫い — アウトラインデザイン

横方向縫いは大きなモチーフを縫うために、布地と送り歯が前後、左右に動きます。これらは縁飾り(アウトライン)縫いのモチーフです。

横方向縫いのサイズは一つで、大きさを変えることは出来ません。

メモ:

使用する生地、接着芯、安定紙に合わせてステッチのバランスを《b》機能で調整します。《バランス》の章52-53ページをご参照ください。

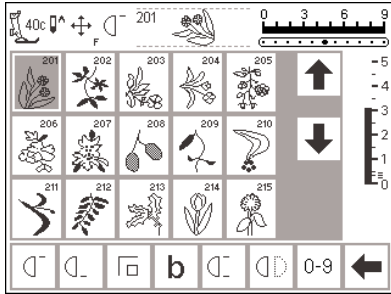


装飾縫い

- ・ 画面右横のボタン《装飾縫い》を押してください。
- ・ 装飾縫いのメニューが画面に現われます。
- ・ 横方向縫いのモチーフを選択して下さい。(クロスが表示)
- ・ モチーフが起動します。

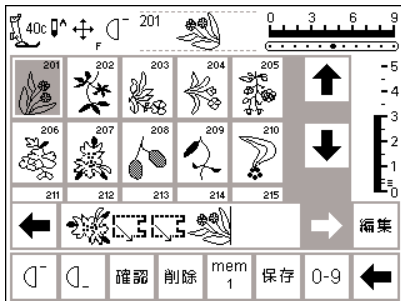
実際の縫い方は、ソーイングマニュアルの部、45ページを参照。

横送り縫い



- 豊富な横送り縫い模様が用意されています。
- 画面ボタンをタッチして選択してください。
- ステッチが起動します。
- 一般的な情報は全て画面上に現われます。
- 十字にクロスした矢印の表示(針止めの右側)は、横方向縫いが起動していることを示しています。
- 横送り縫いが終了したらミシンは自動的に停止します。

- 個々のモチーフは繰り返して縫うことが出来ます。
- 装飾的な縁縫いに理想的です。



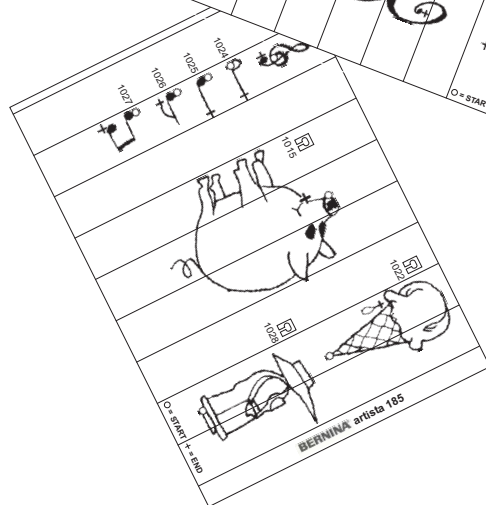
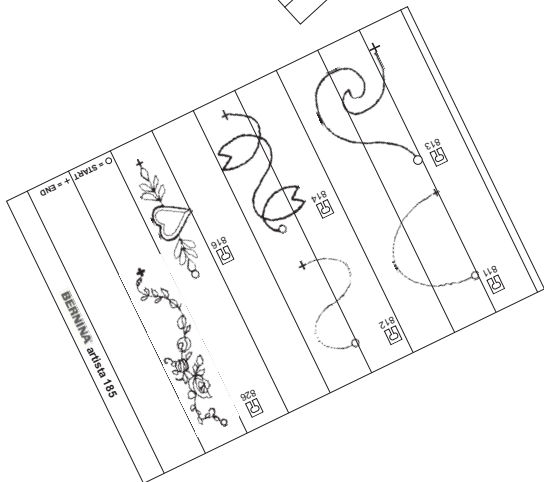
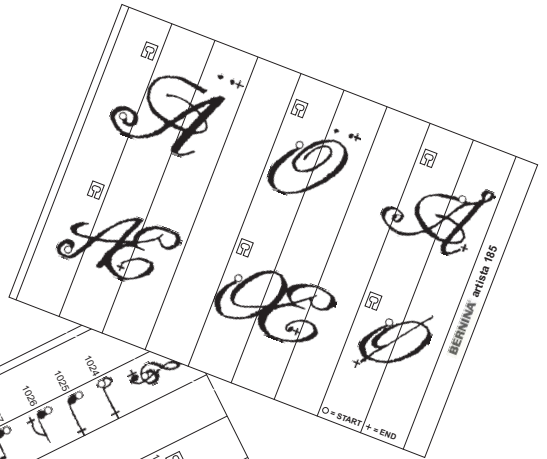
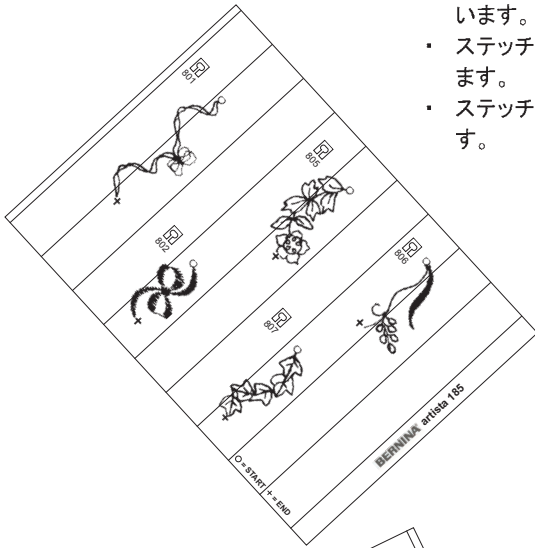
メモリーを使った横送り縫い

- 横送り縫いをメモリーに保存することが出来ます。詳細は 42-47 ページを参照。
- 横送り模様は、メモリーや 16 方向縫い機能を使って組み合わせることも出来ます。(49 ページを参照)

テンプレート

- 備え付けのテンプレートはオリジナルのサイズでステッチを示しています。
- 縫い始めと縫い終りの位置は通常ステッチ内の異なる位置にデザインされています。
- ステッチの始まりには○印が付いています。
- ステッチの終りには十印が付いています。

- 押え金の方向は細い線で示されています。
- 押え金は布の上に同じ方向に向けておいてください。



バランス

工場からミシンが出荷される前にステッチは全てチェックされ完全に調整されています。

様々な布地や糸との組み合わせの違いがプログラムされたステッチに影響することがあります。例えば縫い幅が広すぎたり狭すぎたりで、縫い終りがきっちり閉じなかったり重なったりすることもあります。

これは画面上のバランス機能で修正することが可能で、必要であれば、布地に合わせてステッチの形を調整することが出来ます。

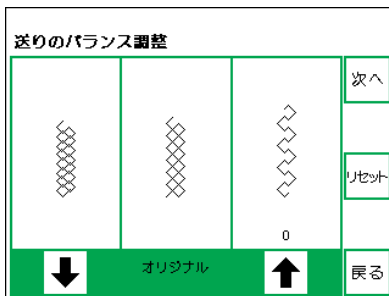
垂直方向に 50 段階、水平方向に 20 段階調節できます。



バランスを開く

- 機能「b」をタッチする。
- 画面に機能が表示されていない場合には、機能ツールバーの左右いずれかの矢印にタッチして使いたい機能をスクロールして表示します。

実用ステッチのバランス



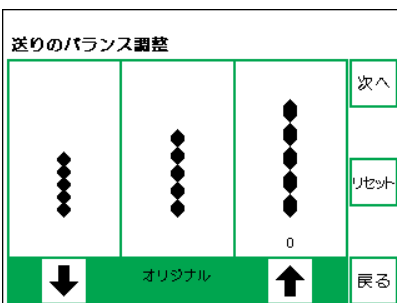
模様がこのような詰まった形になるときは、このボタンを使って調整します。

模様がこのような開いた形になるときは、このボタンを使って調整します。

ジャージーやトリコットのような柔らかい布のバランス

地を縫う時、ステッチを伸ばしながら縫うために、押え金の下で布地自体も引っ張られていることがあります。例えばネットステッチを開いてみましょう。バランスの修正はいたって簡単です。

- 適切なステッチを選択しましょう。
- バランスボタンをタッチします。バランスの画面が表示されます。
- 実用縫いの場合は、ネットステッチが画面中央に現われます。ネットステッチは実用縫いの全ての代表です。
- 飾り縫いでは、楕円形のサテンの飾り模様が代表で表示されます。
- 画面には、くずれた形のステッチが両側に表示されます。左は詰まりすぎ、右は開きすぎたものです。
- 画面下部の矢印がステッチを修正する方向を示しています。
- 二つの矢印ボタンを操作して、バランス調整します。



模様がこのような詰まった形になるときは、このボタンを使って調整します。

模様がこのような開いた形になるときは、このボタンを使って調整します。

修正

開きすぎたステッチ

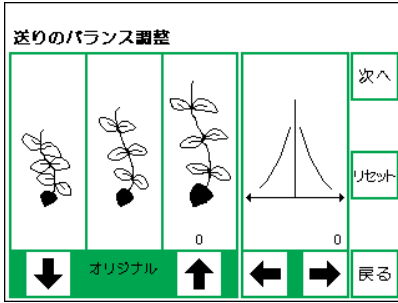
- 右欄の矢印にタッチして、画面上にあなたが縫った状態を表示して下さい。
- ステップ数が直接矢印の上に表示されます。
- ミシンは自動的にバランスを修正して、ステッチを中央に表示された標準に戻します。
- 変化は画面には現われません。
- 2—5ステップで普通充分な修正が出来ます。(最大50ステップ)
- 試しに縫ってみましょう。

- 修正が終わったら、「OK」ボタンを押してステッチ画面に戻ります。
- 修正したバランスはミシンの電源を切るとリセットされます。又はバランス画面の「リセット」ボタンをタッチすると強制解除できます。

詰まりすぎたステッチ

- 上と同様の手順で左欄の矢印を用います。試しに縫ってみましょう。

バランス—横送り縫い



ステッチが上のような縮んだ状態のときは、この矢印で調整します。

ステッチが上のような開いた状態のときは、この矢印で調整します。

横方向のずれはこの矢印で修正します。

様々な布地や糸またその組み合わせの違いで横送り縫いに影響が出る場合がありますので、バランスの調整が必要になることもあります。

バランス

- ・ 横方向縫いを選択してください。
- ・ バランス機能を起動します。
- ・ バランス調節の画面が現われます。
- ・ ステッチが画面の左半分中央に現われます。
- ・ 歪んだ模様が2種類ステッチの両側に表示されます。左は詰まって狭く、右は伸びたものです。
- ・ 画面の右半分にはバランスを調節出来る範囲が表示されます。
- ・ 横送りのバランスを調節する画面では、常に選んだ模様が表示されます。

垂直方向の訂正

- ・ もし縫ってみた模様が画面の右側のものに似ていたら、右の矢印を使って訂正します。
- ・ ステッチが縮みます。
- ・ もし縫ってみた模様が画面の左側のものに似ていたら、左の矢印を使って訂正します。
- ・ ステッチは伸びます。
- ・ 通常、1—5ステップでステッチの垂直方向の形は充分訂正されます。(最大50ステップ)
- ・ もし10ステップ以上になれば、ステッチ自体が小さくなります。
- ・ 試しに縫ってみましょう。

水平方向の訂正

- ・ 水平方向のバランスは画面の右半分に表示されます。
- ・ 垂直方向に訂正を加えた後では、ステッチが幅広になっているかも知れません。例えばステッチのセンターラインが歪んでいるなど。
- ・ もしステッチの中央が右に寄っていたら、左の矢印で訂正して下さい。
- ・ もしステッチの中央が左に寄っていたら、右の矢印で訂正して下さい。
- ・ 通常 5-10 ステップでステッチの水平方向の形は充分訂正されます。(最大 20 ステップ)
- ・ 試しに縫ってみましょう。

ステッチ画面に戻る

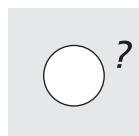
- ・ 修正が終わったら、《OK》ボタンを押してステッチ画面に戻ります。
- ・ 修正したバランスはミシンの電源を切るとリセットされます。又はバランス画面の《リセット》ボタンをタッチすると強制解除できます。

ヘルプ

ヘルプ機能は、個々のステッチと全機能の説明をしてくれます。

どんな画面を見ている時でもステッチや機能に関するヘルプは呼び出すことができます。

情報は使用説明書にあるものと同じですが、画面上でより早く簡単に見つけ出すことができます。



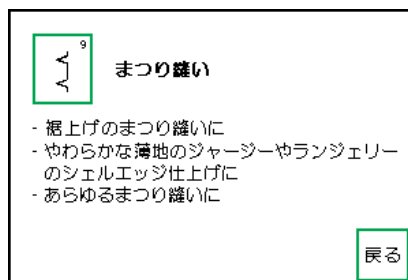
ヘルプを開く

- ・ 画面右横のヘルプ《？》ボタンを押して下さい。
- ・ 調べたい模様ボタンあるいは機能ボタンを画面上でタッチして下さい。

- ・ 時計が画面に表示され情報検索中を示します。

ヘルプの画面

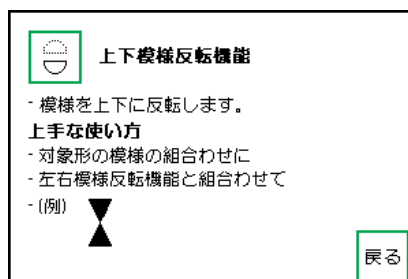
- ・ 画面には次のような情報が表示されます。
- ・ ステッチでは：
 - ステッチの名前
 - 適した布地
 - 主な適用方法



ヘルプの画面

機能では：

- ・ 機能の名前
- ・ 説明
- ・ 主な利用方法のうちから二、三種類の簡単な説明



前の画面に戻る

- ・ 《戻る》にタッチしてください。
- ・ ヘルプは閉じます。
- ・ 元の画面に戻ります。

注意

ヘルプ機能はいつでも、どのような作業をしていても、作業に影響することなく使えます。



糸調子

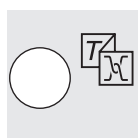
基本的な糸調子のセッティングはステッチやプログラムを選択した時に、自動的に調節されています。

糸調子は工場出荷時にポリエステル100/3の糸でベストの仕上がりにるようにセットされています。

当然刺繍糸のように特殊なタイプの糸を使えば糸調子も変わって来ますので、このような場合には布地とステッチの種類に合わせて調整する必要があります。

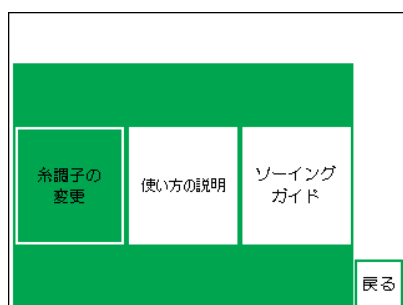
テンションの調節はどのステッチに対しても可能で、他のステッチのテンションを変えることなく、どのような場合にもできます。

操作は、外部のチュートリアルボタンを押して行います。



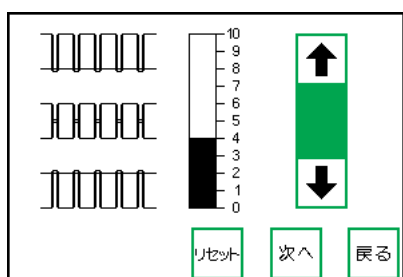
TTC ボタン

- ・ チュートリアルボタンを押します。



液晶画面

- ・ 以下のメニューが現われます。
 - 糸調子
 - 手引き書
 - ソーイングガイド
- ・ 《糸調子の変更》画面をタッチする。



糸調子を変える

- ・ 糸調子の画面が現われる。
- ・ 完璧なステッチの形が画面左側の中央に示される。
- ・ 糸調子のスケール(1-10)が中央に現われる。
- ・ 基本的なセッティングがグレーのバーで示される。
- ・ 糸調子を変えるには上下の矢印にタッチして下さい。
- ・ ステッチの形が上の例(下糸が強い)のような場合、上向きの矢印にタッチします。
- ・ ↑ = 上糸調子を強くする。(上糸を強くすれば布地の上にまで下糸を引っ張り上げるようになります。)
- ・ ステッチの形が下の例(上糸が強い)のような場合下向きの矢印にタッチします。
- ・ ↓ = 上糸調子を緩くする。(上糸を緩くすれば布地の下側にまで糸を引っ張ることが出来ます。)

- ・ 《ok》にタッチして下さい。
- ・ 変更されたステッチのテンションは一時的なメモリーに保存され、画面は閉じます。
- ・ 糸調子の変更はスイッチを切ったら、消えてしまいます。
- ・ 恒久的に糸調子を変えたい時は、セットアップ(66 ページ)を参照して下さい。

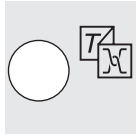
基本セッティングに戻す

- ・ 糸調子の画面を開いて下さい。
- ・ 《リセット》ボタンにタッチして下さい。
- ・ 変更は消去され、基本セッティングに戻ります。

説明書(チュートリアル)

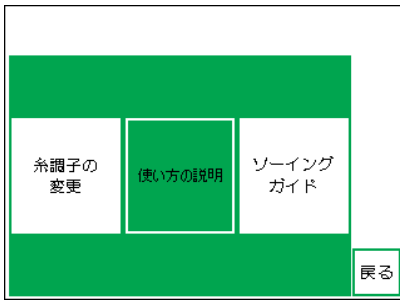
コンピューター用語で、チュートリアルと言うのは自分で出来るようになるためのものと言うことです。チュート

リアルは、ミシンの様々な情報を画面上で集約して用意されており、使用説明書を調べる手間を省きました。



画面右横ボタン

- 画面右横のチュートリアルボタンを押します。



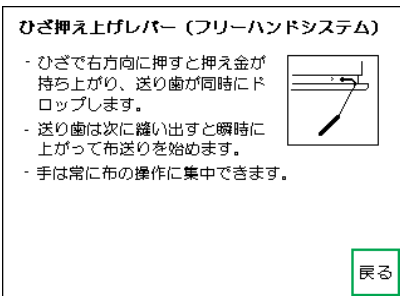
メニュー

- メニューが現われます。
 - 糸調子
 - 手引書
 - ソーイングガイド
- チュートリアル画面にタッチします。



サブメニュー

- 画面がチュートリアル副題に変わります。
 - 縫い始め
 - FHSシステム
 - ヘルプ
 - ヒントとコツ
 - CPS
 - 刺しゅう機
 - 刺しゅう用パソコンソフト
- 画面をタッチして選択する、例えばFHSシステム。
- 確認出来たら《OK》にタッチする。



説明

- 画面に時計が表示されて情報の検索中を示します。
- 選んだ題目に関する情報が画面に現われます。
- 《戻る》ボタンにタッチすると画面は閉じ、メニューに戻ります。

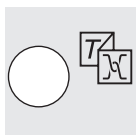
ソーイングガイド

ソーイングガイドは多種多様なソーイングの必要に応じて情報やヘルプを提供します。

布地のタイプと使いたいテクニックを入力すると、針、押え金、双方の接点、特別プログラムなどを情報として提案してくれます。

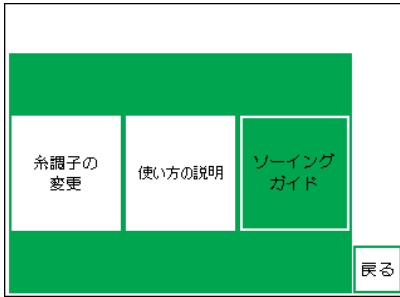
その時の押え金は必ずしもミシンに付いていた標準のものではないかもしれませんがベルナナ正規販売代理店にて、お買い求めいただけます。

ソーイングガイドでは、作品に合わせて自動的に糸調子をセットしてくれるとなっておりますが、いつも最適なものとは限りません。あくまで、作品に適したステッチが、その標準の設定で紹介されるだけです。調整が必要な場合には、手動で行うことになります。



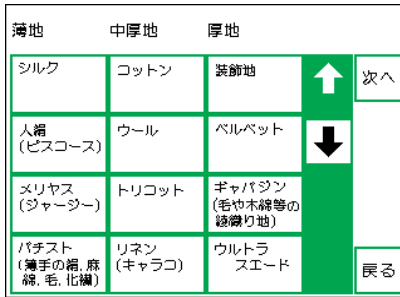
TTCボタン

- 画面右横のチュートリアルボタンを押す。



メニュー

- ・メニューが現われます。
 - 糸調子
 - 手引書
 - ソーイングガイド
- ・ソーイングガイドにタッチして下さい。



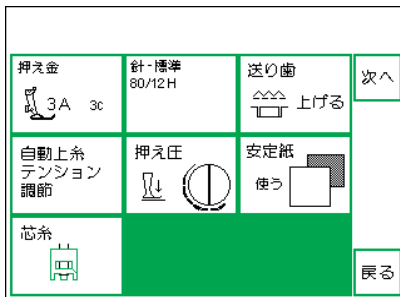
布地のメニュー

- ・布地のタイプが3列で表示されます。
 - 薄い布地
 - 普通の布地
 - 厚い布地
- ・最も一般的な布地があげられています。
- ・使いたい布地がリストに無い場合は、似たタイプのものを選んで下さい。
- ・タッチして選択します。(例えば、木綿)
- ・《ok》ボタンにタッチします。



テクニックのメニュー

- ・最も一般的なソーイングテクニックが表示されます。
- ・ソーイング(シーム、ヘム等)
- ・オーバーロック
- ・直線縫い
- ・ボタンホール
- ・ジッパーの取り付け
- ・装飾縫い(装飾ステッチ)
- ・ミシンキルティング
- ・縁かがり縫い
- ・アップリケ
- ・横送り縫い
- ・タッチして選択して下さい。
- ・使いたいソーイングテクニックがリストにない場合は、似たものを選択して下さい。
- ・《ok》ボタンにタッチして下さい。



ソーイング情報、特殊なテクニック、糸調子

- ・画面には選んだ布地とテクニックに関するアイデアが表示されます。
 - 押え金
 - 針
 - 送り歯
 - 糸調子
 - 押え圧力
 - 安定紙
 - ボタンホールの紐
- ・糸調子は、選択したステッチの標準の状態、自動的にセットされます。(AUTOと表示されます。)
- ・どんな押え金と針がよいかアイデアが出されるでしょう。
- ・こうして選ばれた押え金は選んだテクニックにとりわけ適していますが、基本パーツではなく、別に購入しなければならないこともあります。
- ・希望や好みに従って押え金と針を選択して下さい。
- ・安定紙はテクニックや布地にあったやり方に必要であれば、使うように指示が出るでしょう。
- ・ボタンホールの紐(モール)はボタンホールを補強するために必要なら使うよう注意を促されるでしょう。



選択したステッチに戻る

- ・《OK》ボタンにタッチして下さい。
- ・ミシンは、選択したステッチの画面に移り、そのステッチの標準設定が自動的にされます。
- ・装飾縫いを選択した場合には、ミシンは選択した装飾縫いの最初の画面に移ります。
- ・すぐ縫い始めることが出来ます。
- ・指示されたステッチはいつでも変えることが出来ます。

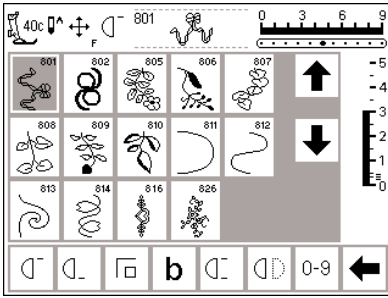
スマート(割り込み)機能

時には今進めている作業を中断して他の縫い物をしなければならないこともあるでしょう。

スマート機能は、現在セットした状態をそのまま記憶させておくよう特にデザインされていますので、後でまたすぐ元の作業に戻ることが出来ます。

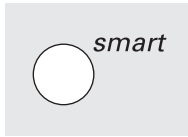
セットしてあった画面をセーブし、もう一度開くことが出来ます。

スマート機能でセーブしたデータは、ミシンのスイッチを切ると消えてしまいますのでご注意ください。



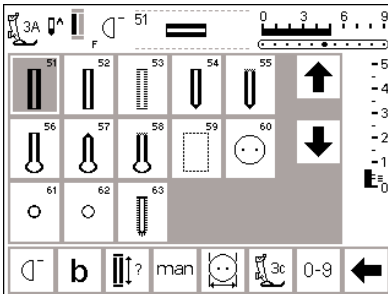
こんな場合に使います

- ・ 何かをメモリーに保存したいとき。
- ・ 作品の一部を試し縫いたいとき、または一部が完成したとき。
- ・ 中断して、後でまた作業をしたいとき。



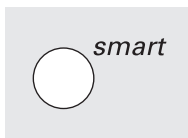
スマート機能で画面をセーブする

- ・ 画面右横のスマート«smart»ボタンを押して下さい。
- ・ 全てセットされた画面(ステッチ、機能、メモリー)がセーブされます。



他の作業に切り替える

他の作業に必要なステッチに切り替え、その作業を完成させます。



スマート機能 — 画面に戻る

- ・ 画面右横のスマート«smart»ボタンを押します。
- ・ 元の画面が現われます。
- ・ 全て残しておいた通りのセッティングになっていますので元の仕事を続けることが出来ます。

注意

ボタンホールプログラムに切り替える場合、機能ツールバーで指定した変更は、すべて基本設定に戻されます。

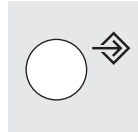
セットアップ・プログラム

セットアップ・プログラムであなたの必要と好みにあった画面が自分だけのものになります。

それと同時に基本セッティングを恒久的に変え、F ボタン(お好みボタン)をヘッドフレームにプログラムすることが出来ます。多くの可能性がありますので、見出しを良く見てどのようにしたいのかを決定して下さい。

変更されたものはセーブされ、スイッチを切っても、記憶されています。

マシンはどんな時もセットし直す事が出来、元の状態、すなわち工場から出荷された状態に戻すことが出来ます。



セットアップ

- 画面右横のボタンを押します。
- メニューが現われます。
- リストにある他のものに変えることが出来ます。

- いつでも元のセッティングにセットし直すことが出来ます。

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

メニュー

- メニューにはあなたの希望に添って変えることが出来るあらゆる特徴がリストにあげられています。
 - マイスクリーン
 - 機能
 - ステッチの長さ／幅／針位置
 - シグナル音
 - ソーイングスピード
 - 糸調子
 - スタート画面

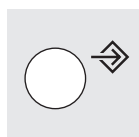
- 基本セッティングに戻る
- ソーイングライト
- サービス
- 自動糸カッター
- コントラスト(画面の明るさ)
- 糸のブランド
- マイスクリーン(マイスクリーンセッティング)はスイッチを切ってもセーブされたままです。
- いつでも元のセッティングにセットし直すこともマイスクリーンセッティングにプログラムし直すことも出来ます。

マイスクリーン・メニューをプログラムする

良く使うステッチだけをマイスクリーンに登録して、ご自分のステッチメニューを作ることが出来ます。

横送り縫いステッチはマイスクリーンには登録できません。

ステッチを登録するときには、送り長さ、ふり幅、針基線なども、個々のステッチに応じて変更したままで登録できます。

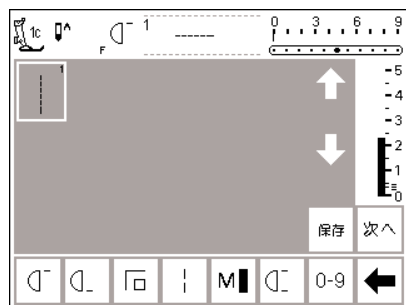


セットアップ

- 画面右横のセットアップボタンを押します。
- メニューが現われます。

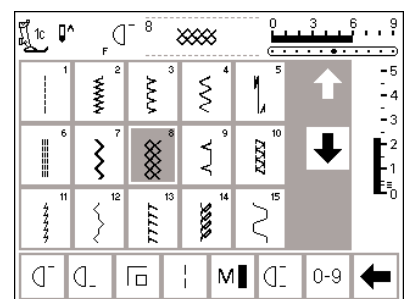
マイスクリーンの設定	機能の編集	振の幅、送り長さ、針基線の変更
シグナル音を鳴らす	最高スピードの設定	糸調子の変更
スタート画面の設定	標準の設定に戻す	ソーイングライトの点滅
サービスプログラム	自動糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカーブランド名	戻る	

- ステッチボタンにタッチします。
- マイスクリーン画面が自動的に現われます。



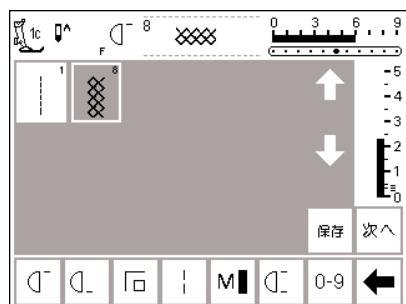
マイスクリーン(スタートポイント)

- 最初に直線縫いが表示されます。
- 他のスペースは白紙です。
- マイスクリーンの選択がその白紙のスペースに入力出来ます。



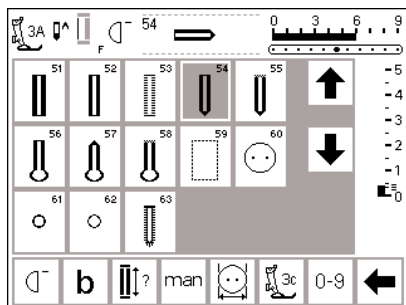
ステッチの挿入

- 画面右横の《実用縫い》のボタンを押します。
- ネットステッチを選択します。(明かりが点いている所です。)



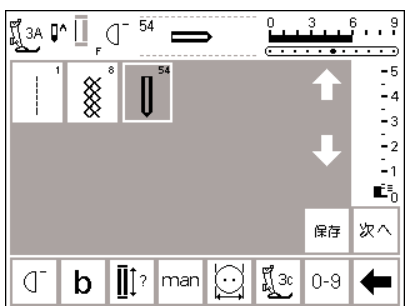
マイスクリーン画面

- 画面がマイスクリーンに変わります。
- ネットステッチが最初にあらわれます。
- 保存にタッチしてセーブして下さい。



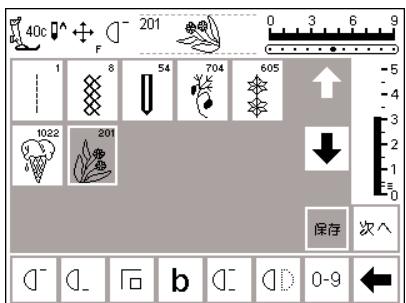
次のステッチを挿入する

- ・ 画面右横の《ボタンホール》ボタンを押します。
- ・ 鳩目ボタンホールにタッチして下さい。(明かりが点いている所です。)



マイスクリーン画面

- ・ 画面がマイスクリーンに変わります。
- ・ 鳩目ボタンホールが次の空所に現われます。
- ・ 《保存》にタッチしてセーブします。
- ・ このようにしてプログラムを続けます。
- ・ 新しいステッチをプログラムした時は、自動的に登録されている最後ステッチの後に挿入されます。



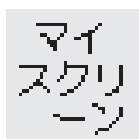
マイスクリーン(スペースの余白)

- ・ 五段分の上の行は埋まりました。
- ・ 五番目のステッチを挿入したら、自動的に次の行が現われます。
- ・ 同様にプログラムして下さい。
- ・ マイスクリーンには45個のステッチがプログラム出来ます。
- ・ 15以上プログラムしたら、基本のプログラムのときと同様に画面がスクロールします。



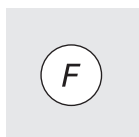
セーブして閉じる

- ・ 《OK》にタッチします。
- ・ 画面は閉じます。
- ・ セットアップメニューが現われます。



マイスクリーン機能

- ・ マイスクリーンを開くためには、マイスクリーン機能がツールバーに挿入されていなければなりません。
- ・ 《プログラム機能》の章を参照して下さい。



お好み機能

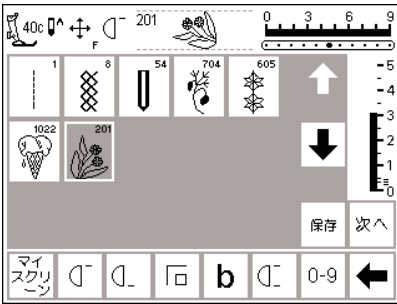
- ・ ミシンのフレーム上、針の上あたりにあるお好み機能ボタンを使えば、マイスクリーンをより簡単に開くことができるようになります。

マイスクリーン・ステッチの削除

マイスクリーンの設定	機能の編集	振り幅、送り長さ、針基線の変更
シグナル音を鳴らす	最高スピードの設定	糸調子の変更
スタート画面の設定	標準の設定に戻す	ソーイングライトの点滅
サービスプログラム	自動糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカーブランド名	戻る	

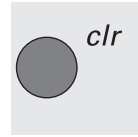
セットアップメニュー

- 画面右横のセットアップボタンをおすと、メニューが現われます。
- 《マイスクリーン》を選択して下さい。

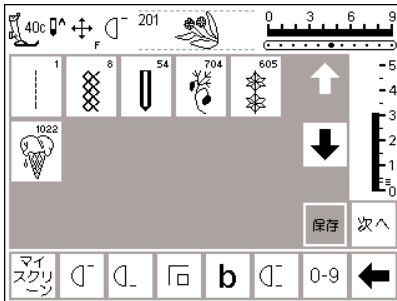


マイスクリーン画面

- マイスクリーン画面(マイスクリーン)が現われます。
- 削除するステッチボタンにタッチして下さい。(黒く表示されます)



ステッチを削除する画面右横の《clr》ボタンを押して下さい。



削除したステッチ

- ステッチは削除され、残りのステッチは全て一つずつ繰り上がります。
- 《保存》ボタンにタッチして変更したものを保存します。



閉じる

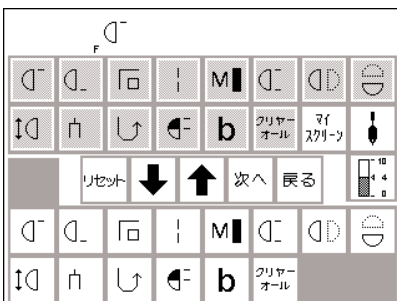
- 《ok》ボタンにタッチして下さい。
- 画面は閉じます。
- セットアップメニューが現われます。

機能ツールバーの設定

マイスクリーンの設定	機能の編集	振り幅、送り長さ、針基線の変更
シグナル音を鳴らす	最高スピードの設定	糸調子の変更
スタート画面の設定	標準の設定に戻す	ソーイングライトの点滅
サービスプログラム	自動糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカーブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- 画面右横のセットアップボタンを押すと、メニューが現われます。
- 《機能の設定》ボタンにタッチします。



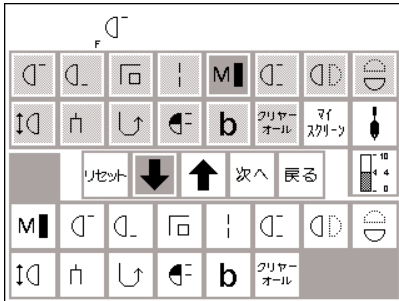
機能画面

- 全機能が画面に現われます。
- 画面下の二行は実用縫いの機能バーと同じです。
- これらの機能はどの画面でも使うことができます。(見えない時は画面を左右にスクロールして下さい。)
- 全機能が使えます。
- 画面中央の矢印(上下)は機能を移動させるために使います。
- 上の二行の機能は実用縫いの画面の機能と一致します。
- 上の行の機能は《マイスクリーン》以外は、起動しません。

アーティスト185には、7種類の機能バーがあります。

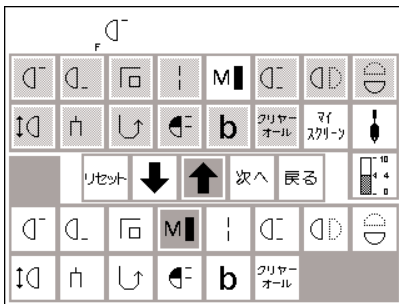
- 実用縫い
- 装飾縫い
- ボタンホール
- 9mm幅の文字
- 横送り縫いのモチーフ
- 4方向縫いまたは16方向縫いのメニュー
- モノグラム

1つの機能バーをカスタマイズするには、セットアップ画面に入る前に、まずステッチおよび機能オプションを選択しておく必要があります。それにより、正しい機能バーが起動され、セットアップ画面にてカスタマイズすることが可能になります。



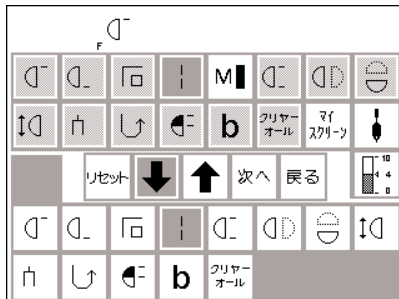
機能を移動する

- 画面下の2行からソーイングスピード機能<M |>を選択します。
- 矢印上向き↑にタッチして下さい。
- 下の行からその機能が消えます。
- そしてこの機能は、上の2行に移動して、もう個々の画面、例えば、実用縫いの画面には表示されません。
- その機能は上の行で強調して表示され、つまり、休止状態になりました。
- 他の機能も同じ方法で移動、休止させる事が出来ます。
- 機能をもう一度プログラムし直す時は、まず、機能を画面の上に移動してやり直します。



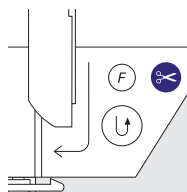
機能を挿入する

- 削除された機能は、いつでも元の状態に戻すことが出来ます。
- 上2行の中の機能から、例えば、ソーイングスピード<M |>を選択します。
- 下向き矢印↓にタッチします。
- 選んだ機能は、画面下のツールバーの先頭に挿入されます。
- 他の全機能は右に一つずつ移動します。



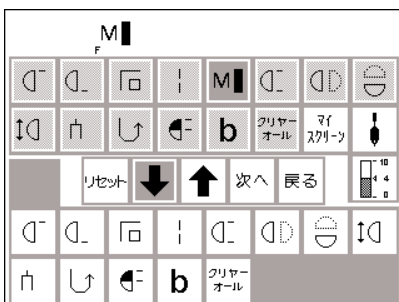
機能ツールバー上の2つの機能間に新しい機能を挿入する

- 新しい機能を今ある2つの機能の間に挿入することが出来ます。
- 上2行から機能を選択して下さい。
- 機能を挿入したい位置を下2行から選んでタッチして下さい。
- 下向き矢印↓にタッチします。
- その機能は選択した位置に挿入されます。
- 前からあった機能は右に一つずつ移動します。



<<F>>(お好み機能)ボタン

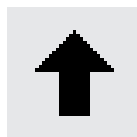
- ミシン本体の手元返し縫いボタンの横にある<<F>>機能ボタンに良く使うお好みの機能をプログラム出来ます。
- 上2行の中から好みの機能を選択します。
- <<F>>機能ボタンを押す。
- ↓を押す。
- 機能がFボタンに登録されました。
- 画面の上に登録した機能が常時表示されます。



- <<F>>機能ボタンに選んだ機能がプログラムされました。
- 同様のやり方で、好きなだけプログラムのやり直しをすることが出来ます。
- プログラムされた機能は画面トップの<<針停止位置表示>>の表示の右横に常時表示されます。

リセット

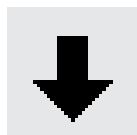
- 全機能を基本セッティングに戻す
- ・ 「リセット」ボタンにタッチする。
 - ・ 全機能は標準セッティングに戻ります。



- 機能の削除
- ・ ボタンを押します。
 - ・ 機能が削除されます。

ok

- 変更したものをセーブして閉じる
- ・ 「ok」ボタンにタッチする。
 - ・ 変更したものがセーブされます。
 - ・ 画面が閉じます。
 - ・ セットアップ画面が現われます。



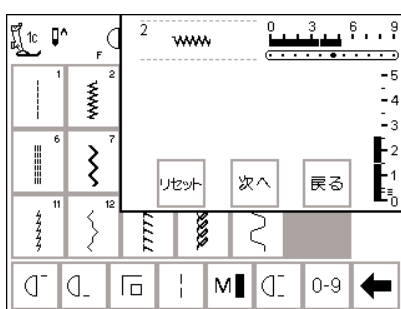
- 機能の追加
- ・ ボタンを押します。
 - ・ 機能が追加されます。

ステッチの幅、長さ、針位置の基本セッティング変更

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振の幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

- セットアップを開く
- ・ ステッチの幅、長さ、針位置を変えたいステッチを選択します。
 - ・ 画面右横のセットアップボタンを押し、メニューが現われたら、「送り長さ、振り幅、針基線変更」ボタンをタッチする。

この機能は、マイスクリーンおよびある特定のメニューにおいて、ステッチのカスタマイズをするときに使います。お好みのステッチの標準値を設定することができます。



- セッティングを変更する
- ステッチの幅、長さ、針位置の画面が現われます。
- ・ 画面右横の「調節つまみ」を使って「ステッチの振り幅と送り長さの基本セッティング」を変える。
 - ・ 画面右横のボタンで「基本針位置」を変える。
 - ・ 「ok」ボタンにタッチしてセーブする。
 - ・ 画面が閉じる。
 - ・ セットアップ画面に戻ります。

- 基本セッティングに戻る
- ・ 「リセット」ボタンにタッチする。または外部ボタン「clr」を押します。
 - ・ ステッチが工場設定の標準セッティングに戻ります。

シグナル音の設定

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振の幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

- セットアップメニュー
- ・ 「ピッ」という操作音、または警告音を鳴らすことができます。
 - ・ 画面右横の「セットアップ」ボタンを押すとメニューが現われる。
 - ・ 「音を鳴らす」ボタンにタッチする。
 - ・ シグナル音メニューが現われる。

音を鳴らす場面		
模様を選ぶ時	機能を選ぶ時	送り歯上下警告音
上糸切れ警告音	下糸残量警告音	押え金上下警告音
下糸巻き装置警告音	刺しゅうの完了時	
はい	いいえ	1 2 3 次へ
		戻る

シグナル音

- シグナル音は以下の操作時に鳴らすことが出来ます。
 - 模様選択時
 - 機能選択時
 - 送り歯の上下操作時(刺しゅう時)
 - 上糸モニター警告
 - 下糸モニター警告
 - 押え金の上下警告(刺しゅう時)

- 糸巻き時
- 刺しゅうの完了時
- シグナル音は、鳴らないようにセットする事も出来ます。
- 繰り返しの数も《ピツ》、《ピツピツ》、《ピツピツピツ》の三種類から選択できます。

音を鳴らす場面		
模様を選ぶ時	機能を選ぶ時	送り歯上下警告音
上糸切れ警告音	下糸残量警告音	押え金上下警告音
下糸巻き装置警告音	刺しゅうの完了時	
はい	いいえ	1 2 3 次へ
		戻る

シグナルを追加する

- 例えば、《模様を選ぶ時》ボタンをタッチして選択する。
- 画面が強調されます。
- 画面下の《on》ボタンにタッチする。
- 《123》ボタンをタッチして、繰り返した回数(灰色で表示されている)選びます。

シグナルを除去する

- 例えば、《模様を選ぶ時》ボタンをタッチして選択する。
- 画面下の《off》ボタンにタッチする。
- シグナル音がオフになりました。

注意

シグナル音をオフにした場合、上糸および下糸モニター警告のセンサーも自動的にオフ状態になります。



セーブして閉じる

- 画面下の《ok》ボタンにタッチする。
- 変更通りにセーブされました。
- 画面が閉じます。
- セットアップ画面に戻ります。

ソーイングスピードの設定

マイスクリーン の設定	機能の編集	振り幅、送り長さ、針基線の変更
シグナル音を鳴らす	最高スピードの設定	糸調子の変更
スタート画面の設定	標準の設定に戻す	ソーイングライトの点滅
サービスプログラム	自動糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカーブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- 画面右横の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現われます。
- 《ソーイングスピード》ボタンにタッチします。
- メニューが現われます。

1	2	
6	7	880
11	12	リセット 次へ 戻る
0-9 ←		

ソーイングスピードを変える

- 矢印(←) (→) にタッチして、最高ソーイングスピードを設定できます。
- 矢印の間の数字が毎分の最高スピードを意味します。900回転が最高限度です。
- 最高ソーイングスピードを早めたり遅くしたりするのはこの数字で決められます。

- 最高スピードを変えると、各4段階(1/4、1/2、3/4、フル)の速度が順次最高速に合わせて変化します。

ok

セーブして閉じる

- ・ 《ok》ボタンにタッチしてください。
- ・ 変更したものがセーブされます。
- ・ 画面は閉じます。
- ・ セットアップメニューに戻ります。

基本セッティングに戻る

同画面で《リセット》ボタンにタッチすれば、標準セッティングに戻ります。

上糸調子の標準セッティングを変更する

全てのステッチ毎に、標準の糸調子が工場ですべてセットされています。ミシンは、3本縫りの100番の糸を使って、広く応用できるテンションにセットされています。異なるタイプの糸や、布地に対しては、テンションを調整する必要があります。

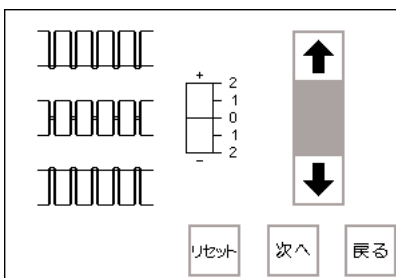
セットアップでテンションを変更すると、全てのステッチのテンションを変更することになります。

セットアップで変更するテンションは、強弱双方向に最大20%までです。改めて、テンションをセットアップで調節しない限り、又は工場セッティングに戻さない限りは、変更されたままになります。

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- ・ 画面右横の《セットアップ》プッシュボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・ 《上糸調子の調節》ボタンをタッチして下さい。



《上糸調子の調節》画面が現われます。

糸調子を変える

- ・ 糸調子の標準セッティングはいつでも変更することが出来ます。(特に特殊な糸を使う場合に便利です。)
- ・ 変更した糸調子が全ての模様縫いに影響します。
- ・ 画面の左側中央のイラストは、布地の中央で上糸と下糸がバランスした完璧な状態です。
- ・ 糸調子の目盛り(1—10)は画面中央に表示されています。
- ・ 基本セッティングは灰色のバーで示されています。
- ・ 矢印 ↑ ↓ のいずれかをタッチして糸調子を変えます。
- ・ もしステッチの形が上のイラストのようになっているなら、上向きの矢印にタッチして下さい。
- ・ ↑ = 上糸の調子を強くする。(上糸調子を強くして、下糸を引っ張り上げる)
- ・ もしステッチの形が下のイラストのようになっているなら、下向きの矢印にタッチして下さい。
- ・ ↓ = 上糸の調子を緩くする。(上糸調子を緩くして下糸が強くなるようにする。)
- ・ 糸調子の変更はミシンのスイッチを切ってもセーブされたままになっています。
- ・ 試しに縫ってみましょう。



基本セッティングに戻る

- ・ 《リセット》にタッチすれば基本セッティングの糸調子に戻すことができます。



セーブして閉じる

- ・ 《ok》にタッチします。
- ・ 変更した状態でセーブされます。
- ・ 画面は閉じます。
- ・ セットアップメニューに戻ります。

スタート画面の設定

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- ・ 画面右横の《セットアップ》プッシュボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・ 《スタート画面の表示／非表示》ボタンにタッチします。
- ・ スタート画面が現われます。



《スタート画面》のスイッチを非表示にする 《スタート画面》を表示する

- ・ 《on》ボタンにタッチして下さい。
- ・ スタート画面は表示、非表示を選べます。
- ・ 《off》ボタンにタッチして下さい。
- ・ 次回ミシンのスイッチを入れた時にスタート画面は表示されません。
- ・ 実用縫いのメニューがマイスクリーンが直ちに現われます。
- ・ ミシンのスイッチを入れるたびにいつもスタート画面が出て、続いて自動的に実用縫いのメニューが現われます。



セーブして閉じる

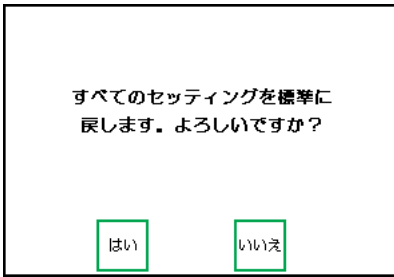
- ・ 《ok》ボタンにタッチして下さい。
- ・ 変更した状態でセーブ出来ます。
- ・ 画面が閉じます。
- ・ セットアップメニューに戻ります。

標準設定に戻る

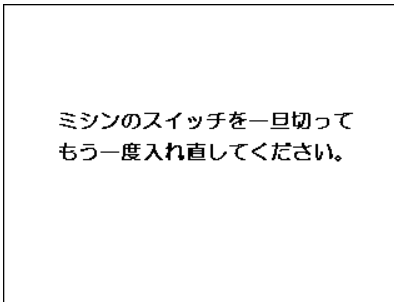
マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- ・ 画面右横の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・ 《標準のセッティングに戻る》にタッチして下さい。



- ・メッセージが表示され、標準に戻すことを確認します。
- ・《はい》ボタンをタッチして、標準化を進めます。
- ・画面上でボタンの色が強調され、しばらく時間が掛かって、ボタンの色が元に戻ります。
- ・《いいえ》にタッチします。
- ・セットアップは標準化を行わずにメニューに戻ります。

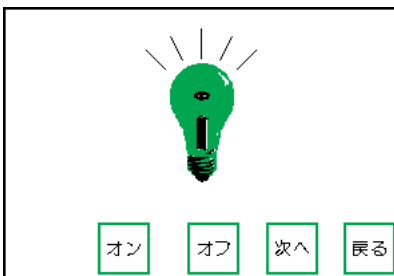


- ・スイッチを一旦切って、また入れるように、メッセージが表示されます。
 - ・リセットが完了しました。
- 注意**
標準セッティングに戻しても、プログラムしてメモリーに保存したデータは消去されません。

マイスクリーン の設定	機能の編集	振の幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- ・画面右横の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・《ソーイングライトの点滅》を選択します。



ソーイングライトの点滅の選択

- ・《オン》ボタンにタッチして下さい。
- ・ライトはミシンのスイッチが入っている間はずっとついたままです。
- ・《オフ》ボタンにタッチして下さい。
- ・ミシンのスイッチを入れてもライトはつきません。
- ・セットアップ画面上でオン/オフのボタンを押してもライトは点滅しません。一旦セットアップ・プログラムを終了して下さい。

セーブして閉じる

- ・《ok》ボタンにタッチして下さい。
- ・変更した状態でセーブされます。
- ・画面が閉じます。
- ・セットアップメニューに戻ります。

OK

サービスプログラム

サービスプログラムとは、パソコンソフトのバージョン情報を確認し、またタッチ画面の感度の調整および刺しゅう枠との位置調整等を行うプログラムです。

ソフトウェアバージョンの確認

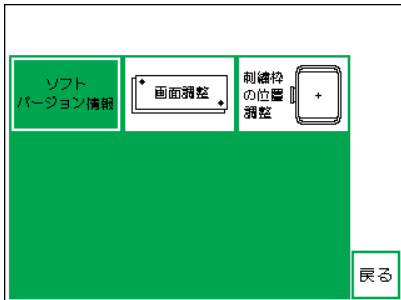
マイ スクリーン の設定	機能の編集	振りの幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

代理店にミシンの調子や扱い方、またバージョンアップ等の各種情報を問い合わせるとき、ミシンと刺しゅう機に組み込

まれているソフトのバージョン（仕様番号）を知っておいていただくと、的確ご回答をご提供できます。

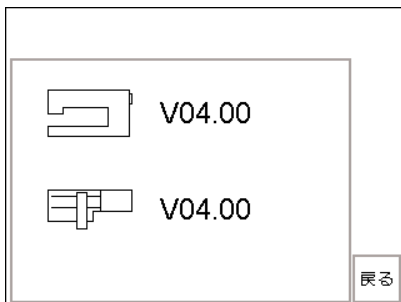
セットアップメニュー

- ・ 画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが表示されます。
- ・ 《サービスプログラム》ボタンをタッチします。



サービス画面

- ・ サービス画面が表示されます。
- ・ 《ソフトバージョン情報》ボタンをタッチします。



ソフトバージョンの情報

- ・ 画面にソフトのバージョン番号が表示されます。
- ・ 刺しゅう機が接続されている場合には、刺しゅう機のバージョン番号も、左の画面のように表示されます。
- ・ 通常、ミシンと刺しゅう機のバージョン番号は同じでなければ、フル機能を発揮できません。
- ・ 《戻る》ボタンをタッチして、サービス画面に戻ります。

タッチ画面の感度の調整

タッチセンサーの感度をリセットすることが出来ます。

メモ：

工場からの出荷時に、タッチセンサーの感度は設定されていますが、輸送中や各種の衝撃でタッチ画面の感度が鈍くなる場合があります。このようなときには、次の手順でタッチ画面の感度を再調整できます。

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

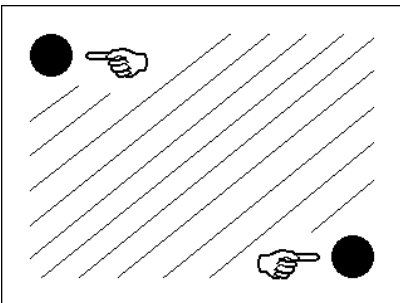
セットアップメニュー

- 画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが表示されます。
- 《サービスプログラム》ボタンにタッチします。

ソフト バージョン情報	画面調整	刺しゅう 枠の位置 調整
		戻る

サービス画面

- サービス画面が表示されます。
- 《画面調整》ボタンをタッチします。



画面感度の調整

- 感度調整用画面が表示されます。
- 黒い点を1つずつ指先でタッチします。順番は、どちらからでも構いません。
- ミシンは《ピー》という音を出して、正確にタッチされたことを確認します。

- 元の画面に戻ります。

注意：

黒い点以外の画面部分をタッチしてしまうと、技術的な修理が必要となる場合がありますので、十分お気をつけください。

この調整により、針を刺しゅう枠の中心に持ってくる事ができるようになります。刺しゅう枠の調

整機能は、刺しゅう機が接続されている場合にのみ可能です。

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

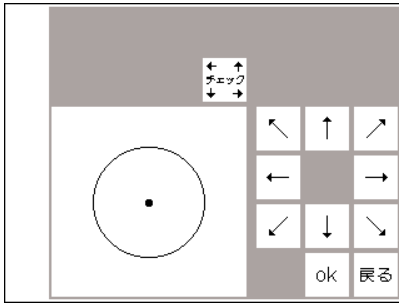
セットアップメニュー

- 画面右横の《セットアップ》プッシュボタンを押すと、メニューが現われます。
- 《刺しゅう枠の位置調節》ボタンをタッチします。

ソフト バージョン情報	画面調整	刺しゅう 枠の位置 調整
		戻る

サービス画面

- サービス画面が表示されます。
- 《画面調整》ボタンをタッチします。



刺しゅう枠の位置調節

- ・ 刺しゅう枠位置調節の画面が現われます。
- ・ ミシンに刺しゅう機をセットして、一番大きな刺しゅう枠を取り付けます。
- ・ 刺しゅう枠に基盤の目が印刷された透明のテンプレートをセットします。
- ・ ≪チェック≫ボタンにタッチすると刺しゅう枠の位置が読み込まれテンプレートの中央が針の真下に移動します。
- ・ 針がテンプレートの中央の針穴に正確に合っていないければなりません。
- ・ もしずれていたら、矢印で調節します。
- ・ 刺しゅう枠の調節は一度セッティングすれば、あらゆるサイズの刺しゅう枠に合うようになっています。



セーブして閉じる

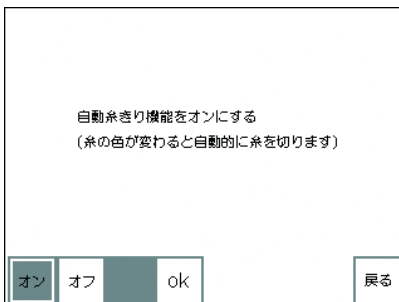
- ・ ≪ok≫ボタンにタッチして下さい。
- ・ 調節した状態でセーブされます。
- ・ 画面が閉じます。
- ・ セットアップメニューに戻ります。

自動糸カッター

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- ・ ≪自動糸切り≫を選択します。
- ・ 画面上で、自動糸切りのオンオフができます。



自動糸切り

- ・ 刺しゅう時に糸の色が変わってミシンが停止したときに、糸を自動で切るか、切らないかを選べます。
- ・ オフをタッチすると、自動糸切りはオフになります。
- ・ オンをタッチすると、自動糸切りはオンになります。



セーブして閉じる


- ・ ≪ok≫ボタンにタッチすると、調節した状態でセーブされます。
- ・ ≪戻る≫をタッチすると、セットアップメニューに戻ります。

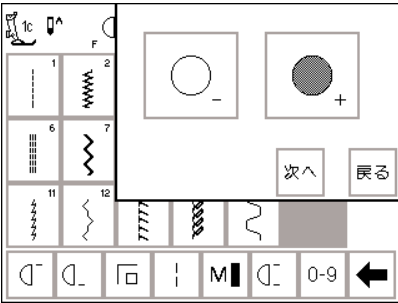
画面のコントラストを調節する

画面のコントラストを調節します。

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- 画面右横の《セットアップ》プッシュボタンを押すと、メニューが現われます。
- 《》ボタンにタッチして下さい。(常に画面の右下です)。画面が読みにくくなっていることを忘れないようにして下さい。



コントラストを調節する

- 二つ(○-:明るくなる、●+:暗くなる)のどちらかを使ってコントラストを調節して下さい。
- タッチしてコントラストを増減させます。

元の画面が左側に見えたままになっていますので、コントラストの状態を見ながら調節して下さい。



セーブして閉じる

- 《ok》ボタンにタッチして下さい。
- 変更した状態でセーブされます。
- 画面が閉じます。
- セットアップメニューに戻ります。

刺しゅうデザインの糸のメーカーブランドを変更する

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

ご使用になりたい糸のメーカーの色番手を表示することが出来ます。

セットアップメニュー

- 糸ブランドを選択します。

無し	Isacord (IsaJ-T)	Sulky スルキ
Madeira マデira	Mettler メtler	リy 7000
ok 戻る		

糸ブランドの変更

- 選択した糸ブランドの色番号が、刺しゅう画面に表示されます。



セーブして閉じる

- 《ok》ボタンにタッチすると、調節した状態でセーブされます。
- 《戻る》をタッチすると、セットアップメニューに戻ります。

セットアップ機能を終わる

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
シグナル音 を鳴らす	最高スピードの 設定	糸調子の 変更
スタート画面の 設定	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム	自動 糸切り機能	画面の明るさ調整
糸のメーカー ブランド名	戻る	

セットアップメニュー

- ・ 《戻る》ボタンにタッチして下さい。
- ・ セットアップ画面は閉じられます。
- ・ 変更したものがセーブされます。
- ・ ミシンのスイッチを切っても変更したものはセーブされたままです。

エコ機能

緑色の《エコ(エコロジー)機能》プッシュボタンは電力を節約します。

もし《エコ機能》が起動していたら、50%の電力の節約になります。

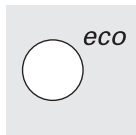
スイッチを入れたままで使っていない状態が長く続く時はこのエコ機能を使います。

このエコ機能はパソコンの《スクリーンセーバー》機能に匹敵するものです。

今使っている画面、メモリーの内容、選択した他の機能は全てそのままです。画面は暗くなり細部がようやく見える程度で、休止状態になります。

再度使い始めるには、《エコ機能》プッシュボタンを押しますと、ミシンは休止以前の状態に戻ります。

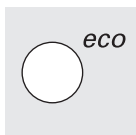
電力の節約とは別に、エコ機能はまた幼児への安全策も備えています。エコモードでは、ミシンは休止状態にロックされます。ミシンを再度使うには、エコモードを終了して、元の画面に戻します。



エコ機能

- ・ 画面右横の《エコ機能》プッシュボタンにタッチして下さい。
- ・ 電力の使用料は50%カットされます。

- ・ しばらくの間仕事を中断したい時に便利です。



画面

- ・ 画面は暗くなり、細部が辛うじて見える程度になっています。
- ・ ミシンはロックされていますので、エコモードのままでは縫うことが出来ません。

- ・ セットアップは全てそのままです。

ソーイングに戻る

- ・ 《エコ機能》プッシュボタンにタッチして下さい。
- ・ ミシンは元のセッティングに戻ります。

- ・ 止めてある所からスタートすることが出来ます。
- ・ エコモードはミシンの電源スイッチを切った時には解除されます。

特殊アクセサリ

次のページからは、アーティストでご利用頂ける別売りオプションのアクセサリについてご紹介します。これらのアクセサリがあれば、ミシンの可

能性は無限に広がるでしょう。詳しくは、最寄りの正規販売代理店にお問い合わせ下さい。

CPS模様交換ソフトウェア

CPS模様交換ソフト

このパソコン用ソフトのおかげで予めプログラムされたステッチや文字の代わりに、豊富に用意された模様縫いの中から、ご自分の好みの模様と入れ替えることが出来ます。

簡単な「ドラッグしてドロップする」作業だけで、いつでも何度でも繰り返し、模様を入れ替えが可能です。また模様縫いだけでなく、刺しゅう用デザインや文字も入れ替えられます。

専用刺しゅう機

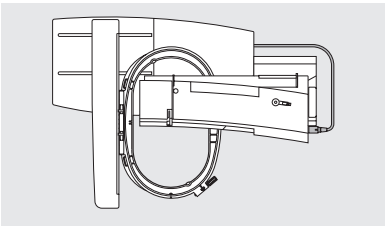
刺しゅう機 (別売りオプション)

アーティストの専用刺しゅう機を使って、完全自動で素晴らしく大きな刺しゅうモチーフをフルカラーで縫うことが出来ます。

刺しゅう機は左図のようにセットし、接続用のソケットをミシンの右手側コンセントに差し込みます。

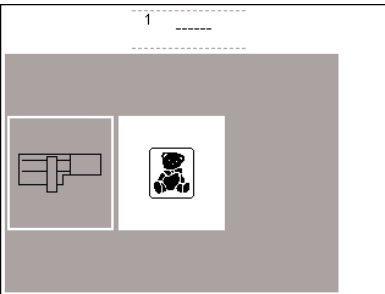
標準で30種類のモチーフが記憶されています。画面に表示されたモチーフを選んで、直ちに縫い始めることが出来ます。

幅広いテーマをカバーする別売りの刺しゅうカードも用意されています。刺しゅう機にこのカードを差し込み、モチーフを選んで縫うだけです。



刺しゅう機の接続方法

- ・ ミシンの電源を切ります。
- ・ アクセサリーボックスを使っているときは、取り外します。
- ・ フリーアームの後側に左側から滑らすように刺しゅう機を差し込みます。
- ・ ミシンの土台(後の右側)に接続用突起が正確に差し込まれるのを確認してください。
- ・ ミシン右側面の刺しゅう機接続用のコンセントにプラグを差し込みます。
- ・ ミシンの電源を入れます。



デザイン

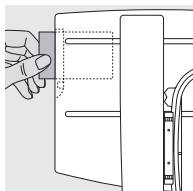
- ・ 刺繍メニューが現われます。
 - 左側 - 刺しゅう機用ボタン
 - 右側 - 刺繍カード用ボタン
- ・ « 刺しゅう機 » ボタンにタッチします。
- ・ モチーフと文字が現われますので選択して縫います。
- ・ « 刺繍カード » ボタンにタッチします。
- ・ 刺繍カードのモチーフが現われますので選択して縫います。
- ・ 刺しゅう機の機能には際限がありません。モチーフを反転、拡大、縮小することもできますし、ステッチの密度も変えることが出来ます。

刺繍カード(別売りオプション)

幅広いテーマをカバーした刺繍カードを刺しゅう機でご使用いただけます。

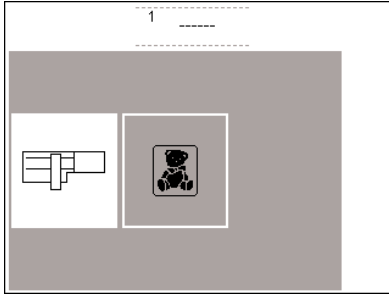
一つのテーマ毎に各カードが用意されています。常に新しいカードが発表されていますので、最寄りのベルニナ正規販売代理店へお問い合わせ下さい。

刺しゅうカードは刺しゅう機のカード差し込み口に差し込みます。内容は画面に表示されますので、矢印でスクロールしてご覧ください。



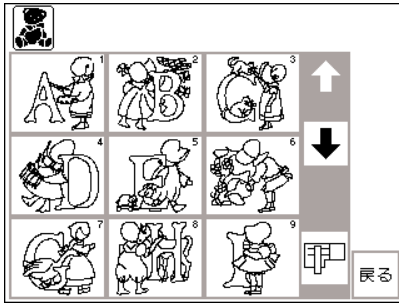
カードを差し込む

- ・ 刺しゅう機のカード差し込み口にカードを差し込んで下さい。



刺繍カードのメニュー

- ・ 刺しゅうのメニューが現われます。
- ・ 《刺しゅうカード》ボタン(クマの絵)にタッチして下さい。



カードの刺しゅうモチーフ

- ・ 最初のモチーフの画面が現われます。
- ・ スクロールして次々とモチーフを見る事が出来ます
- ・ ミシンにプログラムされたステッチと同じように選択して縫いましょう。

日本語パソコン刺しゅうソフト(別売りオプション)

ベルニナのアーティスト刺しゅう用パソコンソフトを使えば、簡単に刺しゅうのデザインを組み合わせたリ、反転したり、サイズ変更したりすることができます。

また、145mm×255mmまでのサイズならば、オリジナルの作品を作ることも可能です。ご自分の手で、最初の一針から刺しゅうを完了するまで、すべて思いのままに創作することができます。個性的なオリジナルデザインに挑戦してみてください。デザイナーはあなた、でも、面倒な作業はすべてアーティストにお任せください。

パソコン上でデザインされた刺しゅうモチーフは、接続ケーブル(9ピンシリアルポート使用)を通してアーティストに転送されます。

オリジナルデザインはコンピューターやベルニナ特製の別売りプランク刺繍カードにもセーブすることができます。

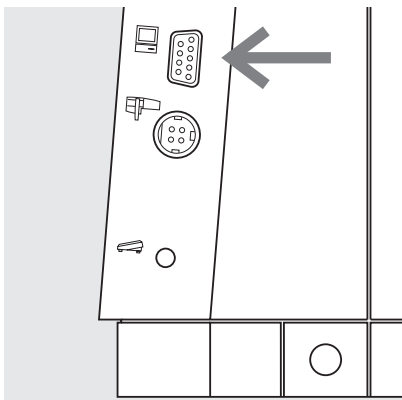
このプログラム

ソフトはマイクロソフト社のWindows 95 / 98 / Me / 2000 / XP等のオペレーティングシステムで稼動し、初めての人も簡単に使うことが出来ます。

TWIN対応スキャナーやデジタルカメラはコンピューターショップでご購入いただけます。オリジナルデザインまたはクリップアートを、デジタル化された形で直接ソフトに転送することができる強い味方です。

デザインを保存する方法

- ・ パソコン上に。
- ・ 刺しゅう機にセットしたマイスクリーンデザインカードに。
- ・ リーダーライターボックス(別売りオプション)にセットした空のメモリーカードに。
- ・ 刺しゅう機に直接でも保存できます。



接続ケーブルをつなぐ

- ・ ケーブルをつなぐ前にミシンのスイッチは切して下さい。
- ・ ミシン右側面の丸型ソケットにケーブルを差し込みます。
- ・ ミシンのスイッチを入れて下さい。

ご使用方法などの詳細説明は、各刺しゅうソフトの使用説明書をご参照下さい。

詳しくは最寄りのベルニナ正規販売代理店にお尋ね下さい。

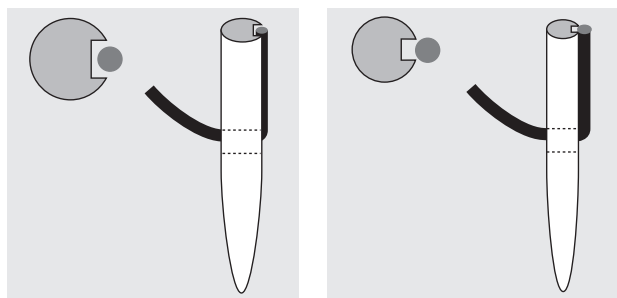
ミシン針に関する重要事項

ミシン針、糸

当ベルニナのミシンではシステム130/705Hタイプのベルニナ純正針を使用して下さい。

針と糸

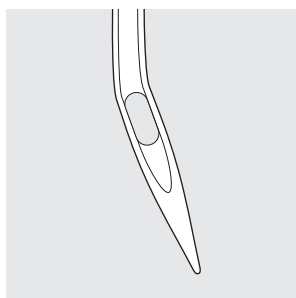
最も一般的に市販されている針は、70-120番（日本仕様10-18番）です。針が細いほど番号が小さくなっています。この表は針がどんな糸に合っているかを示したものです。使う針は糸次第です。針が糸に合ったものでなければなりません。



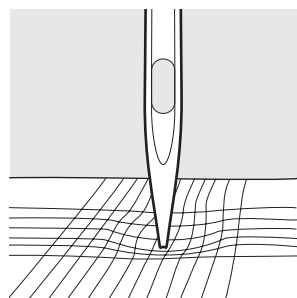
針と糸の正しい組み合わせ
縫うとき、糸は針の長い溝を走って通ります。

不適正な針と糸の組み合わせ
糸の太さに対して針が細すぎる場合、糸溝に糸がうまく沈まず、布にフラグging（ペコ付き現象）を発生させ、きれいに縫えません。

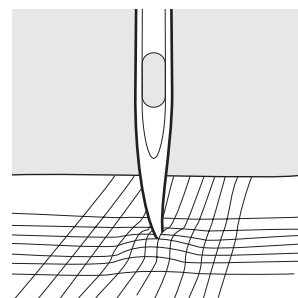
針と布地—針の状態
針は完璧な状態でなければなりません。針に異常があるとトラブルの元です。



曲がった針



先のつぶれた針



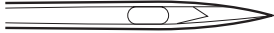
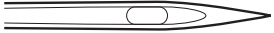


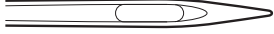








先がぎざぎざの針

針と糸の関連	70	80	90	100	110-120
かがり糸	○	○			
刺繍糸		○			
コットン糸		○	○		
化繊糸		○	○		
太糸、化繊糸			○	○	
ボタンホール糸 飾り糸、ステッチ				○	○

各種のミシン針

特殊な布ほど、布地に適した針を使い分けることにより、大変縫いやすくなります。ベルナ正規販売代理店では、様々な針を用途に合わせて取りそろえております。

針一覧表 針の記号	針先形状	用途	針の番手
標準針 130/705H	 標準の針先	汎用針、化繊や天然繊維の織地、例えば、リネン、シフォン、人絹、オーガンジー、ウール、サテン、ベルベットなど、飾り縫い、刺しゅう	60-100
ジャージー・ストレッチ 130/705H-S 130/705H-SES 130/705H-SUK	 ボールポイント	絹、化繊、綿、薄地のウール地、薄手のニット地、特に伸縮性の強い生地、デリケートな伸縮地用	70-90
レザー針 130/705H-LL 130/705H-LR	 カッティングポイント	各種天然皮革、合成皮革、ビニールコーティング地、プラスチック	90-100
ジーンズ針 130/705H-J	 針先シャープ	綾織、作業衣、麻、デニム、キャンバス地、目のつんだ生地。	80-100
マイクロテックス 130/705H-M	 特にシャープな先端	マイクロ繊維、シルク	60-90
キルティング 130/705H-Q	 鋭い先端	直線縫い、トップステッチ	75-90
刺しゅう 130/705H-E	 大きな針穴、僅かにボールポイント	あらゆる生地での刺しゅうに。	75-90
メタフィル 130/705H-MET	 大きな針穴	メタリック糸に	75-90
コルドネット 130/705H-N	 わずかにボールポイント、長い針穴	太い飾り糸でトップステッチ	80-100
ウイング針 130/705HO	 幅広く、ウイング付	綿ローンや綿オーガンジー等の織りのゆるい薄地でヘムステッチやレース付け	100-120
ダブルウイング 130/705H-ZWI-HO		特殊効果を生み出すヘムステッチ刺しゅうに	100
二本針 130/705H-TWI	 針間隔 1.6/2.0/2.5/3.0/4.0/6.0/8.0mm	伸縮地のヘム縫いに、ピンタック、飾り縫い、キルティング	70-100
三本針 130/705H-TRI	 針巾3.0mm	飾り縫い、キルティング	80

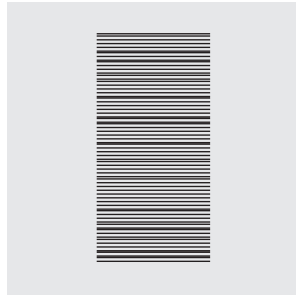
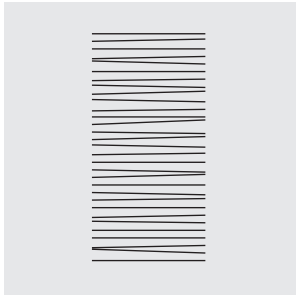
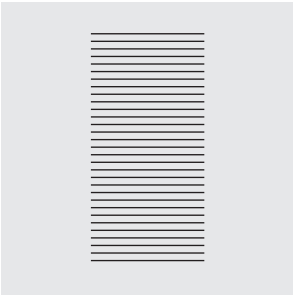
送り歯と布送り

送り歯と縫い目の長さ

送り歯は、通常一針毎に一回ずつ布送りをします。この一回の布送り量は、送りダイヤルで調節した長さです。特に細かい縫い目の場合は、一回の布送りの量もわずか

、布送りの速度はゆっくりしたものとなります。ボタンホールやサテンステッチおよび飾り縫い等は、通常、送りを細かくして縫います。

重要事項



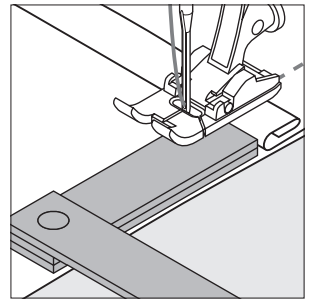
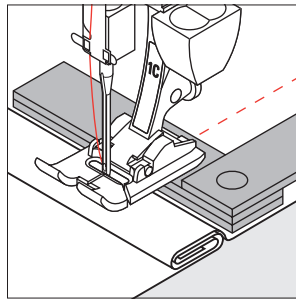
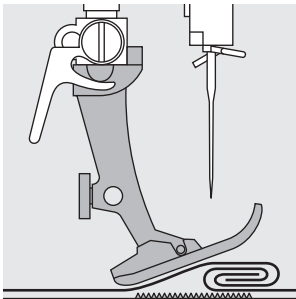
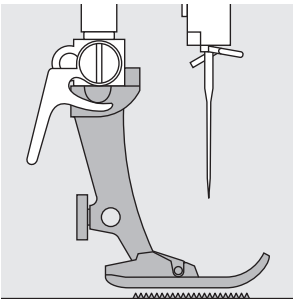
布送りが均等になるようにします。

布を手で引っ張ったり、押し込んだりすると縫い目にすき間がで

きます。

布を手で押えてしまうと縫い目が重なってしまいます。

送り歯と布送り



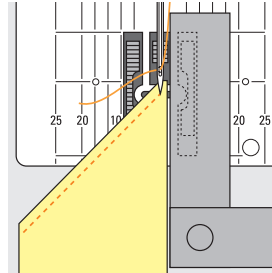
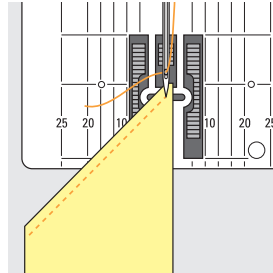
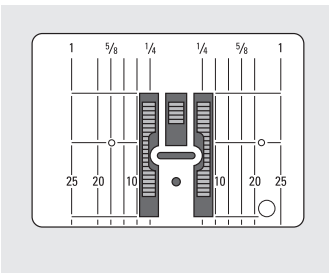
通常押え金は水平の状態です。布を正確に送ります。

押えが図のような厚い部分を縫うときは、押え金が角度を持ち、送り歯が正確に布を送れなくなります。

このようなときには、アクセサリの中にある高さ調整板を高さにあう枚数を使って縫います。

押えの手前で高さを調整する時は、必要な枚数の高さ調整板を押えの右下側に置きます。布の段差がなくなるところまで縫い進んだら、高さ調整板を外します。

送り歯とコーナーの縫い方



左右の送り歯は、少し離れた位置についています。これはジグザグ縫い等、針が左右に振れる場合に備えてのことです。

角を縫う場合は、送り歯に乗る部分がほんの少しなので、送りが正確に進まない場合があります。

そのような場合には、布端に高さ調整板を当てるようにすると、送りが正常に戻り、縫い目がきれいになります。

クリーニングの方法



ミシンを極端に気温の低い部屋においている場合、使用の1時間位前から通常の気温の部屋に移しておいて下さい。

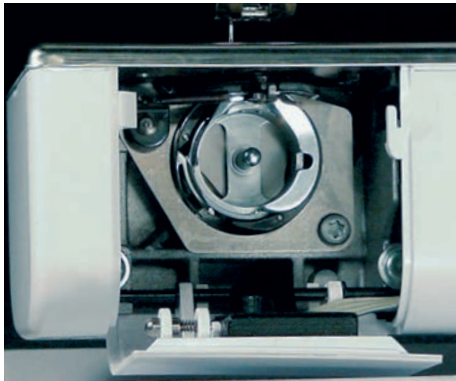
針板周辺の掃除

ご使用后、針板の下にたまった糸の糸くずや布粉を掃除してください。

- ・電源をオフにしてコードを抜き、
- ・押えと針を外して、
- ・開閉カバーを開きます。
- ・針板の右後ろ隅を人差し指で強く押えて針板を浮かせます。
- ・持ち上げて外します。
- ・ブラシで掃除し、
- ・針板をもとに戻します。

スクリーンの掃除

濡れたソフトクロスで拭きます。

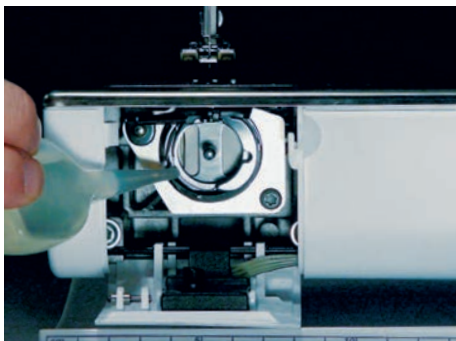


釜の掃除

- ・電源をオフにしてコードを抜き、
- ・ボビンケースを取り出します。
- ・大釜レース(溝)の回りをブラシや布で掃除します。その際、尖ったものを使用しないこと。
- ・ボビンケースを戻します。

ミシンのクリーニング

- ・濡れたソフトクロスで拭きます。
- ・汚れがひどい時は中性洗剤を溶かした水をソフトクロスに浸して拭きます。



注油について

- ・2-3 滴のオイルを大釜の溝に注油します。
- ・糸を通さずにミシンを2-3分運転してください。
- ・余分なオイルを取り除いて、生地に染みをつけないように注意します。

重要

アルコールまたは揮発性の洗剤は、決して使わないこと。

ソーイングランプの交換



通常の電球に比べて、CFLライトは明るく長持ちします。

使用直後の電球は大変熱くなっています。冷めてから電球を交換してください。

注意

CFLライトの交換は、専門業者にお任せください。

電球の交換の際は、ミシンをベルニナ正規販売代理店にお持ち下さい。

“安全にご使用いただくために”をご参照下さい。

トラブルの原因と対策

故障かな? と思ったら次の要領でまずお調べ下さい。

チェックポイント

- ・ 上糸、下糸が正しくかかっていますか。
- ・ 針が正しくとりつけられていますか。(平らな部分を後ろ側にします。)
- ・ 針は、針と糸の一覧表を見て、正しいものを使用して下さい。
- ・ ミシンをきれいに掃除し、糸くずを取り除いて下さい。外がまの掃除も忘れずに。
- ・ 上糸調子ディスクの間や、ポビンケースの糸みちのごみを取り除いて下さい。

上糸切れの原因

- ・ 上糸調子が強すぎる。
- ・ 針の品質が良くない。(ベルニナ製品取扱店でお買い求め下さい。)
- ・ 針が正しくセットされていない。(平らな部分を後ろ側にして下さい。)
- ・ 針先がつぶれている、または曲がっている。
- ・ 糸の品質が良くない。(こぶがあったり、ささくれていたり、古くて乾燥しすぎている等)
- ・ 針板の糸穴やかまのけん先に傷がついている。このような場合には、ベルニナ正規販売代理店にご相談下さい。

下糸切れの原因

- ・ 下糸調子が強すぎる。
- ・ ポビンケースの中で、糸がからまっている。ポビンを取り出し、チェックしてください。
- ・ 針板の針穴に、傷がついている。このような場合には、ベルニナ製品取扱店にご相談下さい。
- ・ 針先がつぶれている、または曲がっている。

目飛びの原因

- ・ 針が正しくない。ベルニナ純正の 130/705H サイズの家庭用ミシン針を使用して下さい。
- ・ 針先がつぶれているか、曲がっている、または正しくセットされていない。(針は一杯まで差し込んで止めて下さい。)
- ・ 布地に合った針を使っていない。

針折れの原因

- ・ 針の止めネジの締め方が十分でない。
- ・ 縫い終わった後、布を手前へ引いてしまった。
- ・ 厚地を縫っていて、針が布地に刺さっている状態で布を押してしまった。
- ・ 質の悪い糸を使っていた。(糸よりが均一でない、こぶがある等。)

縫い目が乱れる原因

- ・ テンション皿に糸くずが残っている。
- ・ ポビンケースのテンションばねの内側に、糸くずが残っている。
- ・ 上糸、下糸の糸通しを再確認してください。
- ・ 糸こま押えのサイズが正しくない。

ミシンが回転しないか、高速にならない原因

- ・ 電源コンセントが正しく入っていない。
- ・ 電源スイッチがオフになっている。
- ・ 室温が低すぎミシンが冷え切って十分に機能しない。
- ・ 下糸巻き装置がオンになっている。
- ・ 糸くずが回転釜にはさまっている。

ミシンが前進送りしない原因

- ・ 機能選択ボタンの「連続返し縫いボタン」がオンのままになっている。

ソーイングランプの故障

注意

- ・ 当製品のソーイングライトの交換は、専門業者にお任せください。電球の交換の際は、ミシンをベルニナ取扱店にお持ちいただきます。

用語	解説
《チェック》	メモリー域の内容を検索すること。
《clr》クリア	セッティングを削除したり、元どおりにしたり、基本セッティングに戻すこと。
《カーソル》	<ul style="list-style-type: none">・画面上で入力される位置を示すマーク(垂直の線)。・メモリーでは削除や挿入を示すときに使う。
《カスタマイズ》	顧客の要望に応じる事。個別化、個性化。
《削除》	コマンドを削除(クリア)すること。
《編集》	変更や修正すること。
《戻る》	画面やプログラムを閉じる、以前の画面に戻る、あるいは、画面をスタートする。
《ヘルプ》	簡単な情報を提供してくれる全体的なプログラムのことで、機能や特別なステッチに関して助言を与えてくれる。
《mem》メモリー	ステッチ、ステッチの組み合わせ、文字や数字などを記憶して編集、保存出来る機能。
《メニュー》	プログラムの内容の一覧、例えば、選択できるステッチや機能。
《ok》	先に進める前に作業内容や選択内容を確認する。
《アウトライン》	アウトラインデザイン = 横送りステッチ、中は空洞のステッチの輪郭。
《パターン》	モチーフ、ステッチ。
《PC》パソコン	マイスクリーンコンピューター。
《パソコン用刺しゅうソフト》	ベルニナのお客さま専用が開発した、使いやすい刺しゅう用パソコンソフト。 ・刺しゅう機と組み合わせて、模様を簡単に編集、反転、サイズ変更等することができ、またオリジナルのデザインを美しい刺しゅうに転換することも可能です。
《スクロール》	上下、左右に画面を移動させてデータを検索すること。
《セットアップ》	各自の利用に便利なように変換出来る機能。

用語	解説
《smart》スマート	作業を中断する間、ステッチやセッティングすべてをセーブするプログラムのこと。
《ソフトウェア》	コンピューター プログラム
《保存》	いつでも呼び出せるようにメモリーをセーブすること。
《ツールバー》	画面上のグループのことを言う用語。例えば、機能など。
《タッチスクリーン》	マシンを操作する画面上のボタンにタッチすること。
《tutorial》チュートリアル	さまざまなマシンの特徴を知るための指導書。
《アップデート》	マシンに新しいソフトをインプットすること。
《アップグレード》	マシンに新しいソフトをインプットして更に機能を充実させる事。

索引

ア		ギャザーリングステッチ	17
アイレット	40	キャリングケース	6
アウトラインデザイン	50	キャリングハンドル	5
アクセサリボックス	6	強化オーバーロック	18
アタッチメントベース	5	キルティングステッチ	48
アルファベット	40	ク	
イ		クリア(cnr)機能	5,12,13,24
一点止め縫い	26	クリアオール	28
糸掛け一前面	5	クリーニングの方法	22
糸ガイド	5	コ	
糸カッター(自動)	5,25,71	コーナーの縫い方	21
糸ブランドの変更	72	サ	
糸切り(マニュアル)	5	サービスプログラム	69
糸調子	28	シ	
糸立て棒	5	ジーンズ押え	17
ウ		ジグザグ縫い	16, 17
ウイング針機能	28	シグナル音の設定	27
上糸調子の標準設定	66	刺しゅう機コード差込み口	5
上糸のかけ方	10	刺しゅう枠の位置設定	70
上糸案内	5	下糸の引き上げ方	10
上糸系通し機	5	下糸の巻き方	8
上糸調子の調節	11	下糸巻き糸案内	5
エ		しつけ縫い	19
液晶画面	5	実用縫い模様	14
エコ《エコ》機能	5,25	自動つくろい縫い	16, 17
F(お好み)機能	25,73	自動かんぬき止め縫い	19
オ		自動下糸巻き装置	5
オーバーロック押え	17	自動強化つくろい縫い	19
オープン刺しゅう押え	17	自動止め縫い	16, 17
送り歯	11,21	自動糸カッター	5, 25
送り歯ドロップ	5,12	ジャージステッチ	17
送り調節ボタン	5	16 方向縫い	48
送り長さ	12	ス	
送り微調整	15	スーパーストレッチ	17
送り微調節ダイヤル	5	スーパー模様押え	18
OK ボタン	26	スクリーン操作	20,21
押えの交換	9	スクロール	26,27
押えの表示	22	スタート画面の設定	67
押え圧調節つまみ	5,13	ステッチ番号模様選択	27
押え金	5	ストレッチオーバーロック	18
押え金の種類	17	ストレッチステッチ	17
押え上げレバー	5	スマート機能	24,58
オンスクリーン機能	25,31	セ	
オンボードマニュアル	25	セットアップ	5,24,28,59
お好み機能	25,73	説明書(オンスクリーン)	56
カ		ソ	
外部メニューボタン	23	ソーイングスピード設定	27,65
返し縫い機能	25	ソーイングテーブル	6,7
釜カバー	5	ソーイングテーブル差し込み口	5
画面コントラスト調整	72	ソーイングベッド	5
キ		ソーイングライト	26
機能ツールバー	26	ソーイングライトのオン・オフ	69
機能ツールバーの設定	62	ソーイングライトの交換	79
機能の説明		ソフトウェアバージョン	69

索引		索引	
タ		フ	
ダイヤルテンション	5	ファスナー押え	18
高さ調節板	24	付属品ボックス	6
タッチ画面の感度	70	フットコントローラー	7
ダブルオーバーロック	16,17	フットコントローラー用コンセント	5
チ		フライステッチ	19
チュートリアル	56	フリーハンドシステム	7
直線縫い	16,17	振り巾	12
縫い縫い枠取付け穴	5	振り巾調節ボタン	5
テ		へ	
手元返し縫い	5,25	へムステッチ機能	28
電球の交換	79	ベルニナ特殊押え	18
点検保守	22	ヘルプ	25,54
電源コード	7	ホ	
電源スイッチ	5,7	ボタンホール	14,16,17
電源プラグ差込	5	ボタンホール押え	18
天びん	5	ボタン縫い付け	17,40
天秤カバー	5	ボビン	8
ト		ボビンケース	8
特殊ベルニナ押え	17	ボビンの入れ方	8
トラブルの原因と対策	80	マ	
トリプルジグザグステッチ	16,17	マイスクリーン	28,60
トリプルステッチ	16,17	まつり縫い	16,17
ドロップフィードつまみ	5	まつり縫い押え	18
ナ		ミ	
ニットオーバーロック縫い	18	ミシンの準備	12
二点ジグザグ縫い	18	ミシン糸	76
1/2模様機能	27	ミシン針	20
二本針	28	メモリー(mem)機能	24,29,42
ヌ		モ	
布押え枠取り付け穴	5	模様メニュー	23
布送り	21	模様拡大	27
ネ		模様選択ボタン	5
ネットステッチ	17	模様頭出し	26
ハ		模様反転	27
はずみ車	5	ユ	
パソコン接続シリアルポート	5	ユニバーサルステッチ	17
パッチワークキルティング	15	ヨ	
鳩目ボタンホール	17	用語解説	81
パノラマ縫い	48	横送り縫い	51
バランス	18,28,52	横送り縫い押え	17
針板	5	4方向パッチ縫い	48
バリオーバーロック	16,17	ラ	
針基線選択ボタン	5	ランニングステッチ	16,17
針基線	25	レ	
針止め	5	連続返し縫い	13
針	19	連続返し縫いボタン	5,13
針の交換	9	ロ	
針元系案内	5	ロングステッチ機能	27
針上下停止機能	22		
針上下停止機能	25		
ヒ			
標準付属品	6		
標準設定	68		
ピンタック押え	18		